

宮内省内事課長ヨリ御聽許相成ル旨ノ通牒ヲ受領シタルモ未完成ニ付同年五月八日目錄ヲ奉呈シ翌三十四年十二月二十八日書記官東宮御所ニ參殿獻納ヲ了シタルニ御満足被爲思召旨ノ御沙汰アリタリ

大正十一年九月二十八日 皇太子殿下(裕仁親王)御結婚御成約ニ付議長(奥繁三郎君)ハ參内宮内大臣ヲ經テ賀表ヲ奉呈シ又同日東宮假御所ニ參殿 皇太子殿下ニ拜謁ノ上賀牋ヲ奉呈シタルニ左ノ御言葉ヲ賜ハレリ

衆議院ノ敬意ヲ謝ス

第四十八回議會 大正十三年一月十六日 皇太子殿下(裕仁親王)御結婚御日取御治定ニ付副議長(松田源治君)ハ參内 天皇后兩陛下並皇太子殿下ニ御祝詞ヲ言上シ更ニ久邇宮邸ニ參殿御祝詞ヲ言上セリ

同 大正十三年一月二十二日 議長(粕谷義三君)ハ來ル一月二十六日 皇太子裕仁親王殿下良子女王殿下ト御結婚ノ禮ヲ行ハセラルルニ付奉祝ノ誠意ヲ表スル爲賀表及賀牋ヲ奉呈スヘシトノ發議ヲ爲シ院議全會一致ヲ可決シ同月二十六日議長參内賀表ヲ奉呈シ次テ東宮假御所ニ參殿賀牋ヲ奉呈セリ

尙奉祝ノ爲本院議員一同ヨリ獻上ヲ願出タル銀製花盛器壹箇ハ珍田東宮大夫ヨリ御採納相成ヘ

六二 キ旨ノ通牒ヲ受領シタルモ未完成ニ付副議長(松田源治君)ハ同月二十五日東宮假御所ニ參殿シテ目錄ヲ奉呈シ四月八日書記官東宮假御所ニ參殿同所獻品取扱主任事務官ノ手ヲ經テ獻納ヲ了セリ

六三 參看 附錄三ノ(三)、(四)

### 六三〇 天皇后兩陛下御結婚滿二十五年ニ付賀表奉呈並參賀

第五十回議會 大正十四年三月二十九日議長(粕谷義三君)ハ「諸君畏クモ 天皇(大正天皇)皇后兩陛下ニ於カセラレマシテハ御大婚滿二十五年ニ當ラセラレマスルノデ來ル五月十日宮中ニ於テ祝賀ノ慶典ヲ舉ゲサセラルルヤニ拜聞ヲ致シマス 我カ皇室ノ彌々御繁榮ニ涉ラセラレマシテ此祝典ヲ舉ゲサセラレマスルコトハ七千萬國民ノ寔ニ欣賀ニ堪ヘザル所デアリマス仍テ本院ハ院議ヲ以テ奉祝ノ敬意ヲ表スル爲メ 兩陛下ニ賀表ヲ奉呈致シタク存ジマス其文案ハ議長ニ御一任アラシコトヲ冀フ次第デアリマス之ニ御賛成ノ諸君ノ起立ヲ乞ヒマス」ト告ケ院議全會一致之ヲ可決シ五月十日議長參内賀表ヲ奉呈セリ

右件ニ付宮内省ニ於テハ參賀ノ日時ヲ發表セラレ議長副議長ハ五月十日午前十一時五十分參

賀、酒饌ヲ下賜セラレ議員ハ同月十二日午後一時ヨリ同五時迄ノ間ニ參賀、茶菓ヲ賜ハレリ尙奉  
祝ノ爲本院議員一同ヨリ獻上ヲ願出テタル六曲金屏風丹鶴青瀾(平福百穂畫)ハ未完成ニ付五月九  
日書記官目錄及氏名書ヲ奉呈シ翌十五年三月二十日書記官宮内省ニ出頭宮内書記官ヲ經テ獻納  
ヲ了セリ

參看 附錄三ノ(二)

### 六三一 皇后陛下御著帶ノ儀ニ付參賀

昭和四年四月一日 議長(川原茂輔君)ハ參内次テ青山御所ニ參入御祝詞ヲ言上セリ  
昭和六年二月十二日 議長(藤澤幾之輔君)ハ參内次テ大宮御所ニ參入御祝詞ヲ言上セリ  
昭和八年十一月二十八日 議長(秋田清君)ハ參内次テ大宮御所ニ參入御祝詞ヲ言上セリ

### 六三二 立太子式ニ付賀表、賀牋ヲ奉呈ス

大正五年十一月三日 裕仁親王殿下立太子ノ禮ヲ行ハセラルルニ付議長(島田三郎君)ハ參内賀表

ヲ奉呈シ又東宮御所ニ參殿賀牋ヲ奉呈セリ(各派協議會ノ決議ニ依ル)

### 六三三 皇太子殿下御成年式ニ付賀表、賀牋ヲ奉呈ス

第四十一回議會 大正八年三月二十五日開議劈頭議長(大岡育造君)ハ「御諮リ申ス事ガアリマス、  
來ル四月二十九日 皇太子殿下(裕仁親王)御成年式ヲ舉ゲサセラルルヤニ拜聞致シマス、就テハ  
此際 兩陛下竝皇太子殿下ニ賀表ヲ奉呈致シタイト存ジマス、其賀表及奉呈ハ議長ニ御一任ア  
ラムコトヲ望ミマス」ト告ケ院議全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ(速記録四九七頁)五月七日議長參内  
兩陛下ニ賀表ヲ奉呈シ次テ東宮御所ニ參殿 皇太子殿下ニ賀牋ヲ奉呈セリ

參看 附錄三ノ(六)

### 六三四 皇太子皇子皇孫御誕生ニ付參賀竝賀表、賀牋ヲ奉呈ス

第五回議會 明治二十六年十二月二日副議長(楠本正隆君)ハ去ル十一月三十日皇子殿下(滿宮輝仁  
親王)御降誕アラセラレタルニ付祝賀申上ケ度旨發議シ院議全會一致之ヲ可決シ同月四日副議長

第四編 議院ノ法規及典禮 第二章 議院ノ典禮 第二節 皇室ニ對スル慶賀及敬禮(六三一—六三四) 七百十三

ハ宮内大臣ヲ經テ祝賀ヲ言上セリ

第二十一回議會 明治三十八年一月三日皇孫(光宮宣仁親王殿下後ニ)御降誕アラセラレタルニ付同月

五日議長(松田正久君)ハ宮城竝東宮御所ニ參賀セリ

第三十七回議會 大正四年十二月七日議長(島田三郎君)ハ去ル二日皇子(澄宮崇仁親王殿下後ニ)御降

誕アラセラレタルニ付御祝賀申上ケ度旨發議シ院議全会一致之ヲ可決シ同月八日議長參内祝賀  
ヲ言上セリ

大正十四年十二月六日 皇孫内親王殿下(照宮成子内親王)御誕生アラセラレタルニ付議長(粕谷義三

君)ハ翌七日宮城竝東宮假御所ニ參賀シ次テ久邇宮邸ニ參殿御祝詞ヲ言上シ同月十二日御命  
名式當日參内宮内次官ヲ經テ 兩陛下ニ賀表ヲ奉呈シ次テ東宮假御所ニ參殿東宮侍從長ヲ經  
テ 皇太子竝同妃兩殿下ニ賀牋ヲ奉呈セリ

第五十九回議會 昭和六年三月七日議長(藤澤幾之輔君)ハ本日内親王殿下(順宮厚子内親王)御誕生

六 アラセラレタル趣ニ付本日竝御命名式當日御祝詞申上ケ度旨發議シ院議全会一致ヲ以テ可決シ  
(速記録五九七頁)議長ハ即日及十三日御命名式當日參内竝ニ大宮御所ニ參殿御祝詞ヲ言上セリ

昭和二年九月十日 内親王殿下(久宮祐子内親王)御誕生ノ際ハ大正天皇崩御アラセラレ 諒闇中ナリ  
シヲ以テ同日副議長(松浦五兵衛君)ハ赤坂離宮ニ伺候御機嫌ヲ奉伺セリ

昭和四年九月三十日 内親王殿下(孝宮和子内親王)御誕生アラセラレタルニ付同日副議長(清瀬一郎  
君)ハ宮城竝青山東御所ニ參賀御祝詞ヲ言上セリ

第六十五回議會 昭和八年十二月二十三日 皇太子殿下(繼宮明仁親王)御誕生アラセラレタルニ付  
當日竝同月二十九日御命名式當日議長(秋田清君)ハ參内次テ大宮御所ニ參入御祝詞ヲ言上シ更  
ニ久邇宮邸ニ參殿御祝詞ヲ言上セリ

同 昭和八年十二月二十六日開院式 勅語奉答文案ノ議事ヲ終リタル際議長(秋田清君)ハ去ル二  
十三日親王殿下(繼宮明仁親王)御誕生遊ハサレ 我カ皇室ノ益御繁榮ニ涉ラセラレ國礎彌固キヲ  
加フルコト國民ノ齊シク衷心ヨリ歡喜ニ堪ヘサル所ナリ議長ハ當日取敢ヘス宮城竝大宮御所ニ  
參賀セル旨ヲ報告シ次テ奉祝ノ誠意ヲ表スル爲メ院議ヲ以テ賀表ヲ奉呈致シ度旨發議シ尙其ノ  
文案ヲ朗讀シ採決ノ結果全会一致之ヲ可決セリ(速記録一頁)

當時朝香宮妃允子内親王殿下薨去ノ爲御喪中ナリシモ親王殿下御命名式ニ付十二月二十九日除  
喪仰出サレタルヲ以テ議長ハ宮内省ニ出頭宮内大臣ヲ經テ賀表ヲ奉呈セリ  
尙奉祝ノ爲本院議員中一同ヨリ献上願出テタル六曲金屏風翔翔開雲(堂本印象畫)壹雙ハ未完成ニ  
付昭和九年五月二十三日目錄及氏名書ヲ献上シ翌十年十二月二十六日書記官宮内省ニ出頭獻納  
ヲ了セリ

昭和十年十一月二十八日 親王殿下(義宮正仁親王)御誕生アラセラレタルニ依リ議長(濱田國松君)ハ當日及十二月四日御命名式當日參内次テ大宮御所ニ參入御祝詞ヲ言上シ尙御誕生當日久邇宮邸ニ參殿御祝詞ヲ言上セリ

參看 附錄三ノ九、(一〇)

### 六三五 皇族殿下海外御旅行ニ付奉送迎

第四十四回議會 大正十年二月十五日開議劈頭議長(奧繁三郎君)ハ「皇太子(裕仁親王)殿下海外御巡遊ノ儀發表サレマシタ、就テハ議長ハ本院ヲ代表シテ東宮御所ニ參殿シ、一路平安ヲ祈リ奉ル旨ヲ言上致シマシテ、御奉送申上ゲタイト思ヒマス」ト發議シ院議全会一致ヲ以テ之ヲ可決シ(連記録二七二頁)議長ハ翌十六日東宮御所ニ參殿 皇太子殿下ニ拜謁ノ上決議ノ次第ヲ言上シ 殿下御發程ノ際議長ハ横濱ニ副議長(粕谷義三君)及議員ハ東京驛ニ奉送セリ  
大正十年九月三日 皇太子(裕仁親王)殿下御歸朝ニ付議長(奧繁三郎君)ハ横濱ニ奉迎シ副議長(粕谷義三君)及在京議員ハ東京驛ニ奉迎セリ  
尙議長ハ 兩陛下竝東宮殿下ニ御祝詞ヲ言上セリ(各派協議會ノ決議ニ依ル)

第五十八回(特別)議會 昭和五年四月二十一日召集當日高松宮宣仁親王殿下竝同妃殿下御渡歐ノ爲御出發遊ハサルルニ付當日議長副議長候補者選舉ノ執行中ナリシヲ以テ先ツ議長候補者選舉ヲ終リ一時休憩シテ東京驛ニ兩殿下ヲ奉送シ午後一時三十分ヨリ副議長候補者選舉ヲ執行セリ(各派協議會ノ決議ニ依ル)

昭和六年六月十二日 高松宮宣仁親王殿下竝同妃殿下御歸朝ニ付副議長(小山松壽君)ハ東京驛ニ奉迎セリ

昭和九年六月二日 秩父宮雍仁親王殿下御渡滿ノ爲御出發遊ハサルルニ付議長(秋田清君)ハ東京驛ニ奉送シ尙六月十八日東京驛御著ノ際奉迎セリ

第七十回議會 秩父宮雍仁親王殿下竝同妃殿下英國皇帝戴冠式ニ御名代トシテ參列ノ爲御渡英アラセラルルニ付昭和十二年三月六日午前九時三十分議長(富田幸次郎君)ハ議院ヲ代表シテ表町御殿ニ參殿殿下ニ拜謁ヲ賜ハリ一路御平安ヲ祈リ奉ル旨ヲ言上シ(各派協議會ノ決議ニ依ル)同月十八日午後一時四十五分兩殿下御出發遊ハサルルニ付議長(富田幸次郎君)、副議長(岡田忠彦君)及議員ハ東京驛ニ奉送セリ

參看 附錄三ノ七

六三六

### 六三六 詔勅、勅諭、勅語、勅問ニ對スル敬禮

第一回議會以來詔勅、勅諭、勅語、勅問ノ捧讀ニ際シテハ滿場起立シテ敬禮スルヲ例トス

### 六三七 奉答文案議決ノ際ニ於ケル敬禮

奉答文案議決ノ際ハ敬意ヲ表スル爲起立シテ贊成ノ意ヲ表ス

### 六三八 皇族殿下傍聽ノ爲台臨ニ付敬禮

第十二回(特別)議會 明治三十一年六月七日政府提出商法修正案第一讀會ノ續會中 皇太子殿下(嘉仁親王)皇族傍聽席ニ台臨アラセラレタルニ付議長席ニ著席中ノ副議長(元田肇君)ハ皇太子殿下御台臨ノ旨ヲ告ケタルニ(速記録二九二頁)總議員起立シテ敬禮ヲ行ヒ 殿下御退場ノ際亦起立シテ敬禮セリ

第五十回議會 大正十四年三月十八日開議劈頭秩父宮殿下(雅仁親王)皇族傍聽席ニ台臨アラセラレタルニ付議長(粕谷義三君)ハ殿下御台臨ノ旨ヲ告ケタルニ(速記録六九二頁)總議員起立シテ敬禮

ヲ行ヒ、殿下御退場ノ際亦起立シテ敬禮セリ

第五十一回議會 大正十五年三月二十二日賀陽宮殿下(恒憲王)皇族傍聽席ニ台臨アラセラレタルト

キハ特ニ陸軍大學生トシテ御傍聽ノ御沙汰アリタルヲ以テ敬禮ヲ差控ヘタリ

第五十九回議會 昭和六年二月十七日開議劈頭賀陽宮殿下(恒憲王)、二月二十四日開議劈頭秩父宮

殿下(雅仁親王)皇族傍聽席ニ台臨アラセラレタルニ付敬禮セリ

第六十二回(臨時)議會 昭和七年六月七日開議劈頭閑院宮殿下(春仁王)皇族傍聽席ニ台臨アラセラ

レタルニ付敬禮セリ

第六十八回議會 昭和十一年一月二十一日開議宣告前高松宮殿下(宣仁親王)皇族傍聽席ニ台臨アラ

セラレタルトキハ特ニ海軍大學生トシテ御傍聽ノ御沙汰アリタルヲ以テ敬禮ヲ差控ヘタリ

### 六三九 踐祚後朝見ノ儀ニ議長及議員總代參列被仰付

大正元年七月三十一日午前十時 大正天皇踐祚後朝見ノ儀ニ議長(大岡育造君)參列仰付ラレタリ

(當時議長ハ任期滿限後ナリシモ議院法第十五條ニ依リ其ノ職務ヲ繼續セリ而シテ議員ハ總選舉ヲ了シタルモ此ノ御儀ニハ召サレサリキ)

第五十二回議會 昭和元年十二月二十八日午前十時三十分 今上天皇陛下踐祚後朝見ノ儀ニ議長  
(柏谷義三君)及議員總代三名(全院委員長、年長者、年少者)參列仰付ラレタリ

六四〇 即位ノ大禮ニ議長副議長及議員參列被仰付

大正天皇御即位ノ大禮ハ大正四年 今上天皇陛下御即位ノ大禮ハ昭和三年孰レモ十一月京都ニ於  
テ行ハレ議長副議長及議員ハ左ノ諸儀ニ參列仰付ケラレタリ

即位禮當日賢所大前ノ儀

十一月十日 議長副議長議員參列

即位禮當日紫宸殿ノ儀

十一月十一日 同前

即位禮後一日賢所御神樂ノ儀

大嘗宮ノ儀 悠紀殿供饌ノ儀  
主基殿供饌ノ儀 十一月十四日ヨリ十五日ニ亙ル 議長副議長議員總代十名參列

即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀 十一月十六日 同前

即位禮及大嘗祭後大饗第二日ノ儀 十一月十七日 議長參列

即位禮及大嘗祭後大饗夜宴ノ儀 十一月十七日 議長副議長議員參列

大正四年 大正天皇御大禮ノ際ハ大嘗宮ノ儀、即位禮及大嘗祭後大饗第一日ノ儀ニハ議員總代ハ召

サレサリキ

尙大禮觀兵式大禮觀艦式ニハ議員一同陪觀ヲ差許サレタリ

第三節 大喪儀及御弔詞

六四一 皇太后崩御ニ付御弔詞

第十回議會 明治三十年一月十一日 英照皇太后崩御アラセラレタルニ付翌十二日議長(鳩山和  
夫君)ハ「諸君ニ御報道申上ゲルモ誠ニ畏多キ次第ゴザイマス 皇太后陛下ニ於カセラレマシ  
テハ豫テ御不例ニアラセラレ既ニ本院ニ於テハ昨日モ恐懼ノ意ヲ表シ休會ヲ爲シ謹ンデ御本復  
ヲ祈リ奉リマシタ然ルニ今朝ニ至リ内閣總理大臣ヨリ 皇太后陛下昨十一日午後六時崩御遊バ  
サレタリト云フ通牒ニ接シマシテゴザイマス 國民一般震驚痛悼ノ至、何トモ恐入ツタル次第デ  
ゴザイマス 謹ンデ報道致シマス」ト報告シタルニ元田肇君ハ「本院ハ謹ミテ哀痛悲悼ノ誠意ヲ  
表シ本日ヨリ七日間議事ヲ遏メ議長ハ本院ヲ代表シ直ニ御所ニ伺候シ弔禮ヲ上聞シ奉ルヘシ」  
トノ動議ヲ提出シ院議全會一致之ヲ可決シ(速記録一九頁)次テ議長發議ニ係ル左ノ弔禮ヲ可決シ

即日參内上聞シ奉レリ

皇太后陛下ニ於カセラレテハ豫テ御不例ノ趣拜承シ本院ニ於テハ既ニ昨日議事ヲ休止シ謹テ御本復ヲ祈奉リシ處遂ニ昨十一日午後六時ヲ以テ御登遐遊ハサセラレタル御次第國民一般震驚痛悼何ヲ以テ之ニ比セム洵ニ恐懼ノ至ニ堪ヘス本院議員ハ恭ク國民ノ至誠ヲ代表シ悲痛哀悼ノ弔意ヲ上聞シ奉ル

大正三年四月十一日 昭憲皇太后崩御アラセラレタルニ付議長(奥繁三郎君)ハ敬弔ノ意ヲ表スル爲同日參内次テ青山御所ニ參入セリ同月十三日各派協議會ノ決議ニ基キ議長ハ重ネテ參内宮内大臣ヲ經テ御弔詞ヲ申上ケ又議員各自モ御弔禮ノ爲宮城並青山御所ニ伺候セリ

## 六四二 天皇崩御ニ付御弔詞並奉悼上奏

明治四十五年七月三十日 明治天皇崩御アラセラルルヤ議長(大岡育造君)ハ同日午前八時參内敬テ弔意ヲ表シ尙同日午後三時在京議員ヲ代表シ宮内大臣ヲ經テ御弔詞ヲ申上ケタリ(在京議員ヲ代表シタルハ當時總選舉後ニ係リ在京議員ノ協議會ニ於テ決定シタルヲ以テナリ)又議員ハ御弔禮ノ爲各自參内セリ而シテ第二十九回(臨時)議會大正元年八月二十三日開院式勅語ニ對スル奉答文ニ於テ

明治天皇ノ盛徳大業ヲ頌シ謹テ弔意ヲ表シ奉レリ

第五十二回議會 大正十五年十二月二十五日 大正天皇崩御アラセラレタルニ付議長(粕谷義三君)ハ葉山御用邸ニ伺候シ 天機竝御機嫌ヲ奉伺シ 昭和元年十二月二十六日開院式勅語奉答文議決後議長ハ「諸君昨二十五日 先帝陛下崩御遊バサレマシタコトハ洵ニ恐懼ニ堪ヘザル次第デゴザイマシテ吾々國民悲痛哀傷措ク能ハザル所デゴザイマス申上ゲルモ恐多イコトデゴザイマスガ 先帝陛下ハ至聖至仁ニマシマシテ大統ヲ承ケ寶祚ヲ踐マセ給ウテヨリ茲ニ十有五年 明治大帝ノ御偉業ヲ繼承セラレ其遺烈ヲ益々發揚シ給ヒ時勢ノ進運ニ適應シテ民生撫育ノ大業ヲ達成セラレマシタ又歐洲大戰ニ或ハ各種ノ國際會議等ニ常ニ世界平和ヲ念トセラレマシテ赫赫タル聖鑑ヲ垂レサセラレ世界列強ノ間ニ帝國ヲシテ重カラシメ給ヒマシタ斯ノ如キ御盛徳鴻業ハ萬民ノ具ニ仰ギ列邦ノ共ニ視ル所デアリマス 先帝陛下御遠例ノ趣ヲ傳ヘラレマスルヤ國民ハ驚愕措ク所ヲ知ラズ只管御回春ノ一日モ速カナランコトヲ神明ニ御祈リ奉ツタ次第デアリマス議長ハ衆議院ヲ代表致シマシテ屢々葉山御用邸ニ伺候シ 天機竝御機嫌ヲ奉伺致シマシタ此國民ノ赤誠ヲ罩メマシタル御祈願モ終ニ其甲斐モゴザイマセヌデ御登遐遊バサレマシタコトハ誠ニ痛惜哀悼ノ至リニ堪ヘマセヌ就キマシテハ本院ハ奉悼ノ誠意ヲ捧ゲマスル爲ニ上奏書ヲ奉呈致シタイト思ヒマス茲ニ諸君ノ御贊成ヲ希ヒマス次第デアリマス御贊成ノ諸君ハ御起立ヲ望

ミマス」ト述へ奉悼上奏書奉呈ノ件ヲ院議ニ諮ヒ直ニ起草委員ヲ指名セリ(速記録一頁)翌二十七日全院委員長選舉ニ先チ議事日程ヲ變更シテ奉悼上奏案起草委員長ノ報告ヲ求メ院議全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ(速記録四頁)議長ハ二十八日宮内省ニ出頭宮内大臣ヲ經テ天機竝御機嫌ヲ奉伺シ奉悼上奏書ヲ奉呈セリ

同月二十八日午後二時議長ハ拜謁被仰付參内セリ

議員ハ各自御弔禮ノ爲參内又ハ御用邸ニ伺候セリ

昭和元年十二月二十七日午後七時五分 大正天皇靈柩葉山御用邸ヨリ原宿驛御著ニ付議長及議員總代三名(各派)奉迎シ其ノ他ノ議員ハ貴族院通用門前ニ於テ奉迎セリ

參看 附錄二ノ(一五)

六四三 大喪儀ニ議長副議長及議員參列被仰付

英照皇太后大喪儀

御發柩前日御棺前拜禮

青山御所青山假停車場間供奉

明治三十年 議長副議長議員  
二月一日 議長  
二月二日 議長

青山假停車場ニテ奉送

京都大宮御所月輪山御齋場間供奉

月輪山御齋場參列

二月二日 議員  
二月七日 議長  
二月七日 議長副議長議員

明治天皇大喪儀

斂葬前日殯宮拜禮ノ儀

殯宮葬場殿間函簿内奉送

葬場殿ノ儀

青山假停車場ヨリ供奉列車ニテ桃山假停車場迄奉送

桃山假停車場殿間函簿内奉送

陵所ノ儀

桃山假停車場前ニテ奉迎

權殿百日祭ノ儀

山陵百日祭ノ儀

大正元年  
九月十二日 議長副議長議員拜禮  
九月十三日 議長副議長議員  
九月十三日 議長副議長議員參列  
九月十四日 議長  
九月十四日 議長參列  
九月十四日 議員  
十一月六日 副議長參列  
十一月六日 議長參列



昭憲皇太后大喪儀

殯宮移御ノ儀

殯宮移御翌日祭ノ儀

追號奉告ノ儀

殯宮拜禮ノ儀

斂葬當日殯宮祭ノ儀

殯宮葬場殿間鹵簿内奉送

葬場殿ノ儀

代々木假停車場ヨリ第一供奉列車ニテ桃山假停車場迄奉送

桃山假停車場陵所間鹵簿内奉送

陵所ノ儀

桃山假停車場前ニテ奉迎

權殿百日祭ノ儀

大正三年  
五月二日

五月三日 議長參列

五月九日

議長隨時拜禮

五月二十三日 副議長拜禮

五月二十二日 議員拜禮

五月二十四日 議長參列

五月二十四日 議長副議長議員

五月二十四日 議長副議長議員參列

五月二十五日 議長

五月二十五日 議長參列

五月二十五日 副議長議員

七月十九日 議長參列

山陵百日祭ノ儀

七月十九日 副議長參列

大正天皇大喪儀

殯宮移御ノ儀

殯宮移御後一日祭ノ儀

殯宮祇候

追號奉告ノ儀

斂葬當日殯宮祭ノ儀

殯宮葬場殿間鹵簿内奉送

葬場殿ノ儀

新宿御苑假驛ヨリ供奉列車ニテ東淺川假驛迄奉送

東淺川假驛陵所間鹵簿内奉送

陵所ノ儀

昭和二年  
一月五日 議長參列

一月六日 議長議員總代三名  
(朝見式ニ總代ヲ出サ) 參列  
(サル團體ヨリ選定)

自一月六日  
至二月七日 議長副議長隨時祇候又ハ  
參拜  
議員總代六名若ハ八名晝  
夜四回交代ニテ祇候

一月二十日 議長參列

二月七日

二月七日 議長副議長議員

二月七日 議長副議長議員參列

二月八日 議長

二月八日 議長參列

權殿百日祭ノ儀  
山陵百日祭ノ儀  
權殿一周年祭ノ儀  
山陵一周年祭ノ儀

四月三日 議長議員總代三名參列  
四月三日 議長參列  
十二月二十五日 議長議員總代三名參列  
十二月二十五日 副議長參列

### 六四四 天皇崩御ニ際シ列國議會ノ弔意竝之ニ對スル本院ノ表謝

明治天皇崩御ニ際シ智利國議會、土耳其代議院、英國上下兩院(表弔上奏決議同國皇帝勅答)、白國上下兩院、「ニュージブラント」上下兩院、南濠洲聯邦議會、伯國上下兩院、葡國上院決議ヲ以テ弔意ヲ表明セラルニ對シ第三十回議會大正二年二月五日尾崎行雄君ヨリ列國議會ノ弔意ニ對スル表謝ノ決議案ヲ提出シ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ全會一致之ヲ可決セリ  
大正天皇崩御ニ際シ白國上下兩院、英國上下兩院決議ヲ以テ弔意ヲ表明セルニ對シ第五十二回議會昭和二年三月一日議長(粕谷義三君)ヨリ御大喪ニ際シ示サレタル白英兩國上下兩院ノ深厚ナル同情ニ對シ院議ヲ以テ感謝ノ意ヲ表シ度旨發議シ院議全會一致之ヲ可決セリ

參看 附錄五ノ(三)ノ(イ)

## 第四節 慰問

### 六四五 議院慰問ヲ爲ス

皇族、國務大臣、締盟國總理大臣ノ病氣、負傷ニ對シ若ハ天災ニ際シ院議ヲ以テ又ハ議長議院ヲ代表シテ慰問ヲ爲シ又各派協議會ノ決議ニ依リ災害慰問ノ爲義捐金ヲ寄贈シタルコトアリ

#### (一) 皇族御病氣、御負傷ノ場合

明治三十七年八月十日 旅順口沖ノ海戰ニ於テ伏見宮博恭王殿下御負傷アラセラレタルニ付同月十七日議長(松田正久君)ハ山本海軍大臣ヲ經テ御見舞書ヲ奉呈セリ  
右ニ對シ同宮殿下ハ同月二十九日眞木伏見宮別當ヲ議長邸ニ遣ハサレ御挨拶アリタリ  
大正十二年四月一日 佛國ニ於テ北白川宮成久王殿下同妃殿下竝朝香宮鳩彦王殿下御奇禍ニ罹ラセラレタルニ付同月四日議長(粕谷義三君)ハ外務省ヲ經テ在巴里日本大使館へ御見舞電報ヲ發送シテ夫々言上ヲ乞ヘリ

右ニ對シ朝香宮殿下ヨリ五月四日附ヲ以テ御謝電ヲ受領セリ

第五十一回議會 大正十五年二月十八日議長(粕谷義三君)ハ御渡歐中ノ秩父宮殿下御不例御見舞ノ爲東宮御所ニ伺候シ尙林男爵宛ニ秩父宮殿下御不例ノ趣拜承心痛ノ至ニ堪ヘス速ニ御快癒ヲ祈リ奉ル旨ノ電報ヲ差上ケタルニ同男爵ヨリ「貴電ノ趣言上御満足ニ思召サル」トノ電報ヲ受領セリ

第五十六回議會 昭和四年一月二十六日熱海御別邸ニ御靜養中ノ元帥陸軍大將久邇宮邦彥王殿下御病氣ノ趣拜承議長(元田肇君)ハ電報ヲ以テ御見舞ヲ申上ケタリ

昭和六年五月三日 竹田宮恒徳王殿下代々木練兵場ニ於テ馬術御教練中御奇禍ニ罹ラセラレタルニ付同月八日副議長(小山松壽君)ハ竹田宮邸ニ參殿御見舞申上ケタリ

(二) 宮邸風水害ノ場合

昭和九年九月二十一日 關西地方ニ於ケル暴風雨ノ際同月二十二日議長(秋田清君)ハ大阪第四師團長東久邇宮殿下御用掛、京都久邇宮多嘉王殿下御用掛宛御見舞電報ヲ發送シ夫々言上ラ乞ヘリ

(三) 王族御重患ノ場合

大正十五年四月七日 在京城李王殿下御病氣ニ付議長(粕谷義三君)ハ閔李王職長官宛電報ニテ御見舞ヲ申上ケテ

同月二十六日殿下御重患ノ趣ニ付議長ハ更ニ閔李王職長官宛電報ニテ御見舞申上タリ

(四) 國務大臣負傷ノ場合

第四回議會 明治二十五年十一月二十九日議長(星亨君)ハ伊藤内閣總理大臣負傷セラレタルニ付院議ヲ以テ慰問ヲ爲シ度旨ヲ發議シ院議異議ナク可決(速記録號外二頁)議長ハ即日内閣總理大臣官邸ニ慰問セリ

昭和五年十一月十四日 濱口内閣總理大臣東京驛ニ於テ兇漢ノ爲重傷ヲ負ヒタルニ依リ翌十五日議長(藤澤幾之輔君)ハ見舞ヲ爲セリ

(五) 締盟國首相遭難負傷ノ場合

第四十一回議會 大正八年二月二十五日議長(大岡育造君)ハ佛國首相「クレマンソー」氏遭難負傷ニ付院議ヲ以テ慰問シ度旨發議シ院議異議ナク議長指名十八名ノ委員ニ付託シ決議案ヲ起草セシムルニ決シ委員ハ直ニ起草ヲ爲シ同日其ノ成案ヲ院議ニ付シ院議全會一致之ヲ可決セリ(速記

録二三七頁)

(六) 締盟國ニ於ケル震災ノ場合

第二十五回議會 明治四十二年一月二十一日開議劈頭議長(長谷場純孝君)ハ去ル七日伊太利國大震災ノ報ニ接シタルニ依リ恰モ年始休會中ナリシモ議長ハ議院ヲ代表シ(各派協議會ノ決議ニ依リ)「日本帝國衆議院ハ貴帝國シ、リ、及カラブリアニ於ケル悲慘ナル震災ノ報ニ接シ痛嘆ノ至ニ堪ヘス茲ニ本院ヲ代表シテ同情ノ誠ヲ致ス衆議院議長長谷場純孝」トノ見舞電報ヲ發シタル旨ヲ報告シ議長ノ執レル措置ニ付議院ノ追認ヲ求メタルニ院議異議ナク之ヲ是認スルニ決シタリ(速記録九頁)

第六十四回議會 昭和八年三月十四日議長(秋田清君)ハ北米合衆國南加州ニ於ケル震火災ニ對シ同國下院議長及ロスアンゼルス駐劄領事宛在留同胞罹災者慰問ノ電報ヲ發シ三月十六日本會議ニ於テ之ヲ報告セリ(速記録六四〇頁)

參看 附錄五ノ(二)イ、ハ

(七) 震災水害等ノ場合

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十二日床次竹二郎君外五名ヨリ去ル九月一日ノ關東地

方大震災ニ付慰問ノ爲決議案(震災遭難者ニ對スル件)ヲ提出シ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院議全會一致之ヲ可決セリ(速記録六頁)

第五十二回議會 昭和二年三月十二日各派協議會ニ於テ北丹後地方ノ震災ニ付義捐金釀出ノ件ヲ決議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ四月十日平塚東京府知事宛送金シ分配方ヲ依頼セリ

昭和五年十二月五日 各派協議會ニ於テ豆相地方ノ震災ニ付見舞ノ件ヲ決議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ翌六年二月七日吉田社會局長官宛送金シ分配方ヲ依頼セリ

第六十三回(臨時)議會 昭和七年八月三十一日外務省文化事業部内北滿水災救援中央委員長公爵徳川家達君ヨリ北滿水災救援義捐金募集ノ件依頼アリ議員各自ヨリ一定金額ヲ釀出シ十一月九日同委員長宛送金セリ

昭和七年十月十二日 各派協議會ニ於テ北海道凶作及水害義捐金釀出ノ件ヲ協議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ翌八年二月二十八日佐上北海道廳長官宛送金シ分配方ヲ依頼セリ

第六十四回議會 昭和八年三月四日開議劈頭議長(秋田清君)ハ三月三日東北三陸地方ニ起リタル大震火災並海嘯ニ付慰問ノ辭ヲ述(速記録四三五頁)同日各派協議會ニ於テ義捐金釀出ノ件ヲ協議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ四月十日丹羽社會局長官宛送金シ分配方ヲ依頼セリ

第六十五回議會 昭和九年三月十六日各派協議會ニ於テ水雷艇友鶴遭難者弔慰金釀出ノ件ヲ協議

シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ五月十五日海軍大臣官房宛送金シ分配方ヲ依頼セリ

同 昭和九年三月二十三日各派協議會ニ於テ函館火災義捐金釀出ノ件ヲ協議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ五月十二日坂本函館市長宛送金シ分配方ヲ依頼セリ

昭和九年七月二十八日 各派協議會ニ於テ北陸三縣朝鮮及臺灣水害義捐金釀出ノ件ヲ協議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ九月二十八日適宜配分ノ上赤木社會局長官及坪上拓務次官宛送金セリ

昭和九年九月二十五日 各派協議會ニ於テ關西地方ノ暴風雨ニ付義捐金釀出ノ件ヲ協議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ十一月七日大阪毎日新聞社宛送金シ京都、大阪、兵庫、滋賀、鳥取、岡山、和歌山、徳島、高知ノ各被害府縣ニ對スル分配比率ヲ添ヘ分配方ヲ依頼セリ

昭和十年四月二十五日 各派協議會ニ於テ臺灣新竹州臺中州震災被害義捐金釀出ノ件ヲ協議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ五月三十一日入江拓務次官宛分配方依頼セリ

昭和十一年十月五日 各派協議會ニ於テ朝鮮風水害義捐金釀出ノ件ヲ協議シ議員各自ヨリ一定ノ金額ヲ釀出シ十一月十八日入江拓務次官宛分配方依頼セリ

参考 附録七ノ(四)

### 六四六 關東地方大震災ニ付各國議院ヨリ見舞電報ヲ受領ス

大正十二年九月一日ノ大震災ニ付亞爾然丁共和國下院議長、中華民國衆議院議長同副議長、中華民國參議院同衆議院、玖馬共和國下院議長、洪牙利國會議議長、墨西哥衆議院議長同書記官、「セルビー、クロアトイー、スラヲニー」王國會議議長及土耳其國會議議長ヨリ震災見舞ノ電報ヲ受領シ之ニ對シ本院議長ヨリ夫々謝電ヲ發送セリ

### 六四七 關東地方大震災ニ付列國ノ同情ニ對シ感謝決議ヲ爲ス

第四十七回(臨時)議會 大正十二年十二月十二日床次竹二郎君外五名ヨリ關東地方大震災ニ付列國ヨリ寄セラレタル同情ニ對シ決議案(震災ニ關スル列國ノ同情ニ對シ感謝ノ件)ヲ提出シ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院議全會一致之ヲ可決セリ(速記録七頁)

参考 附録五ノ(三)ノ(ロ)

### 六四八 軍隊ニ慰問品ヲ贈リ又ハ軍隊並在留邦人ヲ慰問ス

第二十二回議會 明治三十八年二月中旬日露戰爭ノ際、出征陸海軍傷病者慰問ノ爲本院議員一同

ノ名ヲ以テ慰問品(手拭及朝鮮飴)ヲ贈リ尙釀金ノ一部ヲ陸軍恤兵部へ寄贈セリ

第三十四回(臨時)議會閉會後 各派協議會ニ於テ青島ニ出征セル我カ陸海軍隊ヲ慰問セシムル爲  
慰問使ヲ派遣スルニ決シ議員川原茂輔君外五名書記官一名大正三年十月二十九日宇品出帆、勞  
山灣著、陸海軍ヲ慰問シ十一月中旬歸京セリ

第四十回議會閉會後 各派協議會ニ於テ西伯利ニ駐屯セル我カ浦鹽派遣軍隊並在西伯利各國軍隊  
ヲ慰問セシムル爲慰問使ヲ派遣スルニ決シ議員望月圭介君外四名、書記官屬各一名大正七年九  
月二十一日東京出發浦鹽ヨリ烏蘇里、黑龍、後貝加爾、東支鐵道ノ沿線ニ駐屯セル陸海軍ノ各部  
隊ヲ慰問シ十月三十日歸京セリ

第四十一回議會閉會後 再ヒ我カ浦鹽派遣軍隊ヲ慰問セシムル爲議員ヲ派遣スルコトトナリ議員  
東武君外七名、書記官屬各一名大正八年六月十日東京出發前同ト同一旅程ヲ採リ七月十六日歸  
京セリ

第六十回議會 昭和六年十二月二十四日各派協議會ニ於テ在滿軍隊警察官並在滿同胞慰問ノ件ヲ  
決議シ議員各自ヨリ慰問金ヲ釀出シ陸海省及外務省ヲ經テ夫々寄贈セリ

第六十一回(臨時)議會閉會後 各派協議會ニ於テ滿洲上海派遣軍隊並在留邦人ヲ慰問セシムル爲議  
員ヲ派遣スルニ決シ議員內野辰次郎君外十五名(內六名自費參加)書記官一名屬二名昭和七年四月

二十二日東京出發滿洲上海ニ駐在スル軍隊並在留邦人ヲ慰問シ五月十五日歸京セリ

第六十四回議會閉會後 各派協議會ニ於テ滿洲派遣軍隊並在留邦人ヲ慰問セシムル爲議員ヲ派遣ス  
ルニ決シ議員熊谷直太君外十四名(內四名自費參加)書記官一名屬二名昭和八年五月十二日東京出  
發滿洲國ニ駐在スル軍隊並在留邦人ヲ慰問シ六月七日歸京セリ

參看 附錄六

## 六四九 聯合與國ニ對シ慰問ヲ爲ス

第三十八回議會 大正六年一月二十三日開議劈頭歐洲戰爭ニ於ケル聯合諸國ニ對スル慰問ノ爲尾  
崎行雄君外七名ヨリ決議案(聯合國ニ對シ意思表明ノ件)ヲ提出シ議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院  
議異議ナク全會一致之ヲ可決セリ(速記録一〇頁)

參看 附錄五ノ(二)ノ(ロ)

第五節 弔詞

六五〇 議院弔意ヲ表ス

院議ヲ以テ若ハ議長議院ヲ代表シテ外國皇帝皇后ノ崩御、大統領、總理大臣、元帥ノ逝去ニ付弔意ヲ表ス

第十五回議會 明治三十四年一月二十二日大不列顛國皇帝ヅキクトリヤ陛下ノ崩御ニ付鳩山和夫

君外三名提出決議案(大不列顛國皇帝陛下崩御ニ付哀悼ノ件)ヲ議決シ(速記録三二頁)又議長(片岡健吉君)

ハ築地三一教會ニ於テ執行ノ同陛下ノ葬祭式ニ參列セリ

昭和八年十一月八日 アフガニスタン國皇帝陛下崩御アラセラレタルニ付同月十四日議長代理ト

シテ書記官麻布區飯倉ノ同國公使館ヲ訪問シ弔意ヲ表シタリ

第六十五回議會 昭和八年十二月二十九日ルーマニア國「ジアンジェーデユカ」内閣總理大臣薨去

ニ付翌九年一月八日神田區駿河臺「ニコライ」正教會ニ於テ執行セラレタル弔祭式ニ議長代理ト

シテ書記官參列セリ

同 昭和九年二月十八日白耳義國皇帝アルベール第一世陛下崩御ニ付同月二十日開議劈頭議長

(秋田清君)ハ院議ヲ以テ弔意ヲ表シ度旨發議シ議長起草ニ係ル決議文案ヲ朗讀シ院議全會一致

之ヲ可決シ(速記録三〇六頁)即日重光外務次官ニ對シ白耳義國ニ通報方依頼セリ尙二月二十二日

午前十一時小石川區關口臺町天主公會ニ於テ執行セラレタル弔祭式ニ議長代理トシテ書記官

參列セリ

昭和九年八月二日 獨逸國大統領ヒンデンブルグ元帥薨去セラレタルニ付同月七日午前九時三十

分赤坂區靈南坂町靈南坂教會ニ於テ執行セラレタル弔祭式ニ議長代理トシテ書記官參列セリ

昭和九年十月九日 ユーゴースラヴィア國皇帝陛下佛蘭西御訪問中崩御ニ付翌十日議長(秋田清

君)ハ同國下院議長宛弔電ヲ發送セリ

昭和十年五月十二日 ポーランド國「ジョゼフ・ピルスズスキ」元帥薨去セラレタルニ付同月十

八日小石川區關口臺町天主公會ニ於テ執行セラレタル弔祭式ニ議長代理トシテ書記官參列セ

リ

昭和十年八月二十九日 白耳義國皇后アストリッド陛下崩御ニ付同月三十一日議長代理トシテ書

記官ハ同國大使館ヲ訪問シ弔意ヲ表シ又九月十日午前十時小石川區關口臺町天主公會ニ於テ

執行セラレタル弔祭式ニ參列セリ

第六十八回議會 昭和十一年一月二十日大不列顛國皇帝ジョージ第五世陛下崩御ニ付同月二十一

日開議劈頭議長(濱田國松君)ハ院議ヲ以テ弔意ヲ表シ度旨發議シ議長起草ニ係ル文案ヲ朗讀シ

院議全會一致之ヲ可決セリ(速記録九頁)

參看 附錄八ノ(二)

### 六五一 議院弔詞ヲ贈ル

(一) 議員ノ逝去ニ付弔詞ヲ贈ル

議員ノ逝去シタルトキハ開會中ナルト閉會中ナルトヲ問ハス其ノ遺族ニ弔詞ヲ贈ルヲ例トス而シテ  
 第三回議會迄ハ閉會中ニ逝去シタル者ニ對シテハ開會ヲ俟テ院議ニ諮ヒ之ヲ贈リタルモ第四回議會  
 ヨリハ閉會中ナルトキハ議長ヨリ弔詞ヲ贈リ(第十回議會ニ於テハ英照皇太后御大葬儀ノ爲ニ於テ取計ヘリ)又第十四回議會  
 ヨリハ例文ニ依ル弔詞ハ開會中ト雖院議ニ諮フコトナク之ヲ贈ルコトトナリ第五十二回議會ヨリハ  
 開會中(年未年始ノ休會中ヲ除ク)逝去シタルトキハ逝去者ノ屬セシ黨派以外ノ黨員ヨリ弔詞ヲ贈ルノ動議ヲ提出  
 シ且衷悼ノ辭ヲ述フルノ例トナリ第六十七回議會ヨリハ議會召集詔書公布後召集前逝去セル者ニ對  
 シテモ開會中逝去セル者ト同一ノ例ニ依リ既ニ議長ニ於テ弔詞ヲ贈呈シタル者ニ對シテハ議會開會  
 後代表議員弔辭ヲ述フルコト且年未年始休會中逝去セル者ニ對シテモ亦同一ノ例ニ依ルコトトナ  
 レリ

今各種ノ場合ヲ沿革的ニ例示スレハ左ノ如シ

第一回議會 明治二十三年十二月二十三日法貴發君逝去シタルヲ以テ議長(中島信行君)ハ同二十

四年一月十日遺族ニ弔詞ヲ贈ルノ可否ヲ院議ニ諮ヒ院議之ヲ可決セリ(速記録三一頁)

第二回議會 第一回議會閉會ノ後小林雄七郎君、山際七司君逝去シタルヲ以テ議長(中島信行君)

ハ第二回議會ノ開會ヲ俟テ院議ニ諮ヒ(速記録五頁)弔詞ヲ贈レリ

明治二十五年八月十日 長井松太郎君同月十九日藤田茂吉君逝去シタルニ適々議會閉會中ナリシ

ヲ以テ議長ハ兩君ノ遺族ニ弔詞ヲ贈リ第四回議會ノ開會ニ際シ議長(星亨君)ハ先例ニ依レハ議

員閉會中死亡セルトキハ開會ヲ俟テ弔詞ヲ贈ルコトトナリ居レルモ閉會中ナルトキト雖死亡ノ

際弔詞ヲ贈ルヲ正當ナリト思料セルニ依リ從來ノ例ニ依ラス諸君ヲ代表シテ議長ノ名ヲ以テ弔

詞ヲ贈呈セリ尙之ヲ以テ將來ノ例ト爲シ度旨ヲ諮リ院議異議ナク之ヲ可決セリ(速記録號外一頁)

第十回議會 明治三十年二月四日山本三太郎君逝去シタルニ適々休會中ナリシヲ以テ議長(鳩山

和夫君)ハ遺族ニ弔詞ヲ贈リ開會ニ際シ其ノ旨報告シ且承認ヲ求メタルニ院議異議ナク之ヲ是

認セリ(速記録七〇頁)

第十四回議會 明治三十三年二月十九日岡野寬君逝去ニ付同日議長(片岡健吉君)ハ弔詞贈呈ノ件

ヲ院議ニ諮ヒ次テ議員ノ死亡閉會中ナルトキハ議長ニ於テ取計ヒ開會中ナルトキハ院議ニ諮リ



タルモ將來ハ開會中ト雖議長ヨリ直ニ弔詞ヲ贈ルコトト爲スニ異議ナキヤヲ諮ヒ院議異議ナカリキ(速記録六一二頁)

明治三十四年六月二十一日 星亨君刺客ノ爲逝去ニ付議長(片岡健吉君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リ第十六回議會ノ始ニ於テ之ヲ議院ニ報告セリ(速記録一頁)

明治三十六年十月三十一日 議長片岡健吉君逝去ニ付副議長(杉田定一君)ハ弔詞ヲ贈リ第十九回議會召集當日集會ノ始ニ於テ之ヲ議院ニ報告シ書記官長ヲシテ其ノ弔詞ヲ朗讀セシメ之ニ對シ出席年長議員對馬嘉三郎君ハ議員總代トシテ哀悼ノ辭ヲ述ヘタリ(速記録號外一頁)

明治四十四年十月四日 元議長鳩山和夫君逝去ニ付副議長(肥塚龍君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

第三十一議會 大正三年三月十五日議長長谷場純孝君薨去ニ付同月十七日副議長(關直彦君)ハ長谷場議長薨去ニ付葬儀當日休會シ且院議ヲ以テ弔詞ヲ贈呈シ度旨ヲ發議シ且副議長起草ニ係ル弔詞案ヲ朗讀シ院議全會一致之ヲ可決セリ(速記録五六八頁)

第四十回議會 大正七年三月二十三日議長(大岡育造君)ハ請願委員長板東勘五郎君ハ職務ニ精勵シテ將ニ議場ニ於テ委員長報告ヲ爲サムトスル際遽ニ病ニ罹リ只今危篤ノ儘退出セラルルニ付十分間休憩シテ之ヲ見送り度旨ヲ告ケ院議異議ナク之ヲ可決セリ(速記録五七五頁)

尙同月二十五日議長ハ同君ハ去ル二十三日逝去ニ付先例ニ依リ弔詞ヲ贈呈セル旨ヲ報告セリ

(速記録五九五頁)

第四十三回(特別)議會 大正九年七月八日前田兵郎君ニ對シ前記板東君ノ場合ト同一ノ事例アリ(速記録六八頁)

大正十年十一月六日 議員内閣總理大臣原敬君同月四日薨去ニ付議長(奥繁三郎君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

尙郷里ニ於ケル葬儀當日(十一月十一日)奧議長粕谷副議長寺田書記官長ハ葬儀ニ參列セリ

大正十二年十一月十四日 元議長島田三郎君逝去ニ付議長(粕谷義三君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

第四十八回議會 大正十二年十二月三十日(休會中)元議長河野廣中君薨去ニ付議長(粕谷義三君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

第五十回議會 大正十四年二月四日議員司法大臣横田千之助君薨去ニ付院議ニ依リ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

右ニ對シ年長者竹原樸一君ハ左ノ哀悼ノ辭ヲ述ヘタリ

此ノ際私ハ年長者ノ廉ヲ以テマシテ諸君ノ御許ヲ得テ議員一同ヲ代表シ哀悼ノ言葉ヲ述ベタイ

ト存ジマス：故横田君ハ明治四十五年議員ニ當選セラレ爾來引續キ其任ニ居ラレマシテ曩ニ原内閣ノ下ニ法制局長官ニ任ゼラレ昨年六月現内閣成立ニ際シ司法大臣ノ要職ニ就カレ輔弼ノ重任ニ當ラレマシタ同君ハ尙ホ春秋ニ富ミ、前途極メテ有望ノ政治家デアリマシタ然ルニ數日前圖ラズモ病氣ニ罹ラレ去ル五日俄ニ薨去セラレマシタコトハ實ニ國家ノ爲メ哀悼ノ至ニ堪ヘザル次第デゴザイマス茲ニ謹デ：此尊敬スベキ故人ニ對シテ哀悼ノ意ヲ表ハシマス(速記録一八〇頁)

大正十四年九月十四日 議員大藏大臣早速整爾君薨去ニ付議長(柏谷義三君)ハ普通ノ文例ニ依ラズ弔詞ヲ贈レリ

第五十二回議會 昭和二年二月二十四日ノ會議ニ於テ議長(柏谷義三君)ハ議員野田卯太郎君ハ昨二十三日薨去セラレ哀悼痛惜ニ堪ヘサル旨ヲ告ケ望月小太郎君ノ發言ヲ許可ス望月君ハ左ノ哀悼ノ辭ヲ述ヘタリ

只今議長ヨリ御報告ニナリマシタ故衆議院議員野田卯太郎君ニ對シ院議ヲ以テ深甚ナル弔詞ヲ贈ルコトト致シ其起草ハ總テ議長ニ一任スルコトノ動議ヲ茲ニ提出致シマス、此際私ハ議員一同ヲ代表致シマシテ故野田君ノ爲ニ哀悼ノ辭ヲ述ベタイト存ジマス野田君ハ明治三十一年本院議員ニ當選セラレ爾來引續キ議席ヲ保チ曩ニ大正七年原内閣成立ノ際入ツテ逋信大臣ノ任ニ

就キマシテ大正十年高橋内閣ニ留任致シ大正十四年加藤内閣ニ入ツテ商工大臣ノ任ニ就キマシテ前後輔弼ノ重責ニ膺ラレマシタノデアリマス願ミテ故人ガ憲政ノ運用ニ盡瘁セラレタコトハ諸君御承知ノ通りデゴザイマス殊ニ故人ノ人格ト識見トハ——吾々同人ノ親シク推重セシ所デゴザイマス然ルニ昨二十三日俄ニ薨去セラレマシタコトハ洵ニ哀悼ノ至リニ堪ヘザル次第デゴザイマス茲ニ謹ンデ此尊敬スベキ故人ニ對シ哀悼ノ意ヲ表ス次第デアリマス

院議異議ナク望月君ノ動議ヲ可決シ(速記録三三二頁)議長起草ニ係ル普通ノ文例ニ依ラサル弔詞ヲ贈レリ

同 昭和二年二月二十三日山口政二君ハ院内ニ於テ、三月八日富田愿之助君ハ仙臺ニ於テ、同月十五日木戸豊吉君ハ郷里ニ於テ執レモ逝去シタルニ依リ野田君ノ例ニ依リ各他派所屬議員弔辭ヲ述ヘ(速記録三三二、五三九、六九四頁)且院議ヲ以テ弔詞(例文)ヲ贈レリ(山口君ニ對シテハ別ニ花環壹箇ヲ贈ル)

爾來議會開會中(年末年始休會中ヲ除ク)議員逝去セルトキハ議場ニ於テ哀悼ノ辭ヲ述フルノ例トナレリ

第五十六議會 昭和四年三月五日議員山本宜治君刺客ノ爲逝去セルニ付翌六日議長(元田肇君)ハ院議ニ諮ヒ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ(速記録五七八頁)

昭和四年五月十九日 議長川原茂輔君卒去ニ付副議長(清瀬一郎君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ

贈レリ

尙郷里ニ於ケル葬儀當日(翌五年六月一日)衆議院事務局ヨリ書記官一名參列セリ

第五十八回(特別)議會 昭和五年五月四日元議長議員粕谷義三君卒去ニ付同月六日院議ヲ以テ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ(速記録一四五頁)

尙郷里ニ於ケル葬儀當日(五月八日)衆議院事務局ヨリ書記官屬各一名參列セリ

昭和六年八月二十六日 議員前内閣總理大臣濱口雄幸君薨去ニ付當時議長關位ナリシヲ以テ副議長(小山松壽君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

昭和七年五月十六日 議員内閣總理大臣犬養毅君薨去ニ付議長(秋田清君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

第六十四回議會 昭和八年二月四日議員秦豊助君薨去ニ付同月七日院議ヲ以テ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ(速記録一七七頁)

第六十五回議會 昭和九年三月二十五日議員中橋德五郎君薨去ニ付同日院議ヲ以テ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ(速記録九二二頁)

第六十七回議會 議員藤井達也君ハ前期議會閉會後即チ昭和九年十二月十六日逝去シ議長(秋田清君)ハ先例ニ依リ弔詞ヲ贈呈シタルカ翌十年一月二十二日各派協議會ノ結果本期議會召集詔

書公布後召集日前ニ逝去シタル議員ニ對シテモ議場ニ於テ弔辭ヲ述フルコトナリタルヲ以テ

同日菊池良一君ハ藤井君ニ對シ弔辭ヲ述ヘタリ(速記録八頁)爾來此ノ例ニ依ル

同 年末年始休會中即チ昭和九年十二月三十一日議員高木正年君、昭和十年一月十六日議員澤本與一君、同月二十日議員林儀作君執レモ逝去シ右ノ内澤本君ニ對シテ既ニ先例ニ依リ議長(濱田國松君)ハ弔詞ヲ贈呈シタルモ同月二十二日各派協議會ニ於テ年末年始休會中ニ逝去シタル議員ニ對シテモ議場ニ於テ弔辭ヲ述フルコトナリタルヲ以テ同日既ニ弔詞ヲ贈呈セル澤本與一君ニ對シテハ兒玉右二君弔辭ヲ述ヘ、未タ弔詞ヲ贈呈セサル高木正年君ニ對シテハ牧野賤男君、林儀作君ニ對シテハ大島寅吉君各弔詞贈呈ノ動議ヲ提出シ且弔辭ヲ述ヘタリ(速記録八、九頁)

尙同日各派協議會ニ於テ爾今二十年以上在職ノ議員逝去セルトキハ特別ノ弔詞ヲ贈ルコトニ決シタル結果高木正年君ニ對スル弔詞ハ普通ノ文例ニ依ラス爾來此ノ例ニ依ル

昭和十年九月八日 議員遞信大臣床次竹二郎君薨去ニ付議長(濱田國松君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈レリ

臨時總選舉後議會召集前ニ議員逝去シタルトキハ書記官長ニ於テ弔詞ヲ贈レリ其ノ場合左ノ如シ  
第三回(特別)議會召集前第二(臨時)總選舉後明治二十五年三月十三日是恒眞楫君逝去シタルトキ

第十八回(特別)議會召集前第八(臨時)總選舉後明治三十六年三月三十日西村規矩君逝去シタルト

キ

第三十六回(特別)議會召集前第十二(臨時)總選舉後大正四年四月二十五日村上太三郎君逝去シタル

トキ

第四十三回(特別)議會召集前第十四(臨時)總選舉後大正九年六月二十八日森岡京次郎君逝去シタル

トキ

第五十五回(特別)議會召集前第十六(臨時)總選舉後昭和三年三月三日山邑太三郎君、同月十五日吉

村伊助君逝去シタルトキ

第五十八回(特別)議會召集前第十七回(臨時)總選舉後昭和五年二月二十六日鈴木萬次郎君、四月十

五日近藤豐吉君逝去シタルトキ

第七十一回(特別)議會召集前第二十回(臨時)總選舉後昭和十二年五月九日菅原傳君、同月十六日石

山寅吉君逝去シタルトキ

參看 附錄八ノ(四)

(二) 皇族王族薨去ニ付弔詞ヲ奉呈ス

第八回議會 明治二十八年一月二十四日陸軍大將大勳位有栖川宮熾仁親王殿下薨去アラセラレタ

ルニ付同日議長(楠本正隆君)ハ弔詞ノ贈呈及本日はヨリ休會ノ件竝御葬儀當日休會ヲ爲シ且議

長ハ議院ヲ代表シテ靈柩ヲ奉送ストノ件ヲ院議ニ諮ヒ異議ナカリシヲ以テ議長起草ニ係ル弔詞

案ヲ院議ニ諮ヒ全會一致之ヲ可決セリ(速記録二四四頁)

明治二十八年十一月五日 北白川宮能久親王殿下薨去ニ付議長(楠本正隆君)ハ弔詞ヲ贈呈セリ

明治四十二年十二月十二日 賀陽宮邦憲王殿下薨去ニ付議長(長谷場純孝君)ハ弔詞ヲ贈呈セリ

大正二年七月十日 有栖川宮威仁親王殿下薨去ニ付議長(大岡育造君)ハ弔詞ヲ贈呈セリ

第四十一回議會 大正八年一月二十五日李太王殿下薨去ニ付元田肇君外十三名ヨリ哀悼ニ關スル

決議案ヲ提出シ同日議事日程ヲ變更シテ院議ニ付シ全會一致之ヲ可決セリ(速記録六二頁)尙議長

(大岡育造君)ノ發議ニ依リ本日竝御葬儀當日(三月三日)休會ノ件ヲ可決セリ(速記録六二頁)

大正十一年六月二十七日 東伏見宮依仁親王殿下薨去ニ付議長(奧繁三郎君)ハ弔詞ヲ贈呈セリ

第四十六回議會 大正十二年二月四日伏見宮貞愛親王殿下薨去ニ付同月六日副議長(粕谷義三君)

ハ弔詞贈呈ノ件ヲ發議シ院議異議ナカリシヲ以テ副議長起草ニ係ル弔詞案ヲ院議ニ諮ヒ全會一

致之ヲ可決シ(速記録一五七頁)尙岩崎勳君提出本日はヨリ竝御葬儀當日休會ノ件ヲ可決セリ(速記

錄一七五)

大正十二年四月一日 北白川宮成久王殿下佛國ニ於テ薨去ニ付同月三日議長(粕谷義三君)ハ弔電ヲ贈呈セリ

大正十五年四月二十六日 李王殿下薨去ニ付同月二十七日議長(粕谷義三君)ハ弔電ヲ贈呈シ六月十日京城ニ於ケル國葬當日弔詞(四月二十八日各派協議會ニ於テ決定)ヲ贈呈シ且本院ヲ代表シテ議員四名(各派)參列セリ

第五十六回議會 昭和四年一月二十七日元帥陸軍大將久邇宮邦彥王殿下熱海御別邸ニ於テ薨去ニ付同月二十八日開議劈頭議長(元田肇君)ハ議長起草ニ係ル弔詞ヲ贈呈シ度旨ヲ發議シ院議全會一致之ヲ可決シ(速記録一二〇頁)次テ本日はヨリ竝御葬儀當日休會ノ件ヲ議決セリ(速記録一二〇頁)

參看 附錄八ノ(一)

(三) 元勳其ノ他ノ薨去若ハ逝去ニ付弔詞ヲ贈ル

第一回議會 明治二十四年二月十八日內大臣正一位大勳位公爵三條實美君薨去ニ付同月十九日議長(中島信行君)ハ當日之ヨリ弔意ヲ表スル爲休會シ且院議ヲ以テ弔詞贈呈ノ件ヲ發議シ院議異議ナク之ヲ可決シ弔詞ハ之ヲ議長ニ一任スルニ決セリ(速記録七七四頁)

第八回議會 明治二十八年二月九日陸軍少將從四位勳三等大寺安純君戰死ニ付同月二十一日江原素六君ハ弔詞ヲ贈ルノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決セリ(速記録六三六頁)

第十三回(特別)議會 明治三十二年一月二十一日樞密顧問官正二位勳一等伯爵勝安芳君薨去ニ付同月二十五日片岡健吉君外七名提出決議案(伯爵勝安芳君逝去ニ付弔詞ヲ贈ルノ件)ヲ院議ニ付シ之ヲ可決セリ(速記録二五六頁)

第十五回議會 明治三十四年二月三日福澤諭吉君逝去ニ付同月七日片岡健吉君外六名提出決議案(福澤諭吉君逝去ニ付哀悼ノ件)ヲ院議ニ付シ之ヲ可決セリ(速記録三九頁)

第二十一回議會 明治三十八年一月三十一日樞密顧問官正二位勳一等伯爵副島種臣君薨去ニ付二月四日大岡育造君外七名提出決議案(伯爵副島種臣君薨去ニ付弔意ノ件)ヲ院議ニ付シ之ヲ可決セリ(速記録一六二頁)

同 明治三十八年一月四日第一師團長陸軍中將從三位勳一等功三級松村務本君薨去ニ付二月十四日江原素六君外八名提出決議案(陸軍中將松村務本君薨去ニ付弔意ノ件)ヲ院議ニ付シ之ヲ可決セリ(速記録二一八頁)

明治四十二年十月二十六日 樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤博文君薨去ニ付十一月二日議長(長谷場純孝君)ハ弔詞ヲ贈レリ

第三十一回議會 大正三年三月五日司法大臣正二位勳一等男爵松田正久君薨去ニ付同月七日院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ(速記録四二九頁)

大正四年九月四日 維新史料編纂會總裁臨時編修局顧問貴族院議員從一位大勳位侯爵井上馨君薨去ニ付同日議長(島田三郎君)ハ弔詞ヲ贈レリ

大正五年十二月十日 議定官内大臣元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵大山巖君薨去ニ付同月十三日議長(島田三郎君)ハ弔詞ヲ贈レリ

大正八年七月十六日 從一位勳一等伯爵板垣退助君薨去ニ付同月十九日議長(大岡育造君)ハ弔詞ヲ贈レリ

第四十五回議會 大正十一年一月十日(休會中)從一位大勳位侯爵大隈重信君薨去ニ付同月十七日議長(奥繁三郎君)ハ弔詞ヲ贈レリ

同 大正十一年二月一日議定官樞密院議長元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵山縣有朋君薨去ニ付同月三日院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ(速記録一五四、一五六頁)

大正十二年八月二十五日 元帥海軍大將正二位大勳位功二級子爵内閣總理大臣加藤友三郎君薨去ニ付同月二十七日議長(粕谷義三君)ハ弔詞ヲ贈レリ

第四十九回(特別)議會 大正十三年七月二日從一位大勳位公爵松方正義君薨去ニ付同月五日院議

ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ(速記録八一頁)

大正十三年九月八日 元議長從四位勳一等奥繁三郎君逝去ニ付同月十二日議長(粕谷義三君)ハ弔詞ヲ贈レリ

第五十一回議會 大正十五年一月二十八日内閣總理大臣正二位大勳位伯爵加藤高明君薨去ニ付二月二日議長(粕谷義三君)ハ弔詞贈呈ノ件ヲ發議シ年長者竹原樸一君哀悼ノ辭ヲ述ヘ院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ(速記録二二九頁)

第五十六回議會 昭和四年三月二十三日元議長貴族院議員正四位勳二等杉田定一君逝去ニ付同月二十五日院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ(速記録九九二頁)

昭和四年九月二十九日 前内閣總理大臣貴族院議員陸軍大將正二位勳一等功三級男爵田中義一君薨去ニ付十月三日副議長(清瀬一郎君)ハ弔詞ヲ贈レリ

第六十二回(臨時)議會 昭和七年五月二十六日上海派遣軍司令官陸軍大將從二位勳一等功三級男爵白川義則君薨去ニ付六月二日院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ(速記録五頁)

昭和七年十一月三十日 元議長京都市長從四位勳二等森田茂君逝去ニ付十二月六日議長(秋田清君)ハ弔詞ヲ贈レリ

昭和八年七月二十七日 關東軍司令官兼特命全權大使關東長官元帥陸軍大將正二位勳一等功二級

男爵武藤信義君薨去ニ付八月七日議長(秋田清君)ハ弔詞ヲ贈レリ

昭和八年十二月八日 海軍大將從一位大勳位功一級伯爵山本權兵衛君薨去ニ付同月十二日議長(秋田清君)ハ弔詞ヲ贈レリ

昭和九年五月三十日 議定官元帥海軍大將從一位大勳位功一級侯爵東郷平八郎君薨去ニ付六月二日議長(秋田清君)ハ弔詞ヲ贈レリ

第六十七回議會 昭和十年二月二十八日文學博士坪内雄藏君逝去ニ付三月二日院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ

臨時總選舉後議會召集前衆議院ノ名ヲ以テ弔詞ヲ贈レル場合左ノ如シ

昭和十一年二月二十六日(第十九回(臨時)總選舉後第六十九回(特別)議會召集前)大藏大臣正二位大勳位高橋是清君薨去ニ付三月二十六日衆議院ノ名ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ

同 (同) 内大臣海軍大將從一位大勳位功二級子爵齋藤實君薨去ニ付三月二十二日衆議院ノ名ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ

昭和十二年五月二十二日(第二十回(臨時)總選舉後第七十一回(特別)議會召集前)元議長正五位勳二等中村啓次郎君逝去ニ付同月二十五日衆議院ノ名ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ(茲從四位五月二十七日官報掲載)

參看 附錄八ノ(三)

### 六五二 議長花環若ハ生花ヲ贈ル

左ノ場合ハ弔詞ヲ贈呈セス議長ノ名ヲ以テ生花若ハ花環ヲ贈レリ

大正元年九月十三日 陸軍大將從二位勳一等功一級伯爵乃木希典君薨去ニ付同月十八日眞樺壹對ヲ贈レリ

大正二年三月二十八日 陸軍中尉德田金一君、同木村鈴四郎君軍用飛行機ヨリ墜落死去ニ付四月四日眞樺壹對ヲ贈レリ

大正二年十月十一日 陸軍大將從一位大勳位功三級公爵桂太郎君薨去ニ付同月十六日生花壹對ヲ贈レリ

大正十四年八月三日 駐日米國大使エドガー、アデーソン、バンクロフト氏逝去ニ付同日花環壹箇ヲ贈レリ

大正十四年九月二十五日 樞密院議長正二位勳一等子爵濱尾新君薨去ニ付同月二十九日眞樺壹對ヲ贈レリ

大正十四年十一月二十八日 英國皇太后陛下弔祭式ニ付花環壹箇ヲ贈レリ

大正十五年二月十一日 正二位大勳位侯爵李完用君薨去ニ付同月十八日花環壹箇ヲ贈レリ  
大正十五年四月七日 樞密院議長正二位勳一等男爵穂積陳重君薨去ニ付同月十日眞神壹對ヲ贈レ

昭和二年三月二十日 芝、増上寺ニ於テ憲政創始功勞者先亡諸君追悼及法要營マレタルニ付生花壹對ヲ贈レリ

昭和三年一月二十七日 元議長正四位勳一等大岡育造君薨去ニ付同月二十八日花環壹箇ヲ贈レリ  
(第五十四回議會解散後總選舉前ニ付書記官長ノ名ヲ以テス)

第五十六回議會 昭和四年一月十六日侍從長兼樞密顧問官伯爵珍田捨巳君薨去ニ付同月十九日眞神壹對ヲ贈レリ

昭和四年四月十三日 正二位勳一等伯爵後藤新平君薨去ニ付同月十六日花環壹箇ヲ贈レリ

昭和四年八月三十日 元副議長從三位勳一等箕浦勝人君薨去ニ付同月三十一日花環壹箇ヲ贈レリ

昭和五年七月十九日 元帥陸軍大將從一位大勳位功一級伯爵奧保鞏君薨去ニ付同月二十三日生花

(筒花)壹對ヲ贈レリ

第五十九回議會 昭和六年三月十二日前副議長勳三等松浦五兵衛君逝去ニ付同日花環壹箇ヲ贈レ

昭和六年十二月三日 元副議長貴族院議員勳一等花井卓藏君逝去ニ付同月四日花環壹箇ヲ贈レリ

昭和七年九月十八日 貴族院議員從二位勳一等江木翼君薨去ニ付同日花環壹箇ヲ贈レリ

昭和七年九月十八日 芝、増上寺ニ於テ滿洲事件犠牲者追悼會行ハレタルニ付花環壹箇ヲ贈レリ

昭和七年十一月五日及昭和八年十一月五日 千住小塚原ニ於テ明治維新烈士追悼會行ハレタルニ

付花環壹箇ヲ贈レリ

昭和八年十月二日 芝、青松寺ニ於テ海軍少佐草刈英治君慰靈祭行ハレタルニ付花環壹箇ヲ贈レ

リ

昭和八年十一月八日 議定官元帥陸軍大將從一位大勳位功二級子爵上原勇作君薨去ニ付同月十一

日眞神壹對ヲ贈レリ

昭和八年十一月二十四日 大阪、東京朝日新聞社長 元衆議院議員貴族院議員村山龍平君逝去ニ付

同月二十九日大阪、東京朝日新聞社ニ於ケル葬儀ニ際シ花環貳箇(東京一、大阪一)ヲ贈レリ

第六十五回議會 昭和九年三月十日時事新報社長前議員武藤山治君逝去ニ付花環一箇ヲ贈レリ

昭和九年四月二十一日 元副議長貴族院議員正五位勳二等關直彦君逝去ニ付同月二十四日花環壹

箇ヲ贈レリ

尚第六十九回(特別)議會以來議員逝去ノ場合ハ弔詞ト共ニ議長ヨリ花環壹箇ヲ贈ルノ例トナレリ



### 第三章 恩賞待遇

#### 第一節 敘位、敘勳、恩賞及恩賜

#### 六五三 事件ノ功ニ依リ議長副議長及事務局職員ニ對スル敘勳恩賞

第九回議會 明治二十九年三月明治二十七八年事件ノ功ニ依リ議長勳二等楠本正隆君ハ勳一等瑞寶章ヲ、副議長島田三郎君ハ勳四等瑞寶章ヲ授ケラレ書記官長勳四等水野遵君ハ勳三等旭日中

授章並金三千圓ヲ賜ヒ書記官以下事務局職員ニ賜金ノ御沙汰アリ  
第二十二回議會閉會後 明治三十九年四月明治三十七八年事件ノ功ニ依リ前議長正三位松田正久君ハ勳一等旭日大授章ヲ、議長從四位杉田定一君ハ勳四等旭日小授章ヲ、副議長正五位箕浦勝人君ハ勳二等旭日重光章ヲ授ケラレ書記官長勳三等林田龜太郎君ハ勳二等旭日重光章並金千圓ヲ賜ヒ書記官以下事務局職員ニ敘勳賜金ノ御沙汰アリ

第三十七回議會閉會後 大正五年四月大正三四年事件ノ功ニ依リ議長勳二等島田三郎君ハ旭日重光章ヲ、前議長勳四等奧繁三郎君ハ勳二等旭日重光章ヲ、副議長勳四等早速整爾君ハ勳三等旭日中授章ヲ、前副議長勳三等花井卓藏君、同勳三等關直彦君ハ各旭日中授章ヲ授ケラレ前書記官長

勳二等林田龜太郎君ハ金二千五百圓、書記官長勳四等岡崎國臣君ハ勳三等瑞寶章並金千二百圓ヲ賜ヒ書記官以下事務局職員ニ敍勳賜金ノ御沙汰アリ

第四十三回(特別)議會閉會後 大正九年十一月大正四年乃至九年事件ノ功ニ依リ議長勳二等奧繁三郎君ハ金杯壹組、副議長勳三等粕谷義三君ハ金杯壹箇、書記官長勳三等寺田榮君ハ金千百圓ヲ賜ヒ書記官以下事務局職員ニ賜金ノ御沙汰アリ

第六十八回議會 昭和十年十二月昭和六年乃至九年事變ニ於ケル功ニ依リ副議長勳三等植原悦二郎君ハ昭和九年四月二十九日附ヲ以テ勳二等瑞寶章ヲ授ケラレ書記官長勳三等田口弼一君ハ勳二等瑞寶章及金八百五十圓ヲ賜ヒ書記官以下事務局職員ニ敍勳又ハ賜金ノ御沙汰アリ  
尙前議長秋田清君ハ昭和十年十二月二十三日附ヲ以テ勳一等瑞寶章ヲ授ケラレタリ

## 六五四 事件ノ功ニ依リ議員ニ對スル敍勳恩賞

第九回議會 明治二十九年三月明治二十七八年事件ノ功ニ依リ各議員ニ第七回(臨時)議會召集ノ際銀盃壹組宛ヲ賜ハル

第二十二回議會閉會後 明治三十九年四月明治三十七八年事件ノ功ニ依リ各議員ニ勳四等旭日小

綬章ヲ授ケラル但シ既ニ勳等ヲ有スル者ニ對シテハ勳二等瑞寶章、旭日中綬章、旭日小綬章ヲ授ケラレタル者各一名アリ

第三十七回議會閉會後 大正五年四月大正三四年事件ノ功ニ依リ各議員ニ勳四等瑞寶章又ハ勳四等旭日小綬章ヲ授ケラル但シ勳四等以上ノ有勳者ニハ上級勳章ヲ加敍又ハ進敍セラレ又ハ賜金ノ御沙汰アリ

第四十三回(特別)議會閉會後 大正九年十一月大正四年乃至九年事件ノ功ニ依リ議員大岡育造君ハ金杯一組其ノ他ノ各議員ハ金杯壹箇若ハ銀杯壹組ヲ賜ハル

第六十八回議會 昭和十年十二月二十四日(召集日)昭和六年乃至九年事變ニ於ケル功ニ依リ昭和九年四月二十九日附ヲ以テ議員ハ勳四等瑞寶章ヲ授ケラレ既ニ勳四等以上ヲ有スル者ハ上級勳章ヲ加敍又ハ進敍セララル但シ勳一等ヲ有スル者ノ内四名ハ各金杯壹箇ヲ賜ハル

## 六五五 多年在職セル議員ニ對スル敍位、敍勳及恩賞

第三十二回(臨時)議會閉會後 大正三年六月十八日第一回議會以來引續キ衆議院議員ノ職ニ在リタル者ニ對シ恩賞ノ御沙汰アリ 元田肇君ハ從三位ニ、箕浦勝人君ハ正四位ニ敍セラル又尾崎行

雄君、犬養毅君、島田三郎君、河野廣中君、井上角五郎君ハ執レモ勳三等瑞寶章ヲ授ケラル

第四十一回議會 大正八年二月十一日憲法發布三十年記念祝賀會ニ際シ多年衆議院議員ノ職ニ在

六 リテ勳勞不尠ノ故ヲ以テ勳三等ヲ有スル議員二十四名ニ旭日中綬章ヲ、勳四等ヲ有スル議員二十九名ニ旭日小綬章ヲ賜ハリ、勳一等乃至勳四等ヲ有スル議員二十一名ニ執レモ金杯一箇ヲ賜ハル

第四十八回議會解散後 大正十三年二月十一日 皇太子殿下御結婚ニ際シ衆議院議員トシテ三十年以上在職シタル故ヲ以テ元田肇君、尾崎行雄君、犬養毅君、箕浦勝人君、井上角五郎君、武富時敏君ハ執レモ金杯壹組ヲ賜ハル

### 六五六 御大禮ニ際シ議長副議長及議員ニ對スル敍勳恩賞

第三十六回(特別)議會閉會後 大正四年十一月十日附(即位ノ大禮御舉行ノ當日)ヲ以テ議長勳三等島田

三郎君ハ勳二等瑞寶章ヲ、前議長勳四等杉田定一君、前副議長勳四等肥塚龍君、前副議長關直彦君ハ執レモ勳三等瑞寶章ヲ、勳三等犬養毅君ハ勳二等瑞寶章ヲ授ケラル

第五十五回(特別)議會閉會後 昭和三年十一月十日附(即位ノ大禮御舉行ノ當日)前議長勳二等柏谷義三

君ハ勳一等瑞寶章ヲ授ケラレ議員ニ各金杯壹箇ヲ賜ハル

### 六五七 議長及議員ニ對シ特旨ニ依ル敍位敍勳

第十八回(特別)議會閉會後 明治三十六年十月上旬議長片岡健吉君ノ病氣危篤ノ報 天聽ニ達スルヤ同月三十一日特ニ正四位勳三等ニ敍シ旭日中綬章ヲ授ケラレ 聖上陛下ヨリ御見舞トシテ御菓子料ヲ賜ハリ又卒去ノ際祭料ヲ下賜セララル

第三十一回議會 大正三年三月十五日議長正四位勳三等長谷場純孝君病氣危篤ノ報 天聽ニ達スルヤ特ニ從三位勳二等ニ敍シ旭日重光章ヲ授ケラレ葬儀當日勅使ヲ同邸ニ差遣シ幣帛ヲ下賜セラレタリ

第四十六回議會 大正十二年二月十六日議長勳二等奧繁三郎君病氣辭職ノ際特ニ勳一等瑞寶章ヲ授ケラレタリ

第五十六回議會閉會後 昭和四年五月十九日議長勳二等川原茂輔君卒去ノ際特ニ從四位ニ敍シ同月二十日祭資ヲ下賜セラレ二十二日告別式當日勅使ヲ差遣シ幣帛ヲ賜ハリタリ

議員逝去ノ際ハ其ノ功績ヲ調査シ敍位敍勳ヲ上申シ特旨ニ依リ敍位敍勳セラレタル者尠カラス尙前

ニ議長副議長タリシ者若ハ議員タリシ者逝去シタル場合ニ於テハ功績事項ヲ調査シ敍位敍勳ヲ上申シタルコトアリ

### 六五八 議長副議長及議員ニ對スル定例敍勳

第四十一回議會大正八年二月十二日議長副議長及議員敍勳ノ件裁定セラレ(大正八年三月一日賞勳局總裁ノ通牒)議長副議長議員ハ文武官敍勳内則中官吏ノ定期敍勳ニ關スル規定ヲ準用セラルルコトナリ議長ハ親任官ト同一、副議長ハ高等官一等ト同一、議員ハ名譽官タル高等官二等ト同一ニ取扱フコトト定メラレ其ノ結果同年三月十三日ヲ以テ議長勳三等大岡育造君ハ勳二等ニ、同年十月二十五日ヲ以テ勳四等ヲ有スル議員七名ハ勳三等ニ、勳五等ヲ有スル議員四名ハ勳四等ニ、勳六等ヲ有スル議員九名ハ勳五等ニ、勳七等ヲ有スル議員六名ハ勳六等ニ、勳八等ヲ有スル議員二名ハ勳七等ニ執レモ陞敍セラル爾來此ノ規定ニ依リ事務局ニ於テ上申シ敍勳ノ御沙汰アリタリ

### 六五九 議員及事務局職員ニ對シ記念章ヲ授與セララル

明治四十五年三月制定(勅令第五十六號)韓國併合記念章ハ第十回總選舉ニ當選セル議員ニシテ第二十七回及第二十八回議會ニ於テ韓國併合ノ事業ニ伴フ要務ニ關與シタル者及書記官長書記官以下事務局職員ニ授與セララル

大正四年八月制定(勅令第五百四號)大禮記念章ハ第十一回及第十二回總選舉ニ當選セル議員ニシテ第三十一回、第三十五回及第三十七回議會ニ於テ大禮ニ伴フ要務ニ關與シ若ハ大禮ノ諸儀ニ召サレタル者及書記官長書記官以下事務局職員ニ授與セララル

大正十年六月制定(勅令第二百七十二號)第一回國勢調査記念章ハ第十三回及第十四回總選舉ニ當選セル議員ニシテ第四十回、第四十一回及第四十三回(特別)議會ニ於テ第一回國勢調査ノ事業ニ伴フ要務ニ關與シタル者及書記官長書記官以下事務局職員ニ授與セララル

昭和三年八月制定(勅令第八十八號)大禮記念章ハ第十五回及第十六回總選舉ニ當選セル議員ニシテ第五十四回及第五十五回(特別)議會ニ於テ大禮ニ伴フ要務ニ關與シ若ハ大禮ノ諸儀ニ召サレタル者及書記官長書記官以下事務局職員ニ授與セララル

昭和五年八月帝都復興記念章令(勅令第四百八號)ニ依ル帝都復興記念章ハ第十四回總選舉乃至第十七回總選舉ニ當選セル議員ニシテ第四十七回(臨時)議會ヨリ第五十九回議會ニ至ルノ間帝都復興事業ニ伴フ要務ニ關與セル者及書記官長書記官以下事務局職員ニ授與セララル

昭和七年七月朝鮮昭和五年國勢調査記念章令(勅令第四百四十五號)ニ依ル朝鮮昭和五年國勢調査記念章ハ第十六回總選舉及第十八回總選舉ニ當選セル議員ニシテ第五十六回及第六十二回(臨時)議會ニ於テ朝鮮ニ於ケル昭和五年國勢調査ノ事業ニ伴フ要務ニ關與シタル者及書記官長書記官以下事務局職員(既ニ第一回國勢調査記念章ヲ授與セラレタル者ヲ除ク)ニ授與セラル

## 六六〇 滿洲國皇帝陛下ヨリ議員及事務局職員ニ對シ贈與シタル建國功勞章、訪日紀念章ヲ受領シ佩用ヲ允許セラル

滿洲國皇帝陛下ヨリ第十八回總選舉ニ當選セル議員ニシテ第六十一回(臨時)議會乃至第六十五回議會ニ於テ滿洲國建國事業ニ參與シタル議員及書記官長書記官以下事務局職員ニ對シ昭和九年三月一日附ヲ以テ建國功勞章ヲ贈與セラレ又第六十七回議會ニ於テ同國皇帝陛下訪日ニ關スル豫算ノ協贊ノ任ニ膺リタル者及書記官長書記官ニ對シ昭和十年九月一日附ヲ以テ滿洲國皇帝訪日紀念章ヲ贈與セラレ執レモ其ノ佩用ヲ允許セラル

## 六六一 御眞影ヲ下賜セラル

御眞影ハ從來勅任官ノ外下賜セラレサリシカ第十五回議會明治三十四年三月二十二日特別ノ御取扱ニ依リ兩院議員ニ下賜セラルルコトニ内定セラレタルヲ以テ議長(片岡健吉君)ハ各部長ヲ議長室ニ集メ其ノ旨ヲ報告シ尙拜戴願其ノ他ノ件ニ付各議員ニ傳達セシム其ノ後本院議員ニ對シテハ御眞影ヲ下賜セラルルコトトナリ之ヲ願出ツル者アルトキハ其ノ都度事務局ヨリ宮内省へ申請シ其ノ手續ヲ爲セリ

## 第二節 宮中ニ於ケル席次、待遇、賜宴及賜饌

### 六六二 議長副議長及議員ノ宮中席次

議長、副議長及議員ニ對シ從來宮中ニ於テ定マリタル席次ナカリシカ第二十六回議會ヨリハ議長ハ親任官待遇ノ取扱トシ副議長ハ勅任官ノ取扱トシテ其ノ位列ハ高等官一等ノ次席ト定メラレ第三十回議會閉會後即チ大正二年七月ヲ以テ宮中席次中御改定アリ議長ハ樞密院副議長ノ次席(貴族院議長、衆議院議長、親任官ハ任命ノ前後ヲ以テ席次ス)トセラレ(副議長ニハ變更ナシ)又議員ハ高等官三等ノ上席(貴族院

議員、衆議院議員相互ノ席次ハ隨時之ヲ定ムトセララル次テ大正四年二月皇室令第一號ヲ以テ宮中席次令ヲ公布セラレ議長ハ第一階ノ第十二(親任官ノ次席)副議長ハ第二階ノ第二十(高等官一等ノ次席)議員ハ第四階ノ第三十九(高等官三等ノ上席)ト定メラル

尙大正十五年皇室令第七號ヲ以テ皇室儀制令ヲ公布セラレ同令第四章ニ宮中席次ヲ設ケ從來ノ皇室令第一號宮中席次令ハ之ヲ廢止セラレタルモ其ノ階級ニハ變更ナシ

### 六六三 宮中ニ於ケル議長副議長及議員ノ待遇

議長副議長及議員ハ第一回議會即チ明治二十三年十二月以來議會開會中ニ限り新年ハ拜賀、紀元節天長節ニハ參賀仰付ラレ且其ノ院ニ於テ酒饌ヲ下賜セラレタリシカ大正十三年十月十四日附ヲ以テ自今酒饌料ハ賜ハラストノ通牒ニ接セリ

議長ハ第十三回(特別)議會ヨリ開會中ニ限り三大節ノ御宴會ニ召サレ第二十回(臨時)議會後ヨリ閉會中ト雖召サレ議長閣位ノ場合ニハ副議長ヲ召サルコトナレリ

副議長ハ第二十六回議會ヨリ三大節ノ御宴會ニ召サレタリシモ第四十一回議會閉會後即チ大正八年十二月十七日附通牒ヲ以テ三大節御宴會ニ召サル範圍ノ内宮中席次第二階第十九以下第三階第二

十七迄(高等官一等以下勅任待遇以上)ノ者ハ甲乙ニ二分シ其ノ一班ヲ順次交互ニ召サルコトニ改定セラレタルヲ以テ此ノ班別ニ依リ召サルコトナレリ次テ第五十六回議會閉會後即チ昭和四年十二月二十日附通牒ヲ以テ前記班別ヲ甲乙丙ノ三班ニ區分セラレ更ニ第六十四回議會閉會後即チ昭和八年九月二十八日附通牒ヲ以テ甲乙丙丁ノ四班ニ區分スルコトト改定セラレタリ

尙昭和二年三月三日詔書ヲ以テ十一月三日ヲ明治節ト定メラレ御宴會ヲ催サセラレ議長副議長ハ三大節同様御召ニ預ルコトトナリ議員ハ參賀仰付ラルコトトナレリ

第二十六回議會以來議長副議長ハ前記以外ノ宮中恒例諸祭典ニモ參列スルコトニ定メラレ特殊ノ御儀ニハ議員總代ヲモ參列セシメラル又任期滿限ニ達セル議長副議長ハ第二十八回議會閉會後即チ明治四十五年七月二十九日以來現任ノ議長副議長ト同一ニ取扱ハルルコトニ定メラル

### 六六四 議員觀櫻會觀菊會ニ召サル

第十五回議會ヨリ觀菊會後別日ヲ以テ議員ニ菊花拜觀差許サレ、第二十回(臨時)議會ヨリ夫人同伴ヲ差許サレタルカ第三十一回議會閉會後(大正三年四月)ヨリ議員在京者三分ノ一宛(別ノ資格ニテ召サルヘキ勅任官並從四位以上勳三等以上ノ者ヲ除ク)ハ夫人同伴觀櫻會又ハ觀菊會ニ召サルコトトナリ第六十四回

議會閉會後(昭和八年十月)ヨリハ議員在京者四分ノ一ヲ召サルルコトニ改メラル尙兩會ニ召サレサル  
在京議員ハ別日ヲ以テ夫人同伴拜觀ヲ差許サル

### 六六五 宮中其ノ他ノ儀式ニ議長副議長議員若ハ議員總代參列

明治二十三年十一月二十九日 第一回帝國議會開院式御舉行ニ付賢所皇靈殿神殿ノ御親祭執行ア  
ラセラルルニ當リ議長副議長及議員ニ參拜仰付ラル

第三十一回議會 大正三年一月十七日賢所皇靈殿神殿ニ即位禮及大嘗祭期日奉告ノ儀ヲ行ハセラ  
ルル際議長(大岡育造君)副議長(關直彦君)及議員總代三名(全院委員長、年長者及年少者)參列セリ

大正七年十一月二十八日(第四十一回議會開會前) 皇室典範增補制定奉告ノ儀被爲行ニ付議長(大岡育  
造君)副議長(濱田國松君)及議員總代三名(各派)參列セリ

第四十三回(特別)議會 大正九年七月二日宮中ニ於テ平和克復ノ儀行ハセラルルニ付議長(奧繁三  
郎君)副議長(粕谷義三君)及議員總代三名(各派)參列セリ

同 大正九年七月四日ヨリ八日ニ至ル四日間平和克復ニ付豐受大神宮、皇大神宮、神武天皇山  
陵、明治天皇山陵へ奉告ノ儀行ハセラルルニ付副議長(粕谷義三君)(議長副議長ノ内一人參列仰付セラル)

及議員總代二名(各派)參列セリ

大正九年十一月二日(第四十三回(特別)議會閉會後) 明治神宮鎮座祭翌日 天皇陛下 皇后陛下 皇

太子殿下 明治神宮御參拜アラセラルルニ付當日議長(奧繁三郎君)及議員總代一名(年長者)參列セ  
リ

大正十年十一月二十六日(第四十四回議會閉會後) 皇太子殿下攝政就任ニ付賢所皇靈殿神殿ニ奉告ノ  
儀行ハセラルルニ付議長(奧繁三郎君)副議長(粕谷義三君)議員總代二名(各派、一名關席)參列セリ

大正十一年七月三十日(第四十五回議會閉會後) 明治天皇十年式年祭皇靈殿ノ儀行ハセラルルニ付議  
長(奧繁三郎君)參列シ又同日京都桃山ニ於テ 明治天皇十年式年祭山陵ノ儀行ハセラルルニ付副  
議長(粕谷義三君)及京都在住議員參列セリ

第四十八回議會 大正十三年一月二十六日 皇太子裕仁親王殿下賢所大前結婚ノ禮ヲ行ハセラル  
ルニ付議長(粕谷義三君)(同夫人同伴ヲ差許サレタルモ夫人ハ不參)副議長(松田源治君)及議員總代三名(全院  
委員長、年長者及年少者)參列セリ

大正十五年十月二十二日(第五十一回議會閉會後) 長慶天皇皇代ニ列セラレタルニ付賢所皇靈殿神殿  
ニ親告ノ儀ヲ行ハセラルルニ付議長(粕谷義三君)副議長(小泉又次郎君)及議員總代三名(各派)參列仰  
付ラル

第五十四回議會 昭和三年一月十七日賢所皇靈殿神殿ニ即位禮及大嘗祭期日奉告ノ儀行ハセラルルニ付議長(森田茂君)副議長(松浦五兵衛君)及議員總代三名(全院委員長、年長者及年少者)參列セリ

昭和四年十月二日(第五十六回議會閉會後) 皇大神宮遷御ノ儀同月五日豐受大神宮遷御ノ儀行ハセラルタルニ付議長及議員總代十名(各派)竝三重縣選出議員全員參列セリ而シテ議員總代及三重縣選出議員ハ同一人ニテ兩儀ニ參列スルヲ得サルヲ以テ十月二日皇大神宮遷御ノ儀ニハ副議長(清瀬一郎君)(議長關位ニ付)議員總代五名(各派)三重縣選出議員三名(關席一名)、十月五日豐受大神宮遷御ノ儀ニハ副議長(清瀬一郎君)議員總代五名(各派)三重縣選出議員二名(關席三名)參列セリ

第五十七回議會 昭和四年十二月二十五日 大正天皇三年式年祭山陵ノ儀行ハセラルルニ付議長(堀切善兵衛君)參列シ又同日 大正天皇三年式年祭皇靈殿ノ儀行ハセラルルニ付副議長(清瀬一郎君)參列セリ

昭和五年十一月一日 官幣大社明治神宮鎮座十年祭ヲ行ハセラルルニ付議長(藤澤幾之輔君)及議員總代二名(各派)參列セリ

第六十回議會 昭和六年十二月二十五日 大正天皇五年式年祭山陵ノ儀行ハセラルルニ付議長(中村啓次郎君)參列シ又同日 大正天皇五年式年祭皇靈殿ノ儀行ハセラルルニ付副議長(増田義一君)

參列セリ

昭和十年十一月一日 官幣大社熱田神宮本殿遷座祭竝二日臨時奉幣祭執り行ハセラレタル際議員總代三名(愛知縣選出議員)參列セリ

昭和十一年八月二十二日 二月二十六日事件ニ付賢所皇靈殿神殿ニ親告ノ儀行ハセラルルニ付議長(富田幸次郎君)副議長(岡田忠彦君)及議員總代三名(民政、政友、昭和)參列セリ

昭和十一年十二月二十五日 大正天皇十年式年祭山陵ノ儀行ハセラルルニ付副議長(岡田忠彦君)(議長病氣ニ付)參列セリ又同日 大正天皇十年式年祭皇靈殿ノ儀行ハセラレタルモ參列者ナシ

六六六 立太子禮及皇太子殿下御成年式ニ於ケル賜宴竝賜饌

大正五年十一月三日 立太子禮(裕仁親王殿下)ヲ行ハセラルルニ付議長、副議長、書記官長ハ宮中ノ御饗宴ニ召サレ在京議員竝奏任官ニハ酒饌料ヲ下賜セラル又議長ハ宮中ニ於ケル二十七日ノ御饗宴及二十九日ニ於ケル霞ヶ關離宮ニ於ケル午餐ニ召サル

大正八年五月七日 皇太子(裕仁親王)殿下ノ御成年式ヲ行ハセラレ翌八日議長、副議長ハ宮中ノ御饗宴ニ召サレ議員ニハ酒饌料ヲ下賜セラル



### 六六七 皇太子殿下御降誕ニ付拜謁並賜宴

第六十五回議會 昭和八年十二月二十三日 皇太子(明仁親王)殿下御誕生アラセラレタルニ付昭和九年二月二十四日宮中ニ於テ御饗宴ノ御催アリ議長ハ 天皇 皇后兩陛下ニ拜謁仰付ケラレ酒饌ヲ賜ハリ副議長及從四位勳三等以上ノ位勳ヲ有スル議員ハ同月二十六日其ノ他ノ議員ハ同月二十七日宮中ニ於テ祝酒茶菓ヲ賜ハレリ  
尙議長ハボンボニール副議長及其ノ他ノ議員ハ木杯一箇宛ヲ賜ハリタリ

### 六六八 議會閉會後兩院議員及事務局高等官へ拜謁並賜宴

議員ノ任期滿了ノ議會若ハ戰役ニ關スル議會閉會後兩院議員並事務局高等官一同へ立食下賜ノ御沙汰アリ御名代宮殿下御臨席相成リタリ

明治三十七年三月三十一日 第二十回(臨時)議會(明治三十七、八年事件)閉院式翌日霞ヶ關離宮ニ於テ賜宴

明治三十八年三月一日 第二十一回議會(明治三十七、八年事件)閉院式翌日霞ヶ關離宮ニ於テ賜宴

明治三十九年三月三十一日 第二十二回議會(明治三十七、八年事件)閉院式後三日目濱離宮ニ於テ賜宴

明治四十五年三月二十七日 第二十八回議會(任期滿了)閉院式翌日新宿御苑ニ於テ賜宴

大正三年九月十日 第三十四回(臨時)議會(大正三、四年事件)閉院式當日新宿御苑ニ於テ賜宴

然ルニ第五十回議會閉院式翌日(大正十四年四月一日)特ニ慰勞ノ御思召ヲ以テ宮城正殿ニ於テ兩院議長副議長議員並事務局高等官一同へ拜謁仰セ付ケラレ且豐明殿及千草間ニ於テ酒饌ヲ下賜セラレ其ノ後左ノ場合ニ於テモ上記同様拜謁酒饌ヲ賜ハレリ

昭和三年五月八日 第五十五回(特別)議會閉院式翌日

昭和四年三月二十八日 第五十六回議會閉院式翌々日

昭和五年五月十五日 第五十八回(特別)議會閉院式翌日

昭和六年三月二十八日 第五十九回議會閉院式當日

昭和七年三月二十六日 第六十一回(臨時)議會閉院式翌日

昭和七年九月五日 第六十三回(臨時)議會閉院式當日(茶集)

昭和八年三月二十七日 第六十四回議會閉院式翌日

昭和九年三月二十八日 第六十五回議會閉院式翌々日  
昭和十年三月二十七日 第六十七回議會閉院式翌日  
昭和十一年五月二十九日 第六十九回(特別)議會閉院式翌々日

## 第四章 雜

### 第一節 徽章

#### 六六九 議員ハ開會中一定ノ徽章ヲ佩用ス

議員ノ徽章ハ事務局ニ於テ之ヲ調製シ總選舉後ノ議會召集當日各議員ニ配付シ爾後每會期召集日ヨリ之ヲ佩用ス

#### 【備考】

別ニ事務局ニ於テ事務局職員、政府委員、各官廳高等官及判任官、新聞記者、通信社員、各黨派事務員等ノ徽章ヲ造リ會期中佩用セシム

參看 附錄一五ノ(三)

### 六七〇 議員徽章ハ宮城出入ノ御門鑑ニ代用セラル

議員トシテ參内スル場合ハ議員徽章佩用ヲ以テ宮城諸門ノ出入ヲ許サルルヲ例トス  
第七回(臨時)議會開會中ハ此ノ徽章ヲ佩用シ廣島大本營ニ出入スルコトヲ許サレタリ

### 六七一 會期中ハ徽章ヲ佩用スルニ非サレハ議院ニ出入スルコトヲ許

サス

會期中議院ニ出入スル者ニハ徽章又ハ入場券、通院券ヲ交付シタルモ第十九回議會ヨリハ院内警察  
上ノ必要ニ依リ國務大臣ヲ除クノ外總テ徽章ヲ佩用スルコト爲シ政府委員ニハ政府委員徽章、各  
官廳職員ニハ秘書官徽章、高等官徽章及官吏入場徽章、新聞通信社員ニハ記者傍聽章、前議員及各黨  
派ノ事務員ニハ院内通章又事務局職員ニハ高等官徽章、判任官徽章及雇員徽章ヲ配付シ之ヲ佩用セ  
サル者ハ一切出入スルコトヲ許サス

參看 附錄一五ノ(三)

第四章

## 第二節 議員控室及黨派

### 六七二 議員ノ控室ハ黨派別ニ依リ之ヲ定ム

第十五回議會ニ議員控室ヲ設ケ黨派別ニ依リテ之ヲ分チ第一憲政本黨二室、第二帝國黨一室、第三無  
所屬一室、第四立憲政友會三室、第五三四俱樂部一室ノ八室ヲ置キタリ爾來黨派及其ノ所屬議員數ノ  
異動ニ依リ各會期ノ始各派ノ協議ニ依リ控室ヲ定ムルヲ例トス

### 六七三 議員ノ所屬黨派届ハ其ノ派ノ幹部又ハ議員ヨリ之ヲ爲ス

第十三回(特別)議會以前ニ在リテハ議院内ニ黨派ヲ認メサリシモ同會期以後ハ各黨派所屬議員數及  
幹部氏名ヲ事務局ニ届出ツルコトトナリ第十五回議會ヨリハ黨派別ニ依リテ議員ノ控室ヲ定メ第二  
十一回議會ヨリハ議席ノ指定各派協議會ノ開催等各議員ノ黨籍ヲ明確ニスルノ必要ヲ生シ爾來每總  
選舉後ニ於テ各黨派幹部ヨリ其ノ所屬議員氏名ヲ届出テ其ノ異動アル毎ニ其ノ黨派ノ幹部又ハ各議  
員ヨリ之ヲ届出ツルヲ例トス但シ各黨派幹部ノ届出ト議員ノ届出ト一致セサル場合ハ本人ノ届出ニ  
依リ黨籍ヲ定ム

六七四 院外ニ團體ヲ有スルモ其ノ選出議員一名ノ場合ハ院内ニ於テハ無所屬トシテ取扱フ

昭和三年二月二十日第十六回總選舉ニ於テ無産各派ヨリ選出セラレタル議員中ニハ院内ニ於テ一派一名ノモノ三アリ依テ院内ニ於ケル黨籍取扱方ニ關シ同年四月十四日ノ各派協議會ニ於テ左ノ通決定セリ

一、無所屬トハ院内ニ於テ團體ヲ爲ササルモノヲ云フ團體トハ二名以上ノ集團ヲ云フ

六七五 議員控室ニ文書函ヲ備付ク

議員控室ニハ其ノ所屬議員ノ便ニ供スル爲文書函ヲ設ク文書函ニハ一々函側ニ氏名ヲ記載シ議案其ノ他ノ書類配付ノ用ニ供ス

六十一 參看 一八九號

### 第三節 衆議院公報、參考圖書

六七六 衆議院公報ハ公示、議事日程、委員會開會、議事經過其ノ他諸般ノ事項ヲ掲載ス

議事日程、委員會ノ開會、其ノ他諸般ノ通知ハ一々書面ヲ以テ發送シタルモ不便尠カラサルニ依リ第十四回議會明治三十二年十一月二十二日開院式當日奉答文案議了ノ後議長(片岡健吉君)ハ今般衆議院ヨリ衆議院公報ヲ發刊シ議事日程及委員會ノ開會其ノ他ノ通知ハ總テ之ヲ掲載シ書面ニ依ル通知ハ特ニ至急ヲ要スルモノヲ除キ之ヲ廢シ度旨發議シ院議異議ナカリシヲ以テ(速記録二頁)直ニ之ヲ實行セリ其ノ掲載事項ハ詔書、勅語、公示、會議、委員會、部會、議事經過、委員會經過、議案、質問、請願、配付、貴族院、雜報、廣告等ニ區分セリ

六七七 衆議院公報ハ必要ノ場合ニハ閉會中ト雖發刊ス

衆議院公報ハ閉會中ト雖議員ニ通報スヘキ必要ノ事項ヲ生スルトキハ號外トシテ臨時ニ發刊ス

六七八 參考圖書ヲ發刊シ議員ニ配付ス

本院事務局ニ於テハ參考ノ爲圖書ヲ發刊シ之ヲ議員ニ配付ス其ノ重ナルモノ左ノ如シ

衆議院報告 第三十七回議會ヨリ毎會期終了後其ノ會期ニ於ケル經過ノ大要ヲ輯録シ議員ニ配付

ス

衆議院議事摘要 毎會期終了後其ノ會期ニ於ケル議事(議案ニ付テハ特ニ各案毎ニ)ノ經過ヲ輯録

シ次ノ議會ノ召集日議員ニ配付ス

衆議院要覽 總選舉毎ニ編纂シ總選舉後ノ第一會期ノ召集日議員ニ配付ス

衆議院議員總選舉一覽 總選舉毎ニ印刷ニ付シ議員ニ配付ス

衆議院先例彙纂 隨時改訂印刷シ議員ニ配付ス

衆議院先例要覽 同上

衆議院委員會先例彙纂 同上

衆議院議案件名錄 隨時增訂印刷シ希望者ニ頒ツ

衆議院議員黨籍錄 隨時增訂印刷シ希望者ニ頒ツ

衆議院議員略歴 隨時改訂印刷シ議員ニ配付ス

衆議院議員當選回數調 同上

第四節 各派協議會

六七九 各派協議會ヲ開ク

第二十一回議會ヨリ特殊事項ノ議決、議院規則ノ改正、議事及發言ノ順序、儀式ニ關スル案件其ノ他諸般ノ事項ニ涉リ必要ト認ムルトキ議長ハ各派所屬議員ノ代表者ヲ參集セシメ豫メ之カ打合せ又ハ協議決定ヲ爲シ其ノ院議ヲ經ヘキモノハ之ヲ院議ニ付シ然ラサルモノハ議長ニ於テ實行スルノ例ヲ開ケリ而シテ開會中ハ勿論閉會中ト雖之ヲ開クコト尠シトセス

六八〇 所屬議員二十五名未滿ノ黨派ハ交渉團體ト認メス

從來常任委員及特別委員ハ各黨派所屬議員數ニ比例シテ割當テ第二十六回議會ニ於テハ又新會十八名無所屬十五名ノ團體アリシモ常任委員特別委員共ニ此ノ割當ヲ爲セリ而シテ第二十七回議會乃至

第二十九回(臨時)議會ハ無所屬ニ至ル迄凡テ二十五名未滿ノ團體ナカリシカ第三十回議會大正元年十二月二十七日ノ各派協議會ニ於テ左ノ協定ヲ爲セリ

常任委員ノ選舉ハ所屬議員二十五名未滿ノ團體ヲ除キ各部ヲ基礎トシテ其ノ所屬議員數ニ應シテ按分選出スルコト

又大正二年一月二十一日ノ各派協議會ニ於テ左ノ協定ヲ爲セリ

二十五名未滿ノ團體ニ對シテハ特別委員ヲ割當テサルコト

此ノ如クニシテ第三十回議會以來每會期ノ始ニ於ケル各派協議會ニ於テ從前通二十五名未滿ノ團體ハ交渉團體ト認メサルコトニ協定シ常任委員特別委員ノ割當ヲ爲ササルノミナラス其ノ他ノ交渉案件ニモ參加セシメサルヲ例トス但シ慶賀又ハ哀弔ニ關スル事項ニ付テハ議長ヨリ出席ヲ希望シ協議シタル場合ナシトセス

然ルニ第五十八回(特別)議會昭和五年四月二十三日ノ各派協議會ニ於テ交渉團體ノ件及委員割當ノ件ハ從前通トス但シ常任委員ノ割當ニ付テハ二十五名未滿ノ團體ニハ按分ニ依リ算出シタル員數ヲ交渉團體タル各派ノ割當員數中ヨリ充當スルコトトシ超エテ同月二十七日ノ各派協議會ニ於テ二十五名未滿ノ團體ニ對スル特別委員割當ノ件ハ委員數十八名以上ノ場合ニ限り按分ニ依リ之ヲ割當ツルコトトセリ爾來此ノ例ニ依ル

参看 一三八號、一四四號

### 六八一 各派協議會ニ於ケル出席人員ハ各黨派共十名迄トス

各派協議會ニ出席スル議員ハ從來各派幹部ナリシモ其ノ人員不定ノ爲時ニ多數出席シテ協議ノ進行ヲ妨クル場合アルニ鑑ミ昭和四年十二月二十日ノ各派協議會ニ於テ各派協議會出席者ハ各派役員中ヨリ各十名迄ヲ限り出席スルコトト定メタリ

## 第五節 列國議會同盟及萬國議院商事會議

### 六八二 議員有志團體ヲ組織シ列國議會同盟ニ加盟ス

列國議會同盟會議ハ明治二十一年(千八百八十八年)英佛兩國ノ代表者會合シテ國際平和ノ爲ニ義務的仲裁裁判普及ニ努力セムコトヲ決議シ翌明治二十二年(千八百八十九年)佛國巴里ニ於テ英米佛伊外五箇國ノ代表者會合シテ其ノ第一回會議ヲ開會シタルヲ初トス而シテ我カ議會カ正式ノ招待狀ヲ受ケ

タルハ明治三十九年(千九百六年)ニシテ當時第十四回會議開催地タル英國倫敦ニ滞在中ノ一議員個人ノ資格ニテ參列シ明治四十一年(千九百八年)獨國伯林ニ第十五回會議開催ノ通牒ニ接スルヤ有志議員會同シテ議員全體ヲ有志團體トシ團體ノ代表者ハ正副議長ヲ以テ之ニ充ツルコト等ヲ決議シ一議員渡歐ノ序ヲ以テ團體ノ承認ヲ經テ參列シ明治四十四年初メテ日本議員團規約ヲ設ケ第十一回總選舉選出議員有志者ノミ團員ニ加入スルコトニ決定セリ而シテ歐洲大戰中ハ該會議一時中止セラレ大正九年三月(千九百二十年)列國議會同盟幹事長ヨリ四月若ハ八月第十九回會議ヲ瑞典ストックホルムニ招集セラレヘキニ付日本議員團議員參列ノ勸誘ヲ受ケタルモ大正九年二月二十六日衆議院解散ノ爲參列スル能ハサル旨通報シタルカ大正九年七月同盟幹事長ヨリ第十九回會議ハ延期スルノ已ムナキニ至リタル旨ノ通牒ニ接シタリ次テ大正十年八月ノ會議以來毎年開催ノ都度議員若干名ヲ參列セシム

明治三十九年七月(千九百六年)第十四回會議英國倫敦ニ開催ノ際ハ同地ニ滞在中ノ竹越與三郎君個人ノ資格ニテ參列セリ

明治四十一年九月(千九百八年)第十五回會議獨國伯林ニ開催ノ際ハ長島鷲太郎君渡歐ノ序ヲ以テ團體ノ承認ヲ得テ參列セリ

明治四十三年八月(千九百十年)第十六回會議白耳義國ブラッセルニ開催ノ際ハ尾崎行雄君外十名書記官一名參列セリ

明治四十四年十月(千九百十一年)第十七回會議伊國羅馬ニ開催ノ際ハ宮古啓三郎君外六名參列ノ筈ナリシモ羅馬ニコレラ病發生ノ爲會議延期トナリ參列ヲ中止セリ但シ同會ノ評議員會ニハ宮古啓三郎君渡邊千冬君ノ兩名出席セリ

大正元年九月(千九百十二年)第十七回會議瑞西國デユネーヴニ開催ノ際ハ 明治大帝崩御ノ爲參列ヲ中止ス

大正二年九月(千九百十三年)第十八回會議蘭國海牙ニ開催ノ際ハ清水市太郎君外四名參列セリ

大正三年八月(千九百十四年)第十九回會議瑞典國ストックホルムニ開催ノ際ハ石橋爲之助君外六名參列ノ爲出發シタルモ歐洲動亂勃發シ同會議延期トナリ中途ヨリ歸朝ス

大正十年八月(千九百二十一年)第十九回會議瑞典國ストックホルムニ開催ノ際ハ米國ニ派遣中ノ中西六三郎君外九名書記官一名ノ内中西君外三名參列セリ

大正十一年八月(千九百二十二年)第二十回會議埃國維納ニ開催ノ際ハ今泉嘉一郎君外四名書記官一名參列セリ

大正十二年八月(千九百二十三年)第二十一回會議丁抹國コペンハーゲンニ開催ノ際ハ高橋光威君外四名書記官一名參列セリ

(大正十三年八月(千九百二十四年)第二十二回會議瑞西ベルン、ヂュネーヴニ開催ノ際ハ特別議會後期日切迫ノ爲參列セス)  
大正十四年十月(千九百二十五年)第二十三回會議米國華盛頓加奈陀オツタワニ開催ノ際ハ森田茂君  
外八名書記官一名參列セリ

昭和二年八月(千九百二十七年)第二十四回會議佛國巴里ニ開催ノ際ハ三木武吉君外八名書記官一名  
參列セリ

昭和三年八月(千九百二十八年)第二十五回會議獨國伯林ニ開催ノ際ハ野田俊作君外十名書記官一名  
參列セリ

昭和五年七月(千九百三十年)第二十六回會議英國倫敦ニ開催ノ際ハ廣瀬德藏君外八名書記官一名參  
列セリ

昭和六年十月(千九百三十一年)第二十七回會議羅馬尼亞國ブカレストニ開催ノ際ハ松井郡治君外六名  
(内一名缺席)書記官一名參列セリ

昭和七年六月(千九百三十二年)第二十八回會議瑞西國ヂュネーヴニ開催ノ際ハ福井甚三君外五名書  
記官一名參列セリ

昭和八年八月(千九百三十三年)第二十九回會議西班牙國マドリッドニ開催ノ際ハ中村嘉壽君外八名  
(内三名自費參加)書記官一名參列セリ

昭和九年七月(千九百三十四年)第三十回會議土耳其國イスタンブールニ開催ノ際ハ坂本一角君外五  
名書記官一名參列セリ

昭和十年七月(千九百三十五年)第三十一回會議白耳義國ブラッセルニ開催ノ際ハ星島二郎君外四名  
書記官一名參列セリ

昭和十一年七月(千九百三十六年)第三十二回會議洪牙利國ブタベストニ開催ノ際ハ牧山耕藏君外四  
名(内一名自費參加)書記官一名參列セリ

### 六八三 議員有志團體ヲ組織シ萬國議院商事會議ニ加盟ス

從來本院ハ列國議會同盟會議ニ加盟シ、萬國議院商事會議ニハ加盟セサリシモ大正八年五月(千九百  
十九年)第五回會議白耳義國ブラッセルニ開催ノ際萬國議院商事會議ノ勸誘ニ依リ議員齋藤隆夫君外  
二名ヲ派遣セルコトアリ超テ昭和二年十二月十九日ノ各派協議會ニ於テ本院有志ハ萬國議院商事會  
議ニモ加盟スルコトニ決シ昭和三年六月ノ會議以來毎年開催ノ都度議員若干名ヲ參列セシム  
昭和三年六月(千九百二十八年)第十四回會議佛國巴里ニ開催ノ際ハ今井健彦君外三名書記官一名參  
列セリ



昭和四年六月(千九百二十九年)第十五回會議獨國伯林ニ開催ノ際ハ山本慎平君外十名及書記官長參列セリ

昭和五年六月(千九百三十年)第十六回會議西班牙國マドリッドニ開催ノ際ハ廣瀬德藏君外八名書記官一名參列セリ

(昭和六年五月(千九百三十一年)第十七回會議チエツコスロヴァキア國ブラーグニ開催ノ際ハ本院ヨリ代表者ヲ派遣セサリキ)

昭和七年六月(千九百三十二年)第十八回會議白耳義國オスタンドニ理事會開催ノ際ハ清水徳太郎君及書記官一名參列セリ

昭和九年七月(千九百三十四年)第十九回會議ユーゴスラヴ國ベルグラドニ開催ノ際ハ坂本一角君外五名書記官一名參列セリ

昭和十年十月(千九百三十五年)第二十回會議英國倫敦ニ開催ノ際ハ星島二郎君外二名書記官一名參列セリ

(昭和十一年九月(千九百三十六年)第二十一回會議ルーマニア國ブカレストニ開催ノ際ハ都合ニ依リ參列セス)

### 第六節 雜件

#### 六八四 永年在職議員表彰ノ決議ヲ爲ス

第六十七回議會 昭和十年三月十六日開議劈頭副議長(植原悦二郎君)ハ第一回議會以來在職ノ議員尾崎行雄君ニ對シ院議ヲ以テ功勞ヲ表彰シ表彰文案ノ起草ハ之ヲ議長ニ一任スヘシトノ動議ヲ提出シ引續キ尾崎君ノ功績ヲ述ヘ院議全會一致之ヲ可決シ次テ議長(濱田國松君)起草ニ係ル表彰文ヲ可決ス之ニ對シ尾崎君謝辭ヲ述ヘ右終ルヤ副議長ハ三十年以上ノ在職議員菅原傳君同大竹貫一君同安達謙藏君同望月圭介君同濱田國松君ニ對シ院議ヲ以テ功勞ヲ表彰シ表彰文案ノ起草ハ之ヲ議長ニ一任スヘシトノ動議ヲ提出シ引續キ五名ノ功績ヲ述ヘ院議全會一致之ヲ可決シ次テ議長起草ニ係ル各君ニ對スル表彰文ヲ可決ス之ニ對シ五君ヲ代表シテ菅原傳君謝辭ヲ述ヘタリ(速記録六八六乃至六九一頁)

尙各派協議ノ結果議員ヨリ一定金額ヲ釀出シ表彰セラレタル六名ノ肖像畫各二面ヲ作製シ内一面夫々贈呈シ一面ハ院内ニ掲揚シテ記念ト爲シ且決議文ハ各扁額ニ調製シ贈呈セリ

第六十八回議會 昭和十一年一月二十一日議長(濱田國松君)ハ西村丹治郎君ハ本院議員トシテ在職三十年ニ達セラレタルニ付前期議會ノ例ニ依リ院議ヲ以テ其ノ功勞ヲ表彰シ表彰文ノ起草ハ

議長ニ一任セラレ度旨發議シ院議全会一致之ヲ可決シ次テ議長起草ニ係ル表彰文ヲ可決ス之ニ對シ西村丹治郎君謝辭ヲ述ヘタリ(速記録九頁)

尙肖像畫贈呈等ノ件ハ先例ニ依レリ

第七十回議會 昭和十一年十二月二十七日副議長(岡田忠彦君)ハ本院議員トシテ在職三十年ニ達セラレタル荒川五郎君ニ對シ先例ニ依リ院議ヲ以テ其ノ功勞ヲ表彰シ表彰文ノ起草ハ議長ニ一任セラレ度旨發議シ院議全会一致之ヲ可決シ次テ議長起草ニ係ル表彰文ヲ可決ス之ニ對シ荒川五郎君謝辭ヲ述ヘタリ(速記録二二、二三頁)  
尙肖像畫贈呈等ノ件ハ先例ニ依レリ

參看 附錄一〇ノ(一)(二)

### 六八五 土耳其帝國議會ノ開設ニ付祝電ヲ發ス

第二十五回議會 明治四十一年十二月二十六日開議劈頭議長(長谷場純孝君)ハ土耳其帝國ハ曩ニ憲法ヲ發布シ議會ヲ開設セラレタルニ付祝電ヲ發シ其ノ電文ハ議長ニ一任セラレ度旨發議シ院議異議ナク全会一致之ヲ可決シ(速記録四頁)即日議長ヨリ土耳其帝國議會議長宛祝電ヲ發セリ

參看 附錄五ノ(一)(イ)

### 六八六 滿洲國帝制實施ニ付祝電ヲ發ス

第六十五回議會 昭和九年三月一日ノ會議ニ於テ議長(秋田清君)ハ滿洲國ハ本日ヲトシテ帝制實施ニ付院議ヲ以テ祝意ヲ表シ度旨發議シ決議文案ヲ朗讀シ全会一致之ヲ可決シ(速記録三三三頁)即日議長ヨリ鄭滿洲國國務總理大臣宛祝電ヲ發セリ

參看 附錄五ノ(一)(ニ)

### 六八七 日滿議定書調印ニ付祝電ヲ發ス

昭和七年九月十五日 議長(秋田清君)ハ日滿議定書ノ調印成リタルヲ以テ滿洲國鄭國務總理大臣宛祝電ヲ發シ執政閣下ニ取次方ヲ依頼セリ

參看 附錄五ノ(一)(ロ)

### 六八八 比律賓獨立式舉行ニ付祝電ヲ發ス

昭和十年十一月十五日 議長(濱田國松君)ハ比律賓獨立式舉行セラレタルニ付比律賓大統領宛祝電ヲ發送セリ

參看 附録五ノ(一)ノホ

### 六八九 聯合軍ノ戰捷若ハ講和成立ニ際シ外國ヨリノ祝意表明及之ニ

#### 對スル答禮

大正七年十一月十九日聯合軍ノ戰捷ニ對シブラジル國下院議長及南米ポリビヤ國代議院ヨリ議長宛祝電ヲ寄セラレタルニ對シ同月二十二日議長ヨリ答電ヲ發送セリ

同年十一月二十二日聯合軍ノ戰捷ニ對シ中華民國參議院議長竝衆議院議長及廣東支那議會ヨリ貴衆兩院議長宛祝電ヲ寄セラレタルニ對シ同月二十五日兩院議長ノ名ニ於テ答電ヲ發送セリ

大正八年七月九日西班牙國公使ヨリ外務大臣ヲ經テ貴衆兩院議長宛西班牙國元老院及代議院ニ於テ講和條約ノ成立ニ關シ聯合諸國ニ對シ祝意ヲ表スル旨ノ議決ヲ爲セル趣通牒ニ接シタルヲ以テ同月

十日貴衆兩院議長ヨリ西班牙國兩院議長宛答電ヲ發送セリ

參看 附録五ノ(三)ノハ

### 六九〇 外國皇帝皇后兩陛下竝皇族殿下ノ御來訪ヲ歡迎ス

大正十一年四月十二日英國皇太子殿下御來朝ニ付翌十三日議長(奧繁三郎君)副議長(粕谷義三君)及歡迎委員十六名ハ第四十五回議會大正十一年三月二十五日ノ英國皇太子殿下歡迎ニ關スル決議(連記錄九三三頁)ニ基キ赤坂離宮ニ伺候シ歡迎文ヲ奉呈シタルニ之ニ對シ同殿下ヨリ御答詞アリ

昭和四年五月二日英國皇帝陛下御名代グロスター公殿下御來朝ニ付同月四日副議長(清瀬一郎君)ハ(川原議長病氣ノ爲)第五十六回議會同四年三月二十五日議長(川原茂輔君)發議グロスター公殿下御來朝ノ際ニ於ケル歡迎ノ件ノ決議(連記錄一〇二二頁)ニ基キ霞ヶ關離宮ニ參入接見仰付ケラレ歡迎文ヲ奉呈セリ之ニ對シ同殿下ヨリ御答詞アリ

昭和六年四月七日暹羅國皇帝皇后兩陛下御來朝ニ付各派協議會ヲ開キ歡迎方法協議ノ結果議長(藤澤幾之輔君)ハ御著京ノ際御出迎ヲ申上ケ霞ヶ關離宮ニ參入兩陛下ニ拜謁ヲ賜ハリ歡迎ノ辭ヲ言上セリ

昭和十年四月六日滿洲國皇帝陛下御來訪ニ付第六十七回議會昭和十年三月十九日ノ會議ニ於ケル滿洲國皇帝陛下御來訪ニ對シ豫メ院議ヲ以テ歡迎ノ意ヲ表シ尙奉迎ニ關スル一切ノ措置ヲ議長ニ一任スルノ決議(速記録七一頁)ニ基キ議長(濱田國松君)ハ御著京ノ際東京驛ニ奉迎シ七日副議長(植原悅二郎君)ト共ニ赤坂離宮ニ參入皇帝陛下ニ賜謁沈滿洲國宮内府大臣ヲ經テ奉迎文ヲ捧呈セリ

參看 附錄七ノ(二)(イ)(ロ)(ハ)

## 六九一 外國議員團ノ來訪ヲ歡迎ス

大正九年八月米國議員團一行(上院議員ウイリアム、ゼ、ハリス氏外一名下院議員ジョン、エッチ、スモール氏以下十八名外同行者及家族計五十二名)觀光ノ爲來訪ニ付貴衆兩院主催トナリ之カ接伴ノ衝ニ當リ朝野協力シテ是等外賓ニ對シ國民的歡迎ヲ爲スコトトナリ同年七月二十一日及八月九日貴衆兩院聯合小委員會ヲ開キ歡迎ニ關スル案件ヲ議決シ之ニ基キ八月二十三日一行ノ奉天到着以來九月十三日橫濱出帆歸國ノ途ニ就ケル迄始終歡待ヲ爲シ一行ヲシテ善ク視察ノ目的ヲ遂ケシメ且國民トノ接觸ヲ圖レリ

大正十四年七月二十九日米國議員團一行(下院議員チャールス、アール、クリスプ氏以下十一名外家族二十三名)

觀光ノ爲來訪ニ付同月三十一日貴衆兩院議長主催ニテ歡迎午餐會ヲ開催セリ(本院側ヨリハ粕谷議長以下議員百餘名列席)

昭和十年四月二十七日暹羅國人民會議員團一行(ネート、ブンウイワッタ氏外十九名)觀光ノ爲來訪ニ付之カ歡迎ニ關シ四月二十五日各派協議ノ結果歡迎委員十五名(政友九、民政四、國同一、無黨一)ヲ設クルコト及機宜ノ措置ハ議長ニ一任スルコトヲ議決シタリ依テ議長(濱田國松君)ハ五月十日午後六時議長官舎ニ議員團一行及駐日暹羅公使等(外務省職員及歡迎委員陪席)ヲ招待シ歡迎晚餐會ヲ開催シ尙十一日十二日ノ兩日貴衆兩院議長ノ主催ヲ以テ鎌倉箱根ニ一行ヲ招待シ同方面ヲ案内セリ

## 六九二 國交ニ關シ本院ノ意思ヲ表明ス

第四十九回(特別)議會 大正十三年七月一日下岡忠治君外四十九名ハ決議案(米國新移民法ニ關スル件)ヲ提出シ提出者望月小太郎君ハ米國新移民法中ニ於テ我カ國民ニ對シ差別的條項ヲ設定セルハ彼我兩國七十年間ノ親交ヲ阻碍スルモノナルニ依リ院議ヲ以テ國民的意思ヲ表示シ度旨ヲ述ヘ各派代表者ノ贊成演說アリ全會一致之ヲ可決セリ(速記録一一乃至一五頁)

第五十回議會 大正十四年三月三日安達謙藏君外九名ハ日露國交恢復ニ關スル決議案ヲ提出シ提出者望月小太郎君ハ日露條約ノ締結成リ茲ニ兩國國交ノ恢復セラレタルハ獨リ兩國國民ノ幸福ノミナラス延テハ世界文明及平和ニ對スル一大貢獻ナリト信ス宜シク滿場一致ノ贊成ヲ得テ本案ノ可決ヲ希望スル旨ヲ述ヘ全會一致之ヲ可決セリ(速記録五〇六、五〇七頁)

第六十二回(臨時)議會 昭和七年六月十四日久原房之助君外四十六名ハ決議案(滿洲國ノ承認ニ關スル件)ヲ提出シ提出者兒玉右二君ハ政府ハ速ニ滿洲國ヲ承認スヘシトノ趣旨ヲ述ヘ贊成演說ノ後院議全會一致之ヲ可決セリ(速記録一八七乃至一九〇頁)

參看 附錄五ノ(四)(イ)、(ロ)、(ハ)

### 六九三 明治節制定ニ關スル建議ヲ爲ス

第五十二回議會ノ開會セラレルヤ貴衆兩院議員ノ間ニ於テ明治節制定ニ關スル建議ヲ爲サムトノ議アリタルカ本院ニ於テハ昭和二年一月二十五日ノ各派共同提出明治節制定ニ關スル建議案ヲ院議ニ付シ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ(速記録八五頁)即日政府ニ呈出セリ(貴族院亦同一ノ建議ヲ爲セリ)然ルニ同年三月三日官報號外ヲ以テ十一月三日ヲ明治節ト定メラルル旨ノ詔書ヲ公布セラレタリ

### 六九四 兩院議員合會シテ憲法發布記念祝賀會ヲ催ス

明治四十一年ハ恰モ我カ帝國憲法發布二十年目ニ又大正八年ハ滿三十週年ニ當リタルニ依リ貴衆兩院議員合會シテ記念祝賀會ヲ開催セリ

第二十四回議會 明治四十一年三月二十二日貴衆兩院議員有志者相謀リ憲法發布二十年記念祝賀會ヲ開催シ公爵伊藤博文君始メ各國務大臣及樞密顧問官ヲ招待セリ式場貴族院談話室ニ於テ貴族院議長公爵德川家達君式辭ヲ述ヘ 陛下ノ萬歲ヲ奉唱シ次テ本院議長杉田定一君式辭ヲ述ヘ

大日本帝國ノ萬歲ヲ唱ヘリ  
式畢テ貴族院大食堂ニ於テ開宴貴族院議長ハ伊藤公爵及來賓ノ萬歲ヲ唱ヘ伊藤公爵及西園寺内閣總理大臣ハ挨拶ノ辭ヲ述フ當日參列シタル貴族院議員ハ二百五名、本院議員ハ二百五十六名ニシテ貴衆兩院書記官長、書記官參列ス又兩院事務局ニ於テハ記念繪葉書ヲ調製シ來賓及參列者一同ニ之ヲ配付セリ

第四十一回議會 大正八年二月十一日貴衆兩院議員合會ノ上青山權田原憲法記念館ニ於テ憲法發布三十年記念祝賀會ヲ舉行スルニ決シ同月十日ノ會議ニ於テ議長(大岡育造君)ノ發議ニ依リ當日賀表ヲ奉呈スルコトトナリ起草委員ヲ設ケ賀表ヲ起草シ全會一致之ヲ可決セリ

當日ハ 天皇陛下ノ臨御ヲ奉請シ允裁ヲ賜ハリタリシモ 陛下御風氣ノ爲俄ニ御沙汰止トナリ御名代トシテ閑院宮載仁親王殿下ヲ祝賀會場ニ御差遣アラセラレ各宮殿下ヲ始メ奉リ大勳位、國務大臣、宮内大臣、大臣禮遇、前官禮遇、樞密院議長、同副議長、同顧問官、憲法發布ノ際副署セル大臣、憲法發布當時ノ樞密顧問官ヲ招待シ式場ニ於テ貴族院議長徳川家達君上奏文ヲ朗讀奉呈シ本院議長大岡育造君ハ賀表ヲ朗讀奉呈セリ式後右ノ諸員竝兩院議員、書記官長、書記官ニ銀杯ノ御下賜アリタリ(當日ノ經費ハ大正七年度歳入歳出總豫算追加案ニ計上セラル)

参考 六五五號 附錄四

### 六九五 議事堂竣工ニ付天覽、台覽竝竣工式典及祝賀會

昭和十一年十一月議事堂竣工ニ付同月四日修祓式ヲ行ヒ翌五日畏クモ 天皇陛下御臨幸親シク天覽アラセラレ當日便殿ニ於テ大藏大臣、貴衆兩院議長、副議長、書記官長等ニ拜謁仰付ラル大藏大臣ハ建築ニ關スル事項、兩院議長ハ議會ニ關スル事項ニ付各上奏文ヲ朗讀奉呈セリ而シテ兩院議員一同ニハ列立拜謁ヲ賜ハリ兩院ニ御紋附銀鉢各一箇又兩院事務局ニ金一封ヲ御下賜アラセラレタリ尙當日大藏省、貴衆兩院ヨリ銀製議院模型ヲ獻上ス

同月七日大藏省、貴衆兩院合同シ各國務大臣、宮内大臣、内大臣、大臣禮遇、前官禮遇、樞密院議長、同副議長、同顧問官等ヲ招待シ竣工式典ヲ舉行シ式後議事堂西側廣場ニ於テ祝賀宴會ヲ催シ一同ニ記念品ヲ贈呈セリ

同月六日、二十五日及十二月十九日ノ三日間ニ互リ各宮殿下、妃殿下御台覽アラセラレタリ

### 六九六 兩院議員合會シテ尼港殉難者追悼會ヲ催ス

大正九年六月二十四日貴衆兩院議員合會ノ上兩院ノ中央玄關ニ祭場ヲ設ケ尼港殉難者追悼會ヲ催セリ午前十時式ヲ始メ四皇族殿下台臨ヲ給ヒ遺族五十三名、來賓二十八名、兩院議員三百七十三名參列シ其ノ他一般有志ノ參拜アリテ午後二時式ヲ終レリ

### 六九七 靖國神社臨時大祭執行ニ付御供物ヲ獻供ス

昭和八年四月二十五日ヨリ四日間滿洲上海兩事變ニ於テ死歿セル者合祀ノ爲靖國神社臨時大祭執行セラレタルニ付議長ヨリ御供物(清酒一樽)ヲ神前ニ獻供シ同九年四月及同十年四月執行セラレタル

臨時大祭ニ於テモ同様神前ニ御供物ヲ獻供セリ

### 六九八 兩院議員ヨリ明治神宮聖德記念繪畫館壁畫ヲ奉納ス

大正十四年三月三十一日各派協議會ニ於テ議員一同ヨリ貴族院議員ト合同シテ明治神宮聖德記念繪畫館壁畫(開院式ノ圖小杉未醒畫)ヲ奉納スルコトナリ 壁畫ハ昭和三年九月完成シ 繪畫館ニ奉納ヲ了セリ

### 六九九 政府ニ於テ豫算内示會ヲ開催ス

第二十五回議會開會前明治四十一年十二月十八日政府(第二次桂内閣)ハ内閣總理大臣官邸ニ於テ豫算内示會ヲ開催シ議長、副議長、各派ニ屬スル議員代表者五十名及書記官長ヲ招待シ第二十五回議會ニ提出スヘキ豫算案ノ内容ヲ説明シ了解ヲ求メ出席者ニ豫算綱要ヲ配付セリ次テ第二十六回議會開會前ニモ亦同一ノ催アリ然ルニ第二十六回議會明治四十三年二月一日ノ各派協議會ニ於テ豫算内示會ハ必要ナキモノト認ムト決定シタルヲ以テ其ノ後ハ之カ開催ヲ見サリシカ第三十五回議會開會前

大正三年十二月一日政府(第二次大隈内閣)ハ再ヒ豫算内示會ヲ開催シ其ノ後第五十六回議會ニ至ル迄毎通常議會開會前之ヲ開催(第五十二回議會前ハ陛下御不例ニ涉ラセラレタル爲其ノ開催ナシ)セルモ第五十七回議會前豫算内示會不必要論起リタル爲爾後之ヲ開催セス

尙豫算綱要ハ第五十一回議會ヨリハ内示會出席者ニ限ラス議員一般ニモ配付セラレ内示會ヲ開催セサルコトナリタル後ト雖議會召集日前後各議員ニ之ヲ配付セラルルヲ例トス

### 七〇〇 視察ノ爲議員ヲ海外ニ派遣ス

列國議會同盟會議及萬國議院商事會議參列ノ爲或ハ出征軍隊慰問ノ爲議員ヲ海外ニ派遣スルノ外視察ノ爲議員ヲ海外ニ派遣シタルコトアリ

明治四十四年十一月(第二十七回議會閉會後)朝鮮支那視察ノ爲松本君平君外五名ヲ派遣ス

大正元年十月(第二十九回臨時議會閉會後)朝鮮哈爾濱支那視察ノ爲齋藤珪次君外十四名ヲ派遣シ書

記官屬各一名同行ス

大正四年九月(第三十六回(特別)議會閉會後)朝鮮哈爾濱支那視察ノ爲村松龜一郎君外九名ヲ派遣シ書

記官屬各一名同行ス

大正六年九月(第三十九回(特別)議會閉會後)北米合衆國視察ノ爲政尾藤吉君外四名ヲ派遣ス  
 大正七年五月(第四十回議會閉會後)臺灣支那香港視察ノ爲澤來太郎君外九名ヲ派遣シ書記官屬各一名  
 同行ス

同年五月朝鮮滿洲視察ノ爲副議長濱田國松君外十名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

大正八年六月(第四十一回議會閉會後)臺灣香港廣東印度諸島及暹羅視察ノ爲政尾藤吉君外五名ヲ派  
 遣シ書記官一名同行ス

大正十年五月(第四十四回議會閉會後)北米合衆國視察ノ爲中西六三郎君外八名ヲ派遣シ書記官一名及  
 本院囑託二名同行ス

同年十月朝鮮滿洲支那視察ノ爲小田切磐太郎君外十三名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

大正十一年十月(第四十五回議會閉會後)朝鮮滿洲支那視察ノ爲廣岡宇一郎君外九名ヲ派遣シ書記官屬  
 各一名同行ス

大正十三年八月(第四十九回(特別)議會閉會後)樺太視察ノ爲森田茂君外八名ヲ派遣シ書記官屬各一名  
 同行ス

同年九月臺灣南支南洋視察ノ爲飯塚春太郎君外六名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

同年十月朝鮮支那視察ノ爲武内作平君外十三名ヲ派遣シ書記官一名屬二名同行ス

大正十五年六月(第五十一回議會閉會後)滿洲及蒙古視察ノ爲栗山博君外八名ヲ派遣シ書記官屬各一名  
 同行ス

同年七月南洋濠洲視察ノ爲樋口秀雄君外五名ヲ派遣シ書記官一名同行ス

昭和二年十月(第五十三回(臨時)議會閉會後)中華民國視察ノ爲柵瀬軍之佐君外八名ヲ派遣シ書記官屬  
 各一名同行ス

昭和三年九月(第五十五回(特別)議會閉會後)滿洲及中華民國視察ノ爲河上哲太君外十一名ヲ派遣シ書  
 記官屬各一名及本院囑託一名同行ス

昭和四年九月(第五十六回議會閉會後)中華民國視察ノ爲中谷貞頼君外十名ヲ派遣シ書記官一名屬二名  
 同行ス

昭和五年七月(第五十八回(特別)議會閉會後)南洋諸地方視察ノ爲岡本實太郎君外六名ヲ派遣シ書記官  
 一名同行ス

昭和六年十月(第五十九回議會閉會後)滿鮮臺灣視察ノ爲由谷義治君外十名ヲ派遣シ書記官屬各一名同  
 行ス

昭和九年五月(第六十五回議會閉會後)滿洲國視察ノ爲濱田國松君外十二名(内二名自費參加)ヲ派遣シ書  
 記官一名屬二名同行ス



昭和十年六月(第六十七回議會閉會後)滿洲國視察ノ爲宮脇長吉君外十一名ヲ派遣シ書記官屬各一名及囑託一名同行ス

同年六月南洋、比律賓、南支及臺灣視察ノ爲岩本武助君外十一名(内一名自費參加)ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

昭和十一年七月(第六十九回(特別)議會閉會後)南洋、比律賓及臺灣視察ノ爲小山松壽君外十名(内一名自費參加)ヲ派遣シ書記官及囑託各一名同行ス

## 七〇一 大喪費協贊ノ議會ニ於ケル議員ハ喪裝シ文書ハ黒罫紙黒印ヲ用フ

明治四十五年七月三十日 明治天皇崩御遊ハサレ大喪費豫算ノ協贊ヲ經ル爲大正元年八月二十一日ヲ以テ臨時議會(第二十九回)ヲ召集セラル本院ニ於テハ各派協議ノ末議員ノ服裝ハ「シルクハット」「フロックコート」「チヨツキ」「ズボン」手袋、襟飾總テ黒色(但シ手袋ニ限り鼠色ヲ用フルコトヲ得)ヲ著用スルコトニ定メ成規ノ喪章ヲ附シ各議員ハ同會期中之ヲ著用セリ議場ニ出入スル事務局員ノ服裝亦之ニ準ス

大正三年四月十一日 昭憲皇太后崩御遊ハサレ大喪費豫算ノ協贊ヲ經ル爲大正三年五月四日ヲ以テ臨時議會(第三十二回)ヲ召集セラレタルトキ亦前例ニ據レリ

大正十五年十二月二十五日 大正天皇崩御遊ハサレタル爲同日ノ各派協議會ニ於テ第一期喪中議員ノ服裝ハ洋服ハ成ルヘク「フロックコート」又ハ「モーニングコート」(縮スボンニテ差支ナキコト)、和服ハ黒紋附羽織袴ヲ著用シ成規ノ喪章ヲ附スルコトニ定メ第五十二回議會ノ第一期喪中之ヲ著用セリ議場ニ出入スル事務局員ノ服裝亦之ニ準ス

又本院ヨリ政府及貴族院等ヘノ通牒文書ニハ 昭憲皇太后崩御ノ際ハ諒闇中(一箇年) 大正天皇崩御ノ際ハ第一、第二喪期間中(百日)總テ黒罫紙ヲ用ヒ黒印ヲ押捺セリ

## 七〇二 議場ノ使用ヲ許可ス

大正十五年十月三十日ヨリ十一月十一日迄十三日間東京ニ於テ第三回汎太平洋學術會議開催ニ付其ノ會場トシテ本院ノ議場及委員室使用方文部大臣ヨリ依頼アリタルニ依リ同年七月二十七日ノ各派協議會ノ協議ヲ經テ其ノ使用ヲ許可セリ

昭和四年十月二十九日ヨリ十一月七日迄十日間東京ニ於テ萬國工業會議及世界動力會議東京部會開

催ニ付其ノ會場トシテ本院ノ議場及委員室使用方動力會議會長並東京部會長男爵古市公威氏ヨリ依頼アリタルニ依リ昭和三年六月二十一日及昭和四年九月九日ノ各派協議會ノ協議ヲ經テ其ノ使用ヲ許可セリ

昭和五年九月十五日ヨリ同月二十日迄六日間東京ニ於テ第十九回國際統計協會會議開催ニ付其ノ開會式場トシテ本院議場使用方同協會會議準備委員會會長伯爵柳澤保惠氏ヨリ依頼アリタルニ依リ同年五月十四日ノ各派協議會ノ協議ヲ經テ其ノ使用ヲ許可セリ

### 七〇三 議院ニ對スル犯罪

第一回議會 明治二十四年三月三日傍聽席ヨリ議場ニ馬糞ヲ投入シタル者アリ議長ハ直ニ守衛ニ命シテ犯罪者ヲ引致セシメ明治二十二年法律第二十八號第一條(法律ヲ以テ組織シタル議會ニ對シ公然ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス但議會ノ告訴ヲ待チ其罪ヲ論ス)ニ依リ院議ニ諮ヒ之ヲ當該官署ニ告訴セリ(審理ノ結果被告本九一ニ處セラル)

第四回議會 明治二十五年十二月十六日黒田綱彦君ハ「明治二十五年十二月十日發兌東京日日新聞第六千三百五十二號帝國議會紀要ト題スル欄項ニ二號活字ヲ以テ記載シタル記事ハ我衆議院

ヲ侮辱シタルモノトス依テ議長ヨリ告訴ノ手續ヲ爲スモノトス」ノ緊急動議ヲ提出シ多數ヲ以テ可決シタルニ(速記録三二二頁)依リ議長ハ翌十七日東京地方裁判所檢事局へ告訴セリ(審理ノ結果助ハ重禁錮一年罰金五十圓ニ處セラル)

第四十三回(特別)議會 大正九年六月二十九日(召集日)午後十時本院正門附近ニ爆彈ヲ投セラレ之カ爲北側ノ小門、門柱ノ電球、門番所及正玄關ノ硝子戸等ヲ粉碎セルカ本件ノ犯人ハ不明ニシテ檢舉スルニ至ラザリキ

第四十五回議會 大正十一年二月二十三日安達謙藏君外十名提出衆議院議員選舉法中改正法律案ノ會議中傍聽席ヨリ議場ニ生蛇ヲ投入シタル者アリ議長ハ直ニ守衛ニ命シテ犯罪者ノ一人ヲ取押へ日比谷警察署ニ引渡セリ(審理ノ結果被告中村良英及堀川久七共謀シ蛇投ハ久七ノ實行シタルモノニシテ公務執行妨害罪トシ各懲役二月ニ處セラル)

第四十八回議會 大正十三年一月三十一日濱田國松君ノ思想惡化ニ關スル緊急質問ニ對シ小松鐵道大臣及清浦内閣總理大臣答辯ヲ爲サムトシ議場騒然タル際三名ノ暴漢議場ニ闖入シタルニ依リ議長ハ直ニ守衛ニ命シテ犯人ヲ取押へ取調ノ上警視廳ニ引渡セリ(審理ノ結果公務執行妨害罪トシテ木藏、島岡伊之助、山中伊三郎ハ各懲役三月ニ處セラレ野口光五郎ハ控訴中死シセリ)

第五十六回議會 昭和四年三月二日昭和三年勅令第二百二十九號(治安維持法中改正ノ件)承諾ヲ求ムル件ノ會議ニ於テ討論者ニ不穩ノ言辭アリトシテ議場騒擾シタル際傍聽席ヨリ議席ニ向テ

# 附 録

不穩ノ文句ヲ記載セル紙片ヲ撒布シタル者アリ議長ハ直ニ守衛ニ命シテ犯人ヲ取押ヘ取調ノ上  
日比谷警察署ニ引渡セリ(審理ノ結果關谷總之助懲罰八十八ハ出版法違反并安一ハ署名偽造及偽造署名使用トシテ懲罰之助ハ罰金三十圓八十八ハ無罪安一ハ懲役二月二年間執行猶豫ニ處セラル)

衆議院先例彙纂附錄

目次

- 一 開院式勅語及奉答竝之ニ對スル勅語 一
- 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰(附建議ニ對スル勅語) 六一
- 三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上 八三
- 四 憲法發布記念祝賀會ニ於ケル兩院議長ノ式辭及兩院ヨリ  
ノ上奏 九三
- 五 外國ニ對スル祝電、慰問、感謝及意思表明 九七
- 六 帝國軍隊ニ對スル感謝、慰問、表祝竝挨拶(附陸海軍慰問ニ對スル  
御下賜品) 一〇九
- 七 御見舞、歡迎、感謝、慰問及挨拶(帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク) 一三九
- 八 弔詞及通牒 一五三

九	議長、副議長、假議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭	一六九
一〇	永年在職議員ニ對スル表彰決議並謝辭	二二一
一一	辭職願、死亡届(例示ニ止ム)	二三九
一二	議員資格ニ關スル報告書並照會往復	二四三
一三	懲罰事犯ニ關スル件	二五七
一四	政府ノ覆牒又ハ特殊事件ニ關スル政府ノ報告	二六七
一五	開院式閉院式式場圖、議員ノ議席並徽章	二七七
一六	期日期間ノ比較表其ノ他	二八九

### 小目次

一	開院式勅語及奉答並之ニ對スル勅語	一
	第一回議會開院式勅語及奉答並之ニ對スル勅語	一
	第二回議會以降開院式勅語及奉答	二
二	上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰(附建議ニ對スル勅語)	六一
	(一) 議會會期延長ノ上奏	六一
	(二) 國事犯特赦ノ上奏	六一
	(三) 內閣不信任ノ上奏並詔勅、奉答	六二
	(四) 條約改正ノ上奏	六七
	(五) 選舉干涉ニ關スル上奏	六九
	(六) 議長星亨不信任ノ上奏並勅問、奉答	七〇
	(七) 官紀振肅ノ上奏	七二
	(八) 內閣ノ行爲ニ對シ本院ノ意思ヲ表明スル上奏並御沙汰	七三

附錄

- (九) 日清事件ニ關スル上奏 七五
- (一〇) 製艦費ニ關スル上奏並勅語 七七
- (一一) 償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入ノ建議並勅語 七八
- (一二) 日露事件ニ關スル上奏 七九
- (一三) 日露戰爭平和克復祝賀ニ關スル上奏 七九
- (一四) 世界戰爭平和克復祝賀ニ關スル上奏 八一
- (一五) 大正天皇崩御ニ付奉悼上奏 八一

三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上

- (一) 即位ノ大禮ニ付賀表 八三
- (二) 天皇皇后兩陛下御結婚滿二十五年ニ付賀表 八五
- (三) 皇太子殿下御結婚御成約ニ付賀表及賀牋 八五
- (四) 皇太子殿下御結婚ニ付賀表及賀牋 八六
- (五) 皇太子殿下(裕仁親王)立太子式ニ付賀表及賀牋 八八
- (六) 皇太子殿下(裕仁親王)御成年式ニ付賀表及賀牋 八九

- (七) 皇太子殿下(裕仁親王)海外御巡遊ニ付言上 九〇
- (八) 皇太子殿下(裕仁親王)攝政御就任ニ付言上 九〇
- (九) 皇太子殿下(明仁親王)御誕生ニ付賀表 九一
- (一〇) 皇孫殿下(照宮成子内親王)御誕生ニ付賀表及賀牋 九一

四 憲法發布記念祝賀會ニ於ケル兩院議長ノ式辭及兩院ヨリノ上奏 九三

- 第二十四回議會 明治四十一年三月二十二日憲法發布二十年記念祝賀會ニ於ケル 九三
- 兩院議長ノ式辭 九三
- 第四十一回議會 大正八年二月十一日憲法發布三十年記念祝賀會ニ於テ奉呈シタル兩院ヨリノ上奏 九四

五 外國ニ對スル祝電、慰問、感謝及意思表明 九七

- (一) 外國ニ對スル祝電 九七
- (イ) 土耳其帝國議會ノ開設ニ付祝電 九七

附錄

- (口) 日滿議定書調印ニ付祝電 九七
- (ハ) 熱河ノ兵匪掃蕩ニ付祝電 九八
- (ニ) 滿洲國帝制實施ニ付祝電 九八
- (ホ) 比律賓獨立式舉行ニ付祝電 九九

(二) 外國ニ對スル慰問 九九

(イ) 伊國大震災ニ付慰問並挨拶 九九

(口) 聯合軍ニ對スル慰問 一〇一

(ハ) 北米合衆國南加州ニ於ケル震火災ニ付慰問並挨拶 一〇一

(ニ) 佛國首相遭難ニ付慰問並挨拶 一〇二

(三) 外國ニ對スル感謝 一〇三

(イ) 天皇崩御ノ際列國議會ノ表明セル弔意ニ對スル感謝 一〇三

(口) 大震災ニ際シ列國ノ同情ニ對スル感謝 一〇四

(ハ) 講和條約成立ニ關スル祝辭及感謝 一〇四

- (二) 東郷元帥薨去ノ弔意ニ對スル感謝 一〇五
- (四) 外國ニ對スル意思表明 一〇六
- (イ) 米國新移民法ニ關スル決議 一〇六
- (口) 日露國交ノ恢復ヲ祝スル決議 一〇六
- (ハ) 滿洲國ノ承認ニ關スル決議 一〇六

六 帝國軍隊ニ對スル感謝、慰問、表祝並挨拶(附 陸海軍慰問ニ對スル御

下賜品) 一〇九

- (一) 明治二十七八年事件 一〇九
- (二) 明治三十三年事變 一一〇
- (三) 明治三十七八年事件 一一〇
- (四) 大正三、四年事件 一一七
- (五) 大正四年乃至九年事件 一一九
- (六) 昭和六年乃至九年事變 一二八

附錄

七 御見舞、歡迎、感謝、慰問及挨拶（帝國軍隊ニ對スル分ヲ除ク）

- (一) 御見舞（皇族竝王族殿下ニ對スルモノ） 一三九
- (イ) 伏見宮博恭王殿下御負傷ノ際御見舞書竝御挨拶 一三九
- (ロ) 北白川宮成久王殿下同妃殿下、朝香宮鳩彦王殿下御奇禍ニ罹ラセラルタル際御見舞電報竝御謝電 一三九
- (ハ) 秩父宮殿下御不例ニ付御見舞電報竝御謝電 一四〇
- (ニ) 李王殿下御重患ニ付御見舞電報竝御謝電 一四〇
- (ホ) 久邇宮邦彥王殿下御不例ニ付御見舞電報 一四一
- (ヘ) 關西地方ニ於ケル暴風雨ニ付東久邇宮邸竝久邇宮（多嘉王殿下）邸ニ御見舞電報 一四一
- (二) 歡迎 一四二
- (イ) 暹羅國皇帝皇后兩陛下御來朝ノ際ニ於ケル歡迎ノ辭 一四二
- (ロ) 滿洲國皇帝陛下御來訪ノ際ニ於ケル歡迎文 一四二

- (ハ) 英國皇太子竝皇子殿下御來朝ノ際ニ於ケル歡迎文竝御挨拶 一四三
- (ニ) 「ジョツフル」元帥歡迎ノ決議 一四六

(三) 感謝 一四六

- (イ) 日滿議定書調印成リタル際帝國全權ニ對スル感謝電報 一四七
- (ロ) 國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感謝、激勵電報竝謝電 一四七
- (ハ) 國際聯盟會議帝國代表ニ對スル感謝決議竝謝辭 一四七
- (ニ) 倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議帝國全權ニ對スル感謝 一四九

(四) 慰問 一五〇

震災遭難者ニ對スル決議 一五〇

(五) 挨拶 一五〇

伊藤內閣總理大臣負傷セラレタル際ノ慰問ニ對スル挨拶 一五〇

八 弔詞及通牒 一五三



- (一) 皇族及王族薨去ノ場合
- (二) 外國皇帝崩御ノ場合
- (三) 元勳其ノ他ノ逝去ノ場合
- (四) 議員ノ逝去ノ場合

九 議長、副議長、假議長ノ挨拶及議員ノ祝辭、謝辭

- (一) 議長、副議長、假議長就職ノ挨拶及年長議員ノ祝辭
- (二) 議長、副議長辭任ノ挨拶及年長議員ノ謝辭
- (三) 任期滿限ノ議長、副議長ノ挨拶及年長議員ノ謝辭

一〇 永年在職議員ニ對スル表彰決議並謝辭

- (一) 第一回議會以來ノ在職議員ニ對スル表彰決議並謝辭
- (二) 三十年以上ノ在職議員ニ對スル表彰決議並謝辭

一一 辭職願、死亡届(例示ニ止ム)

一五三  
一五五  
一五八  
一六四  
一六九  
二〇六  
二一七  
二二一  
二二二  
二二一  
二二九

- (一) 議長及副議長ノ辭職願並奏上
- (二) 議員ノ辭職願
- (三) 死亡届

一二 議員資格ニ關スル報告書並照會往復

- (一) 議員資格審査ノ報告書
- (二) 議員資格ニ關スル裁判確定ノ通報方ニ關スル回答
- (三) 補闕選舉ノ請求ニ關スル照會及回答

一三 懲罰事犯ニ關スル件

- (一) 議長宣告ニ依ルモノ
- (二) 院議ニ依ルモノ

一四 政府ノ覆牒又ハ特殊事件ニ關スル政府ノ報告

- (一) 憲法第六十七條ニ依レル修正議決ニ對スル政府ノ覆牒

附錄

二四三  
二四一  
二四一  
二四一  
二四三  
二四三  
二五二  
二五四  
二五七  
二五七  
二六〇  
二六七  
二六七

- (二) 書類提出ニ關スル決議ニ對スル政府ノ覆牒 二六八
- (三) 國務大臣出席ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒 二六九
- (四) 政府委員交換ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒 二七〇
- (五) 勾留中ノ議員ニ關スル決議及司法大臣ノ覆牒並通知 二七〇
- (六) 特殊ノ事件ニ關スル報告又ハ演說一覽表 二七二

### 一五 開院式閉院式式場圖、議員ノ議席並徽章

- (一) 開院式及閉院式式場圖(議長、副議長、議員、書記官長及書記官ノ席次) 二七七
- (二) 議員ノ議席 二八〇
- (三) 議員及事務局員其ノ他ノ徽章 二八六

### 一六 期日期間ノ比較表其ノ他

- (一) 各會期ニ於ケル召集詔書公布日、召集日及其ノ期間比較表 二八九
- (二) 解散ヨリ次ノ議會召集日迄ノ期日表 二九五
- (三) 本會議開會日數比較表 二九七

- (四) 特別議會一覽表 三〇〇
- (五) 臨時議會一覽表 三〇二
- (六) 停會一覽表 三〇四
- (七) 會期延長一覽表 三〇六
- (八) 解散一覽表 三〇八
- (九) 兩院協議委員選舉方法及兩院協議會成績一覽表 三一〇

# 衆議院先例彙纂附録

## 一 開院式勅語及奉答竝之ニ對スル勅語

### 第一回議會開院式勅語 (明治二十三年十一月二十九日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕即位以來二十年間ノ經始スル所内治諸般ノ制度粗、其ノ綱領ヲ舉ケタリ庶幾クハ皇祖皇宗ノ遺德ニ倚リ卿等ト俱ニ前ヲ繼キ後ヲ啓キ憲法ノ美果ヲ收メ以テ將來ニ益、我カ帝國ノ光烈ト我カ臣民ノ忠良ニシテ勇進ナル氣性トヲシテ中外ニ表明ナラシムルコトヲ得ム

朕又夙ニ各國ト盟好ヲ修メ通商ヲ廣メ國勢ヲ振張セムコトヲ期ス幸ニ締約諸國ノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘタリ

陸海ノ軍備ハ内外ノ平和ヲ保全スル爲ニ歳ヲ積ミテ完實ヲ期セサルヘカラス

明治二十四年度ノ豫算及各般法律案ハ朕之ヲ國務大臣ニ命シテ議會ノ議ニ付セシム朕ハ卿等カ公

平慎重以テ審議協賛スル所アルコトヲ期シ併セテ將來ニ繼クヘキノ模範ヲ貽サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十三年十一月二十九日議決)

恭シク惟ニ我

天皇陛下帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル聖詔ヲ賜ヘリ臣等感喜ノ至リニ堪ヘス臣等此ヨリ心カヲ盡シテ協賛ノ責ヲ全シ以テ陛下ノ信任ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス茲ニ謹テ奉答ス

右奉答ニ對スル勅語 (明治二十三年十二月一日)

朕衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

(備考) 毎會期之ヲ賜フヲ例トス故ニ以下之ヲ略ス

第二回議會開院式勅語 (明治二十四年十一月二十六日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ帝國議會第二期開會ノ式ヲ舉ク

明治二十五年年度ノ豫算及各般ノ法律案ハ國務大臣ニ命シテ之ヲ議會ノ議ニ付セシム朕既ニ我カ帝國ノ光輝アル憲法上ノ進行ヲ誤ラサルコトヲ嘉シ更ニ卿等カ帝國ノ隆昌ト人民ノ幸福トヲ以テ目的トシ和衷協同シテ益々其ノ公務ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十四年十一月二十六日議決)

臣衆議院議員等恭ク

天皇陛下ニ上奏ス

車駕親臨シテ帝國議會第二期開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至リニ堪ヘス臣等聖旨ヲ奉體シ益々心カヲ盡シテ以テ協賛ノ責ヲ全シ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奉答ス

第三回(特別)議會開院式勅語 (明治二十五年五月六日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開院ノ式ヲ行フ

明治二十五年年度ノ歳出歳入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ仍國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算ヲ以テ議會ノ議ニ付セシメ竝ニ必要ナル法律案ヲ提出セシム

四  
惟フニ各般進張ノ事業ハ實ニ國家ノ隆運ト關係ヲ相爲ス朕ハ卿等カ慎重討議シ以テ協贊ノ任ヲ完  
クセムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十五年五月六日議決)

臣衆議院議員等恭ク

天皇陛下ニ上奏ス

車駕親臨シテ帝國議會開會ノ盛典ヲ舉ケ臣等ニ賜フニ  
天顏ニ咫尺シ優渥ナル 聖詔ヲ拜スルノ榮ヲ以テセラル臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等 聖旨ヲ奉體  
シ慎重討議協贊ノ任ヲ完シ以テ  
陛下ノ隆恩ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奏ス

第四回議會開院式勅語 (明治二十五年十一月二十九日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開院ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治二十六年度ノ豫算及必要ナル法律案ヲ議會ニ提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十五年十一月二十九日議決)

臣衆議院議員等恭ク

天皇陛下ニ上奏ス

車駕親臨シテ帝國議會開會ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス臣等  
聖旨ヲ奉體シ國家ノ要務ヲ慎重討議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ  
陛下ノ隆恩ニ對ヘ以テ國民ノ委託ニ酬ントス謹テ奏ス

第五回議會開院式勅語 (明治二十六年十一月二十八日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ帝國議會開院ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ行政諸般ノ整理ヲ經テ調製シタル明治二十七年度ノ豫算及必要ナル法律案ヲ  
提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十六年十一月二十八日議決)

恭ク惟ニ

第五回帝國議會開會ノ日ニ當リ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ 臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス 臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ益心力ヲ盡シテ國家ノ要務ヲ慎重審議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ 陛下ノ隆恩ニ對ヘ國民ノ委託ニ酬ントス 衆議院議長 臣星亨 誠恐誠惶謹テ奏ス

第六回(特別)議會開院式勅語 (明治二十七年五月十五日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ親臨シテ開會ノ式ヲ行フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ急要ナル追加豫算及法律案ヲ提出セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シ審議ヲ盡シ協贊ノ任ヲ致サンコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年五月十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨第六回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ 臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス 臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ益心力ヲ盡シテ國家ノ要務ヲ慎重審議シ協贊ノ責ヲ完シ以テ 陛下ノ隆恩ニ對ヘ國民ノ委託ニ酬ントス 衆議院議長 臣楠本正隆 誠恐誠惶謹テ奏ス

第七回(臨時)議會開院式勅語 (明治二十七年十月十八日)

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ特ニ國務大臣ニ命シテ刻下ノ急要ナル陸海軍費ニ關スル議案ヲ提出セシム

朕ハ清國カ帝國ト共ニ東洋ノ和平ヲ保持スルノ任ヲ忘レ遂ニ今日ノ事局ヲ見ルニ至リタルヲ憾トス 然レトモ覺端既ニ開ク交戦ノ目的ヲ達セスムハ以テ止ムヘカラス 朕ハ帝國ノ臣民カ一致和協朕カ事ヲ獎勵シ全局ノ大捷ヲ以テ早く東洋ノ和平ヲ回復シ以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ望ム 各員其レ旃ヲ勗メヨ

## 右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年十月十八日議決)

衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐

本院ノ決議ヲ具シ謹テ奏ス恭ク惟ニ

天皇陛下聖明神武 列聖ノ遺烈ヲ承ケ中興ノ偉業ヲ啓セ給フ比年清國兇暴ニシテ隣邦ノ交誼ヲ破  
リ東洋ノ平和ヲ紊ル

陛下赫怒爰ニ六師ヲ出シ親ラ大猷ヲ進メ帝國議會ヲ大本營ノ下ニ召集シ

車駕親臨シ開會ノ式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激恐懼ノ至ニ堪ヘス

今ヤ軍備ノ整理擴張ハ實ニ我帝國ノ最大急務タリ 聖詔ニ示シ給フ陸海軍備ハ臣等審議シテ  
協贊ノ責ヲ完ウセム臣等奮テ全局ノ大捷ヲ以テ早ク東洋ノ平和ヲ回復シ國光ヲ宣揚シ交戦ノ  
目的ヲ達セスムハ止マサルヲ期シ以テ 聖旨ヲ奉體セムコトヲ誓フ臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ  
奏ス

## 第八回議會開院式勅語 (明治二十七年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會ノ開院式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ヲシテ明治二十八年度ノ豫算及其ノ他ノ必要ナル議案ヲ提出セシム

朕カ外征ノ師ハ每戰捷ヲ奏シ漸次敵地ニ進入ス今ヤ嚴冬ニ際ス 沍寒ヲ冒シ艱苦ヲ嘗メ益々其ノ勇  
武ヲ著ハセリ

中立列國ノ交際ハ益々親睦ヲ敦クシ朕カ宿望タル條約改正ノ業既ニ成績ヲ告クルモノ、外仍ホ協  
商ニ在ルモノ亦均シク其ノ歩ヲ進ム

朕ハ此ノ光輝アル進運ニ膺リ國度ノ文明ヲ躋シ祖宗ノ遺烈ニ頼リ有終ノ美ヲ濟サムコトヲ欲ス卿  
等其レ能ク中外ノ大勢ヲ察シ上下和協ノ實ヲ舉ケ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

## 右勅語ニ對スル奉答 (明治二十七年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

陛下爰ニ第八回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ皇師  
百艱ヲ排シテ遠ク敵地ニ入り連戰捷ヲ奏ス而シテ列國ノ交際益々親睦ヲ致シ將ニ大ニ其ノ面目ヲ改  
メムトス 陛下ノ聖武ニ頼ルニ非サレハ安ソ能ク帝國ノ威信ヲ宣揚スル此ノ如クナルヲ得ムヤ臣  
等幸ニ此ノ隆運ニ際ス謹テ協贊ノ責ヲ完ウシ以テ

陛下ノ聖旨ニ奉對セム衆議院議長 臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ奏ス

第九回議會開院式勅語 (明治二十八年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開會ノ式ヲ行ナヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ文武臣僚及各員ノ協翼ト民庶ノ戮力トニ依リ光榮ヲ以テ干戈ヲ戢ムルコトヲ得タルヲ喜フ今  
ヤ内ハ臺灣平定ニ歸シ外ハ列國ト交誼ノ厚キヲ加フ向後ノ急務ハ專ラ平和ヲ保持シテ國運ノ伸張  
ヲ求ムルニ在リ朕乃チ國務大臣ニ命シテ殖産交通及教育等ニ關シテ國家ノ發達ニ必要トスル諸般  
ノ計畫ヲ盡サシメ明治二十九年年度豫算及諸法律案トシテ之ヲ提出セシム  
國防ハ曾テ漸ヲ以テ完實ヲ期セリ今交戰ノ爲メ缺損セルモノヲ補充シ竝ニ自衛ニ必要ナル設備ヲ  
ナサムトシ朕カ臣僚ヲシテ贊畫ノ任ニ當ラシメ必要ノ支出ニ付テ議會ノ協贊ヲ待タシム而シテ其  
止ムヲ得サル國費ノ増加ハ朕カ忠良ナル臣民ノ進テ之ヲ負擔スルニ躊躇セサルヲ信ス  
帝國ハ列聖ノ遺烈ト臣民ノ忠勇トニ依リ既ニ長足ノ進歩ヲ見タルモ仍ホ大成ヲ前途二期スルモノ  
アリ各員能ク和衷協贊ノ任務ヲ罄シ朕カ望ニ副ハムコトヲ力メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治二十八年十二月二十八日議決)

恭ク惟ニ

陛下爰ニ親臨シテ第九回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘ  
ス今ヤ對清ノ戰役全局ノ大捷ヲ奏シ以テ國光ヲ中外ニ發揚ス  
陛下ノ威稜ニ賴ルニ非サレハ焉ソ能ク此ノ如クナルヲ得ムヤ願フニ國運ノ伸張ニ伴ヒ諸般ノ政務  
更ニ大ニ規畫スヘキモノアルヲ信ス  
陛下聖明天縱國家ノ要務ヲ舉ケテ臣等ニ諭シタマフ臣等慎重討議以テ協贊ノ任ヲ盡シ上  
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムトス衆議院議長臣楠本正隆誠惶誠恐謹テ奏ス

第十回議會開院式勅語 (明治二十九年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟列國トノ交際ハ和親益々厚キヲ加ヘ條約改正ノ業亦將ニ其ノ成效ヲ告ケムトス國防ハ  
平和ノ保障ナリ國家經濟ノ整理ト相待テ漸次完實セシムコトヲ期ス  
臺灣ニ於ケル人民ノ撫育ハ朕カ深ク軫念スル所ナリ將來益々秩序ヲ整頓シ福祉ヲ増進セムコトヲ  
要ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十年年度豫算及必要ナル各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務ニ  
對シテ和衷協贊ノ任ヲ盡シ朕カ望ニ副ハムコトヲ力メヨ



右勅語ニ對スル奉答 (明治二十九年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ第十回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス 陛下天縱文武既ニ威徳ヲ八紘ニ震耀シ仁恩ヲ四表ニ光被ス茲ニ方今中外ノ要務ヲ舉ケテ臣等ニ諭シタマフ臣等謹テ 神衷聖謨ヲ奉體シ慎重以テ職ニ從ヒ審議協贊ノ任ヲ完ウシ上 陛下ノ聖明ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣鳩山和夫誠恐誠惶謹テ奏ス

第十一回議會開院式勅語 (明治三十年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 締盟諸國ノ交際ハ益親密ニシテ條約ノ改正完結ヲ告ケムトスルハ朕ノ喜フ所ナリ 明治三十一年度豫算ニ於テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニ國務大臣ニ命シ租稅增加ノ經畫ヲ定メシメ法典ノ修正案及國運ノ振張行政ノ發達ニ必要ナル諸法律案ト共ニ之ヲ議會ニ提出セシム 朕ハ卿等カ和衷審議シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十年十二月二十四日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ第十一回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス 臣等慎重審議以テ上 陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣鳩山和夫誠恐誠惶謹テ奏ス

第十二回(特別)議會開院式勅語 (明治三十一年五月十九日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク 維新開國ノ國是ニ基ケル條約改正ノ業ハ今ヤ其ノ實施ヲ見ル將サニ近キニ在ラムトス朕ハ忠良ナル臣民ノ上下一致之ヲ遂行スルニ曷メ以テ益國光ヲ發揚セムコトヲ望ム 法典ハ曩ニ其ノ施行ヲ延期シ逐次修正ヲ加ヘシメ其ノ一部ハ既ニ公布セシメタリ茲ニ爾後ノ修正ニ屬スルモノヲ以テ議會ノ議ニ付セシム 朕ハ時運ノ進歩ニ伴ヒ憲政ノ益鞏固ナラムコトヲ望ミ衆議院議員選舉法修正案ヲ議會ニ提出セシム

明治三十一年度ノ歳出歳入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ仍財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲ニ國務大臣ニ命シ租税増加ノ經畫ヲ定メシメ其ノ他ノ緊急ナル追加豫算及諸法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭クサムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十一年五月十九日議決)

恭ク惟ルニ

車駕親臨シテ第十二回帝國議會開院ノ盛典ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス

臣等慎重審議協贊ノ任ヲ盡シ以テ上

陛下ノ叡慮ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十三回(特別)議會開院式勅語 (明治三十一年十二月三日)

朕茲ニ帝國議會ノ開院式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

締約諸國ノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ改正條約ノ實施ハ其ノ期近キニ在リ朕ハ上下相勗メテ之カ好果ヲ收メムコトヲ望ム

朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル爲國務大臣ニ命シテ之カ經畫ヲ盡サシメ之ニ關スル法律案ハ明治三十二年度ノ豫算及各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シテ公平慎重以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十一年十二月三日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第十三回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス臣等

謹テ 聖旨ヲ奉體シ憲章ヲ恪遵シ慎重審議以テ上

陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院副議長 臣元田肇誠恐誠惶謹テ奏ス

第十四回議會開院式勅語 (明治三十二年十一月二十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

條約改正ノ業茲ニ其ノ完成ヲ告ケ締盟各國ノ交際益々其ノ親睦ヲ加フルハ朕ノ喜フ所ナリ朕ハ忠良ナル臣民ノ一致和協我國運進暢ノ好果ヲ收メムコトヲ望ム

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十三年度ノ豫算及必要ナル各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要

務ニ對シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ニ副ハムコトヲ努メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十二年十一月二十二日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十四回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ條約改正ノ業其ノ完成ヲ告ク臣等幸ニ此ノ隆運ニ際シ謹テ協贊ノ任ヲ完ウシ上 陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十五回議會開院式勅語 (明治三十三年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ締盟各國ノ交誼益々深厚ナルヲ喜フ

北清ニ於ケル痛惜スヘキ事件ノ起ルヤ朕ハ朕ノ代表者其ノ他ノ臣民及他ノ外國人ヲ救済セシムル爲必要ナル陸海軍隊ノ派遣ヲ命シタリ朕ノ軍隊カ諸外國ノ軍隊ト協力シテ其ノ任務ヲ盡スニ際シ發揮シタル忠勇ハ朕ノ深ク嘉ニスル所ナリ朕ノ政府ハ列國ト協同シテ清國ノ秩序ヲ恢復シ將來ニ於ケル平和ノ保證ヲ得ムコトヲ努ム

朕ハ國家必要ノ軍費ヲ支辨シ竝ニ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲國務大臣ニ命シテ租稅增加ノ經畫ヲ

定メシメ明治三十四年度豫算案及諸法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム

朕ハ卿等カ國家ノ要務ニ對シ和衷審議シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十三年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十五回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘ

ス刻下東洋多事ニ際ス臣等慎重審議以テ協贊ノ任ヲ盡シ上

陛下ノ聖慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十六回議會開院式勅語 (明治三十四年十二月十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルヲ喜フ

北清ノ事變ニ就キテハ列國ト協同シテ當初ノ冀望ヲ達シ善後ノ計亦將サニ成ヲ告ムトス朕ハ文武臣僚ノ勵精及各員ノ協贊ニ依リ帝國ノ光輝ヲ宣揚シタルヲ嘉ミス

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治三十五年度ノ豫算及各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務ニ對シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十四年十二月十日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ爰ニ第十六回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ北清ノ事變漸ク鎮定ニ歸ス

陛下ノ稜威ニ頼ルニアラスムハ焉ソ能ク此ノ如クナルヲ得ムヤ願フニ東洋尙多事タルヲ免レス臣等國家ノ要務ニ對シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十七回議會開院式勅語 (明治三十五年十二月九日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加ヘ且北清事變ニ對スル善後ノ措置其ノ機宜ヲ誤ラス克ク東洋ノ平和ヲ復セルハ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シ時局ノ狀勢ニ鑑ミ國防ノ充實ト國運ノ振張ニ必要ナル經畫ヲ定メシメ之ニ基キタル明治三十六年度豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等慎重審議以テ和衷協贊ノ任ヲ完フセムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十五年十二月九日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十七回帝國議會開會ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ盡シ以テ上

陛下ノ聖慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣片岡健吉誠恐誠惶謹テ奏ス

第十八回(特別)議會開院式勅語 (明治三十六年五月十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

明治三十六年度ノ歳出歳入ハ既ニ前年度ノ豫算ニ依ラシメタリ仍國務大臣ニ命シテ國防ノ充實ト國運ノ振張ニ關シ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等國家ノ要務ニ對シテ慎重審議以テ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答

(明治三十六年五月十二日議決)ハ第十一回議會ニ略(車駕親臨シテ)

「車駕親臨シテ」トシ「帝國議會開院」ヲ「帝國議會開會」トセリ)同シ

(奉答書ハ議長病氣ノ爲副議長ノ名ヲ以テス)

第十九回議會開院式勅語

(明治三十六年十二月十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣ブ而シテ東洋ノ平和ト帝國ノ利權ヲ保持スル爲緊要ナル國際ノ交渉ニ關シテハ國務大臣ヲシテ慎重其ノ事ニ當ラシム

朕ハ國務大臣ニ命シテ財政ニ關スル經畫ヲ定メシメ明治三十七年度ノ豫算ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答

(明治三十六年十二月十日議決翌十一日奉呈スヘキ管ノ處御都合)ニ依リ延引被仰出同日開議前解散セラレタル爲奉呈ニ至ラス)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第十九回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス今ヤ國運ノ興隆洵ニ千載ノ一遇ナルニ方テ閣臣ノ施設之ニ伴ハス内政ハ彌縫ヲ事トシ外交ハ

機宜ヲ失シ臣等ヲシテ憂虞措ク能ハサラシム仰キ願クハ 聖鑑ヲ垂レ給ハムコトヲ臣等協贊ノ任ニ在リ慎重審議以テ上

陛下ノ聖旨ニ答ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣河野廣中誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十回(臨時)議會開院式勅語

(明治三十七年三月二十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣ブ

朕ハ東洋ノ平和ヲ永遠ニ保持スルノ目的ヲ以テ朕カ政府ヲシテ露國ト交渉セシメタリ而モ露國ハ平和ヲ尊重スルノ誠意ヲ缺キ遂ニ干戈相見ルニ至レルハ朕カ憾トスル所ナリ然レトモ事既ニ此ニ至ル交戦ノ目的ヲ達セスムハ止ムヘカラス今ヤ朕カ軍人ハ艱苦ヲ排シテ其ノ忠勇ヲ致セリ朕ハ帝國臣民カ協同一致以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ望ム

朕ハ國務大臣ニ命シテ特ニ時局ニ關シ緊急ナル豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答

(明治三十七年三月二十日議決)

恭ク惟ニ

御聖文武天皇陛下茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス願フニ帝國カ東洋ノ平

和ヲ保持スルニ切ナルハ一日ニアラス然ルニ露國ハ平和ヲ尊重スルノ誠意ナク清國トノ盟約及

列國ニ對スル累次ノ宣言ヲ破レリ

陛下ノ戰ヲ宣シ給ヒタルハ臣等ノ感激ニ堪ヘサル所ナリ

今ヤ外征ノ師ハ連戰連勝益々忠勇ヲ致ス是レ

陛下ノ稜威ニ頼ラスムハアラス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ期ス衆議院議

長臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十一回議會開院式勅語 (明治三十七年十一月三十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シ刻下ノ急要ナル臨時軍事費支辨ニ關スル經畫ヲ定メシメ明治三十八年度豫算

案及法律案ト共ニ之ヲ提出セシム

朕カ外征ノ師ハ每戰捷ヲ奏シ今ヤ益々其ノ勇武ヲ發揮シテ戰局漸次其ノ歩ヲ進ム

朕ハ臣民ノ忠誠ニ倚信シ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス卿等克ク朕カ旨ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭

サムコトヲ努メヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十七年十一月三十日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第二十一回帝國議會ヲ召集シ

車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激恐懼ノ至ニ堪ヘス今ヤ皇師連捷戰局

歩ヲ進メ兵氣外ニ張り民心内ニ振フ是レ

陛下ノ稜威ニ頼ルニアラスムハ焉ソ能ク此ニ至ルヲ得ムヤ然レトモ前途尙遠遠ニシテ軍費ヲ要ス

ル愈々多ク内外ノ施設又多端ニ際ス方ニ舉國一致堅忍持久以テ報効ヲ圖ルヘキノ秋ナリ臣等

益々心力ヲ竭シテ協贊ノ任ヲ完フシ上

陛下ノ信任ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十二回議會開院式勅語 (明治三十八年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 朕ハ文武臣僚及各員ノ翼贊ト民庶ノ忠誠ニ依リ光榮ヲ以テ干戈ヲ戢メ已ニ露國ト善鄰ノ誼ヲ復シ  
 タリ而テ英國トノ協約曩ニ改締ヲ經締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ  
 帝國ト韓國ノ關係ハ數次ノ協約ニ依リ愈々密接ヲ加フ今後益々友好ノ誼ヲ厚フシ以テ指導啓發ノ道  
 ヲ完フセムコトヲ勗メサルヘカラス  
 朕ハ國務大臣ニ命シ明治三十九年度豫算案及法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク國家ノ進運ニ  
 鑑ミ大成ヲ前途ニ期シテ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十八年十二月二十八日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ第二十二回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘ  
 ス今ヤ戰勝ノ後ニ際シ帝國ノ責任益々重ヲ加フ臣等慎重審議協贊ノ任ヲ盡シ上 聖旨ニ對ヘ下  
 國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十三回議會開院式勅語 (明治三十九年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ  
 朕ハ國務大臣ニ命シテ國力ノ發展ト國防ノ充實ニ必要ナル經畫ヲ定メ之ニ基キタル明治四十年  
 度豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭シ以テ  
 朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (明治三十九年十二月二十八日議決)ハ第十七回議會ニ略(開會ノ盛式)

ヲ(開院ノ盛式トセリ)同シ

第二十四回議會開院式勅語 (明治四十年十二月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 帝國ト締盟列國トノ交際益々親厚ニ英國トノ同盟益々鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣フ  
 朕ハ東洋ノ平和ヲ永遠ニ保持スルノ目的ヲ以テ佛國及露國ト協約ヲ締結シ又韓國ニ付テハ更ニ協  
 約ヲ重ネ以テ兩國ノ關係ヲ益々密接ナラシメタリ  
 朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムカ爲國務大臣ニ命シテ其ノ經畫ヲ定メシメ明治四十一年度豫算

案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答

(明治四十年十二月二十八日議決)ハ第十七回議會ニ略(開會ノ盛式)ヲ

「開院ノ盛式」トシ「聖慮ニ對ヘ」ヲ「聖旨ニ對ヘ」トセリ)同シ

第二十五回議會開院式勅語

(明治四十一年十二月二十五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ年ヲ逐テ益々親厚ニ東洋ノ平和更ニ鞏固ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シ財政ニ關スル整理ヲ行ハシメ明治四十二年度ノ豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ

議會ノ議ニ付セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答

(明治四十一年十二月二十五日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第二十五回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ

堪ヘス臣等國家ノ要務ニ對シ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ叡慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣長谷場純孝誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十六回議會開院式勅語

(明治四十二年十二月二十四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ東洋ノ平和愈々鞏固ナルハ朕ノ欣フ所ナリ

朕ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムカ爲國務大臣ニ命シ財政整理ノ經畫ヲ定メシメ明治四十三年度

ノ豫算案及各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望

ム

右勅語ニ對スル奉答

(明治四十二年十二月二十四日議決)ハ第二十五回議會ニ略(惟ニ)ヲ

「惟ルニ」トシ「陛下ノ叡慮ニ對ヘ」ヲ「陛下ノ聖旨ニ對ヘ奉リ」トセリ)同シ

第二十七回議會開院式勅語

(明治四十三年十二月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク



帝國ト締盟列國ノ交際益々親厚ニ英國トノ同盟愈々鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ東洋ノ平和ヲ保持セムカ爲曩ニ露國ト協約ヲ重ネ又韓國ヲ帝國ニ併合セリ朕ハ衆庶ト共ニ永  
ク其ノ效果ヲ收メムコトヲ期ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メシメ明治四十四年度豫算案及法律  
其ノ他ノ諸案ヲ議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十三年十二月二十三日議決)

恭ク惟ニ

陛下玆ニ第二十七回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス臣等

慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖慮ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣長谷場純孝誠恐誠惶謹テ奏ス

第二十八回議會開院式勅語 (明治四十四年十二月二十七日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ條約ノ改正多ク其ノ成ヲ告ケ英國トノ協約ハ更ニ改締ヲ

經タリ朕深ク之ヲ欣フ

清國ノ擾亂ハ朕太タ之ヲ憂フ速ニ秩序ヲ復シ和平ヲ見ルニ至ラムコトヲ望ム

朕ハ國務大臣ニ命シテ明治四十五年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ提出セシム卿等和衷審議以テ協

贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (明治四十四年十二月二十七日議決)ハ第二十七回議會ニ略(陛下玆ニ

ヲ車駕親臨シテ玆ニトセリ)同シ

第二十九回(臨時)議會開院式勅語 (大正元年八月二十三日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕新ニ大統ヲ繼キ祖宗ノ宏謨ニ遵ヒ先帝ノ遺緒ヲ紹述セムコトヲ期ス

朕今皇考大喪ノ儀ヲ行ハムトスルニ方リ國務大臣ニ命シテ之ニ關スル豫算案ヲ提出セシム卿等審

議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正元年八月二十三日議決)

衆議院議長 臣大岡育造 誠惶誠恐謹ミテ奏ス恭ク惟ルニ

先帝天縱睿明登極ノ初首トシテ大誓ヲ天地神明ニ立テ宏謨ヲ開國進取ニ定メタマヒ内ニハ政刑ヲ整ヘ文教ヲ施シ軍制ヲ振ヒ庶績ヲ勸メ大憲ヲ宣布シテ憲政ヲ創定シタマヒ外ニハ列國ト輯睦シ夙ニ東洋平和ノ大局ヲ軫念シタマヒ事アレハ則國力ヲ擧テ之ヲ保持スルコトヲ惜ミタマハス是ヲ以テ大義感孚シテ列國親交シ盛徳大業臣庶ノ懷服スル所萬邦ノ具瞻スル所タリ何ソ圖ラム一朝奄ニ晏駕シタマヒ率溥驚悼豈翅ニ考妣ヲ喪スルカ如クナルノミナラムヤ臣等痛傷悲慟涕泣已ムナシ今

陛下聖德乾覆克文克武即チ大統ヲ承ケサセタマヒ茲ニ帝國議會ヲ開キ忝ク 聖勅ヲ賜ヒ大喪ノ費用ヲ議定セシメタマフ臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス臣等肅ミテ 聖旨ヲ奉體シ慎重ニ審議シ以テ國民ノ至誠ヲ表シ奉ラムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造 誠惶誠恐謹ミテ奏ス

### 第三十回議會開院式勅語 (大正元年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ニ英國トノ同盟愈々鞏固ナルハ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正二年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意

ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

### 右勅語ニ對スル奉答 (大正元年十二月二十七日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第三十回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪

ヘス臣等憲法ノ條章ニ遵ヒ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣大岡育造 誠惶誠恐謹テ奏ス

### 第三十一回議會開院式勅語 (大正二年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際益々親厚ヲ加ヘ英國トノ同盟愈々鞏固ナリ又曩ニ鄰邦ノ政府ヲ承認シ其ノ交誼ヲ敦フセリ朕深ク之ヲ欣フ

即位ノ禮及大嘗祭ハ大正三年ニ於テ之ヲ行ヒ忠良ナル臣民ト其ノ慶福ヲ共ニセムコトヲ庶幾フ朕ハ國務大臣ニ命シテ行政及財政ノ整理ヲ爲シ國運ノ進暢ニ必要ナル經畫ヲ定メシメ大正三年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭

サムコトヲ望ム

三十二

右勅語ニ對スル奉答

(大正二年十二月二十六日議決)ハ第三十回議會ニ略(憲法ノ條章ニ遵

ヒ)ヲ「憲法ノ條章ニ由リ」トセリ)同シ

第三十二回(臨時)議會開院式勅語

(大正三年五月五日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕今皇妣大喪ノ儀ヲ行ハムトスルニ方リ國務大臣ニ命シテ之ニ關スル豫算案ヲ提出セシム卿等審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答

(大正三年五月五日議決)

衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶謹ミテ奏ス恭ク惟ニ

皇太后陛下坤德克ク乾猷ヲ補ヒ惠澤克ク蒼生ヲ霑ス中外瞻仰億兆欽慕セサルナシ何ソ圖ラム今奄ニ登遐シタマフ臣等哀悼悲痛措ク所ヲ知ラス

陛下睿明至孝茲ニ臨時帝國議會ノ開會ヲ命シ 聖詔ヲ賜ヒテ大喪ノ費用ヲ議定セシメタマフ

臣等恐懼ノ至ニ勝ヘス臣等肅ミテ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議以テ國民ノ至誠ヲ表シ奉ラムコトヲ期ス衆議院議長 臣奥繁三郎誠惶誠恐謹ミテ奏ス

第三十三回(臨時)議會開院式勅語

(大正三年六月二十二日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シ海軍軍備補充ニ必要ナル大正三年度追加豫算案ヲ提出セシム卿等慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答

(大正三年六月二十二日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ臨時帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス

臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣奥繁三郎誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十四回(臨時)議會開院式勅語

(大正三年九月四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 歐洲戰亂ノ殃禍今ヤ東洋ニ波及シ朕ハ東洋永遠ノ平和ヲ保持セムカ爲終ニ獨逸國ニ對シ戰ヲ宣ス  
 ルノ已ムヲ得サルニ至レリ  
 朕ハ帝國臣民カ義勇克ク公ニ奉シ一致和協速ニ交戰ノ目的ヲ達シ以テ國光ヲ宣揚セムコトヲ期ス  
 朕ハ國務大臣ニ命シテ時局ニ關シ特ニ緊急ナル豫算案及法律案ヲ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體  
 シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年九月四日議決)

恭ク惟ニ

天皇陛下茲ニ臨時帝國議會ヲ召集シ  
 車駕親臨開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等肅ミテ 敬慮ヲ奉  
 體シ慎重審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ上  
 陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣奧繁三郎誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十五回議會開院式勅語 (大正三年十二月七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 帝國ト締盟列國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ英國トノ同盟及佛露兩國トノ協商ハ今次ノ危局ニ際シ  
 愈々其ノ鞏固ナルコトヲ昭ニシタリ朕深ク之ヲ欣フ  
 朕カ外征ノ師ハ聯合國軍ト共ニ敵ノ勢力ヲ摧キ東洋爲ニ漸ク其ノ安ヲ保タムトス然レトモ戰局猶  
 未タ收マラス朕ハ臣民ノ忠誠ニ倚信シ速ニ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス  
 朕ハ國務大臣ニ命シテ更ニ行政及財政ノ整理ヲ爲シ時勢ノ必要ニ應スル諸般ノ經畫ヲ定メシメ大  
 正四年度及臨時事件費ノ豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ帝國議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ  
 體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正三年十二月七日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十六回(特別)議會開院式勅語 (大正四年五月二十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 朕ハ國務大臣ニ命シ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和  
 衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正四年五月二十日議決)ハ第三十三回議會ニ同シ

第三十七回議會開院式勅語 (大正四年十二月一日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ニシテ英國トノ同盟及佛露兩國トノ協商ハ其ノ基礎愈々鞏固ナ  
リ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正五年度ノ豫算案及各般ノ法律案ヲ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意  
ヲ體シ和衷協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正四年十二月一日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ第三十七回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ  
勝ヘス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣 島田三郎 誠恐誠惶謹テ奏ス

第三十八回議會開院式勅語 (大正五年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ニシテ英國トノ同盟並佛國トノ協約ハ愈々鞏固ヲ加ヘ今次新ニ  
露國ト協約ヲ重ネタリ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メ大正六年度豫算案及法律案ヲ帝國  
議會ニ提出セシム卿等克ク時局ニ鑑ミ和衷審議以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (大正五年十二月二十七日議決)ハ第三十七回議會ニ同シ

第三十九回(特別)議會開院式勅語 (大正六年六月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク時局ニ鑑ミ  
和衷審議以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (大正六年六月二十三日議決)ハ第三十七回議會ニ同シ

第四十回議會開院式勅語 (大正六年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ歐洲戰況ノ益、重大ナルニ鑑ミ努メテ聯合列強トノ協調ヲ鞏ウシ同盟履信ノ實ヲ舉ケ以テ東

洋ノ和平ヲ保全シ終局ノ目的ヲ達セムコトヲ期ス

朕ハ此ノ時ニ當リ國務大臣ニ命シテ國防ノ充實其ノ他國運ノ伸張ニ必要ナル諸般ノ計畫ヲ定メシ

メ大正七年度豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭シ朕カ望ム

所ニ副ヘヨ

右勅語ニ對スル奉答 (大正六年十二月二十七日議決)ハ第三十七回議會ニ同シ

第四十一回議會開院式勅語 (大正七年十二月二十七日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ今次ノ戰局ハ聯盟國ノ大捷ヲ以テ終結ヲ告ケムトス朕

深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正八年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意

ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正七年十二月二十七日議決)

恭ク惟ニ

陛下茲ニ第四十一回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス今

ヤ世界平和ノ曙光ヲ認メ帝國ノ任益、重ヲ加フ臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議上

陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣大岡育造誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十二回議會開院式勅語 (大正八年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益、親厚ヲ加ヘ平和ノ協定其ノ成ヲ見ムトス朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正九年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正八年十二月二十六日議決)

恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十二回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス今ヤ世界ノ平和將ニ成ラムトス帝國ノ任益々重ヲ加フ臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議上陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣大岡育造誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十三回(特別)議會開院式勅語 (大正九年七月一日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正九年七月一日議決)

恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十三回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣奧繁三郎誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十四回議會開院式勅語 (大正九年十二月二十七日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正九年十二月二十七日議決)ハ第四十三回議會ニ同シ

第四十五回議會開院式勅語 (大正十年十二月二十六日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ華盛頓會議モ亦將ニ其ノ成果ヲ見ムトス朕深ク之ヲ欣

フ  
今ヤ帝國ハ外列強ニ伍シテ負荷重キヲ加ヘ内文運ノ伸暢ニ伴ヒ時務愈々滋カラムトス朕ハ忠良ナル臣民ノ協力ニ倚藉シ以テ國勢隆昌ノ實ヲ舉ケ世界平和ノ確立ト文化ノ進展トニ資セムコトヲ期ス

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十一年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

### 右勅語ニ對スル奉答 (大正十年十二月二十六日議決)

恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十五回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ攝政殿下台臨優渥ナル聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長臣奧繁三郎誠恐誠惶謹テ奏ス

### 第四十六回議會開院式勅語 (大正十一年十二月二十七日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十二年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

### 右勅語ニ對スル奉答 (大正十一年十二月二十七日議決)ハ第四十三回議會ニ同シ

### 第四十七回(臨時)議會開院式勅語 (大正十二年十二月十一日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

今次ノ變災ニ當リ官民一致賑恤救護ニ勉メ同胞共存ノ精神ヲ發揮シタルハ朕深ク之ヲ欣フ此時ニ際シ字内ノ友邦亦咸我國民ニ救援ノ至情ヲ寄セタルハ朕ノ特ニ銘記スル所ナリ

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

### 右勅語ニ對スル奉答 (大正十二年十二月十一日議決)



恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十七回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ 攝政殿下台臨優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス今次ノ變災ハ眞ニ曠古ノ殃禍ニシテ罔極ノ損失タリ

陛下深ク此ニ軫念アラセラレ惠撫愛恤範ヲ垂レ訓ヲ弘メ民心ヲシテ嚮フ所ヲ知ラシメタマフ臣等

謹テ 聖旨ヲ奉體シ慎重審議協贊シテ災後ニ善處シ上

陛下ノ隆恩ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣 柏谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十八回議會開院式勅語 (大正十二年十二月二十七日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十三年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十二年十二月二十七日議決)

恭ク惟ニ

陛下玆ニ第四十八回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ 攝政殿下台臨優渥ナル 聖詔ヲ賜フ

臣等感激ノ至ニ勝ヘス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣 柏谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス

第四十九回(特別)議會開院式勅語 (大正十三年六月二十八日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十三年六月二十八日議決)ハ第四十八回議會ニ同シ

第五十回議會開院式勅語 (大正十三年十二月二十六日)

朕玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十四年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ

意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十三年十二月二十六日議決)ハ第四十八回議會ニ同シ

第五十一回議會開院式勅語 (大正十四年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ大正十五年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ  
意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (大正十四年十二月二十六日議決)ハ第四十八回議會ニ同シ

第五十二回議會開院式勅語 (昭和二年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕遽ニ大喪ニ遭ヒ新ニ大統ヲ嗣ク迺チ皇祖考ノ遺業ヲ顯揚シ皇考ノ遺圖ヲ順承シ以テ祖宗ノ宏謨

ヲ繼述センコトヲ期ス

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和二年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意  
ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和二年十二月二十六日議決)

衆議院議長 臣 粕谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス恭ク惟ニ

大行天皇奄ニ崩御アラセラレ 臣等哀悼悲痛措ク所ヲ知ラス

陛下天縱睿明允文允武新ニ大統ヲ承ケサセタマヒ茲ニ第五十二回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥  
ナル 聖詔ヲ賜フ宏謨深遠寔ニ感激ノ至ニ勝ヘス 臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣 粕谷義三 誠恐誠惶謹テ奏ス

第五十三回(臨時)議會開院式勅語 (昭和二年五月四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ財界ノ現況ニ鑑ミ國務大臣ニ命シテ之カ安定ニ關シ特ニ緊急ナル法律案ヲ提出セシム卿等慎

重審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和二年五月四日議決)

恭ク惟ニ

車駕親臨シテ茲ニ臨時帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス

臣等肅テ 叙慮ヲ奉體シ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣森田茂誠恐誠惶謹テ奏ス

第五十四回議會開院式勅語 (昭和二年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加ヘ朕深ク之ヲ欣フ

即位ノ禮及大嘗祭ハ昭和三年ニ於テ之ヲ行ヒ忠良ナル臣民ト其ノ慶福ヲ共ニセムコトヲ庶幾フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和三年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和二年十二月二十六日議決)ハ第三十七回議會ニ同シ

第五十五回(特別)議會開院式勅語 (昭和三年四月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム世運ノ進趨ニ願ミ卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和三年四月二十三日議決)

恭ク惟ルニ

車駕親臨シテ茲ニ第五十五回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ

勝ヘス 臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上

陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣元田肇誠恐誠惶謹テ奏ス

第五十六回議會開院式勅語 (昭和三年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
 朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和四年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意  
 ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和三年十二月二十六日議決)ハ第五十五回議會ニ同シ

第五十七回議會開院式勅語 (昭和四年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
 朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和五年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意  
 ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和四年十二月二十六日議決)ハ第五十五回議會ニ同シ

第五十八回(特別)議會開院式勅語 (昭和五年四月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體  
 シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和五年四月二十三日議決)ハ第五十五回議會ニ同シ

第五十九回議會開院式勅語 (昭和五年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
 帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
 朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和六年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意  
 ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和五年十二月二十六日議決)ハ第五十五回議會ニ同シ

第六十回議會開院式勅語 (昭和六年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和七年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意  
ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和六年十二月二十六日議決)ハ第五十五回議會ニ同シ

第六十一回(臨時)議會開院式勅語 (昭和七年三月二十日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ國務大臣ニ命シテ時局ニ關シ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク  
朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和七年三月二十日議決)

恭ク惟ルニ

車駕親臨シテ茲ニ臨時帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケ優渥ナル 聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス  
今ヤ時局多端ニ際ス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上  
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬ムコトヲ期ス衆議院議長 臣秋田清誠恐誠惶謹テ奏ス

第六十二回(臨時)議會開院式勅語 (昭和七年六月一日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體  
シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和七年六月一日議決)

恭シク惟ルニ

車駕親臨シテ茲ニ第六十二回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ優渥ナル 勅語ヲ賜フ臣等感  
激ノ至ニ勝ヘス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上  
陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス衆議院議長 臣秋田清誠恐誠惶謹ミテ奏ス

第六十三回(臨時)議會開院式勅語 (昭和七年八月二十三日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體  
シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和七年八月二十三日議決)

恭シク惟ルニ

車駕親臨シテ茲ニ第六十三回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ優渥ナル 勅語ヲ賜フ臣等感  
激ノ至ニ勝ヘス臣等時局ニ鑑ミ慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上  
陛下ノ聖旨ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス衆議院議長 臣秋田清誠恐誠惶謹ミテ奏ス

第六十四回議會開院式勅語 (昭和七年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和八年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意  
ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和七年十二月二十六日議決)

恭シク惟ルニ

車駕親臨シテ茲ニ第六十四回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ優渥ナル 勅語ヲ賜フ臣等感  
激ノ至ニ勝ヘス臣等慎重審議協贊ノ任ヲ竭シ上  
陛下ノ聖旨ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス衆議院議長 臣秋田清誠恐誠惶謹ミテ奏ス

第六十五回議會開院式勅語 (昭和八年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和九年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意  
ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和八年十二月二十六日議決)ハ第六十四回議會ニ同シ

第六十六回(臨時)議會開院式勅語 (昭和九年十一月二十八日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
朕ハ國務大臣ニ命シテ緊急ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體  
シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和九年十一月二十八日議決)ハ第六十四回議會ニ同シ

第六十七回議會開院式勅語 (昭和九年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和十年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意  
ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和九年十二月二十六日議決)ハ第六十四回議會ニ同シ

第六十八回議會開院式勅語 (昭和十年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和十一年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ  
意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

右勅語ニ對スル奉答 (昭和十年十二月二十六日議決)ハ第六十四回議會ニ同シ

第六十九回(特別)議會開院式勅語 (昭和十一年五月四日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク  
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣フ  
今次東京ニ起レル事件ハ朕カ憾トスル所ナリ我カ忠良ナル臣民朝野和協文武一致力ヲ國運ノ進暢

ニ效サムコトヲ期セヨ

朕ハ國務大臣ニ命シテ緊要ナル追加豫算案及法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

### 右勅語ニ對スル奉答 (昭和十一年五月四日議決)

恭シク惟ルニ

車駕親臨シテ茲ニ第六十九回帝國議會開院ノ盛式ヲ舉ケサセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等感激ノ至ニ勝ヘス今ヤ内外極メテ多事經紀實ニ容易ナラス此ノ時ニ際リ都下ノ變アリ畏クモ宸襟ヲ惱シ奉ル臣等恐懼措ク所ヲ知ラス

陛下臣等ニ諭スニ朝野和協文武一致力ヲ國運ノ進暢ニ效サムコトヲ以テシタマフ臣等謹ミテ聖旨ヲ奉體シ慎重審議協贊ノ任ヲ完ウシ上

陛下ノ聖明ニ對ヘ奉リ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ誓フ衆議院議長臣富田幸次郎誠恐誠惶謹ミテ奏ス

### 第七十回議會開院式勅語 (昭和十一年十二月二十六日)

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之ヲ欣ブ

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和十二年度豫算案及各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

### 右勅語ニ對スル奉答 (昭和十一年十二月二十六日議決)ハ第六十四回議會ニ同シ

(奉答書ハ議長病氣ノ爲副議長ノ名ヲ以テス)



## 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰

(附 建議ニ對スル勅語)

### (一) 議會會期延長ノ上奏

第一回議會 (明治二十四年二月二十四日議決)

帝國議會開會以來既ニ八十有餘日 臣等精勵勤勉事ニ茲ニ從フト 雖事創始ニ屬シ 議事整理等ノ爲メ 幾多ノ日子ヲ費ヤシ 又議院燒失ノ災ニ罹リ 定期ノ日數ニ不足ヲ來タシ 殊ニ尙ホ議スヘキ議案積テ堆ヲ爲セリ 仰キ願クハ相當ノ日數延長ノ令ヲ下シ 賜ハラントテ 誠恐誠懼謹テ奏ス

### (二) 國事犯特赦ノ上奏

第一回議會 (明治二十四年三月七日議決)

我輩聖文武ナル 天皇陛下ハ夙ニ王政維新ノ大業ヲ舉ケ 親ラ文武百官ヲ統率シ 僅々二十年ノ歲月ヲ以テ 立憲代議ノ新制ヲ立テラレシハ 各國ノ歴史ニ於テ 未タ曾テ見サル所ナリ 而シテ 曩キニ大典ノ發布セラル、ヤ 凡ソ國事犯罪ハ皆大赦ノ恩ニ沾フヲ得 天下ノ人士皆聖德ノ洪大ナルヲ讚美シ 天

恩ノ優渥ナルニ感泣セサル莫シ然リ而シテ現時幾多ノ罪囚中立憲政體ノ設立ヲ願望シ熱心ノ極誤ヲ刑律ニ觸レ常事犯ノ附帶セルカ爲メ若クハ其行爲ノ全ク尋常犯罪ニ類シタルカ爲メ未タ赦免ノ典ニ與ルコトヲ得サル者少カラス今ヤ代議制度實施ノ盛運ニ際會セリ 陛下深仁深慈願クハ有司ニ勅シ其罪犯ヲ審査セシメ其心事ノ最モ憐ムヘキモノハ特ニ赦宥ヲ賜ヒ彼輩ヲシテ再ヒ青天白日ノ身トナリ順ニ歸シ正ニ就キ感激シテ以テ忠君愛國ノ務ヲ盡スコトヲ得セシメラレンコトヲ誠惶誠懼謹テ奏ス

### (三) 内閣不信任ノ上奏並詔勅、奉答

第四回議會 (明治二十六年二月七日議決)

衆議院議長 臣星亨 本院ノ決議ヲ具シ謹テ奏ス伏シテ惟レハ

天皇陛下經文緯武丕ニ中興ノ昌運ヲ啓キ參天貳地始メテ立憲ノ大典ヲ定メ特ニ上下一心和衷協同

懿訓ヲ垂レサセタマヒ

天恩徧ク覆ヒ

皇澤洽ク潤ヒ海内ノ臣民孰レカ感激シテ以テ報效ヲ圖ラサラム 臣等竊ニ惟レハ立憲ノ要ハ上下

心ヲ一ニシ以テ大政ヲ翼賛スルニ在リ是故ニ立法行政各部ノ期スル所相與ニ赤誠ヲ披瀝シ以テ和衷協同ノ實ヲ舉ルヨリ重且ツ大ナルハナシ然ルニ議會創開以來立法行政ノ兩部常ニ調和ヲ失ヒ百揆滯礙シ庶績否塞シ終ニ世局ノ進運ニ隨ヒ革新改善ノ效ヲ收ムル能ハス是レ臣等ノ精誠未タ貫徹セサルニ因ルト雖抑、内閣大臣其ノ職ヲ盡サ、ルノ致ス所ナリ 臣等政費ヲ削減シ用度ヲ裁節セムト欲スルハ政府過大ノ弊ヲ矯メ民力休養ノ事ヲ行ハムカ爲メニシテ即チ第一期議會以來終始一貫敢テ淪ルコトナシ本院茲ニ明治二十六年年度豫算案ヲ議スルニ當リ反覆審查深ク國力ノ消長ヲ慮リ詳カニ事務ノ緩急ヲ察シ以テ歲出ヲ節省シ憲法第六十七條ノ規定ニ係ル歲出ハ本條ニ遵由シテ再三政府ノ同意ヲ求メタリ然ルニ政府ハ漫ニ不同意ヲ表シ而シテ其ノ理由及費途ヲ條舉說明セサルノミナラス錢厘ノ微ト雖削減スヘカラスト斷言セリ是ニ於テ本院ハ休會五日以テ政府ノ反省ヲ求ムト雖政府ハ猶ホ前說ヲ固執シ敢テ省ミス夫レ憲法第六十七條範圍内ノ歲出ニ關シ政府ノ不同意ヲ表スルニ當テハ其ノ款項ヲ條舉シ其ノ理由ヲ明示スルハ立憲國大臣ノ德義ニシテ和衷協同ノ道モ亦此ニ在リ然ルニ内閣ノ舉措此ニ出テス是レ臣等ノ甚タ痛歎スル所ナリ 又軍艦製造費ニ關シ曰ク議會ハ之ヲ否決セシト雖政府ハ憲法ノ許ス範圍内ニ於テ斷乎トシテ其ノ計畫スル所ヲ徹底スル道ヲ求メサルヘカラスト 臣等其ノ言ノ不經ナルヲ異ミ直ニ其ノ説明ヲ求ムト雖答ヘス是レ大臣タル者ノ爲スヘキ所ナラム

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰

(三)

ヤ臣等昧死敢テ

天威ヲ冒シ

宸聽ヲ煩シ奉ルハ豈ニ臣等ノ素志ナラムヤ誠ニ止ムヲ得サレハナリ蓋シ政府議會比年相賤キ官民相軋ル所以ハ其ノ由テ來ル既ニ久シ今ニ於テ積弊ヲ除キ立憲政治ノ實效ヲ奏セスムハ國家ノ事爲メニ廢弛セムトス夫レ政費國力相伴ヒ上一途ノ方針ニ據リ内ニ以テ國運ヲ隆興シ外ハ以テ國威ヲ宣揚スルハ實ニ方今ノ急務ナリ臣等民心ノアル所ヲ表明スト雖内閣ハ之ヲ峻拒シ臣等ヲシテ協贊ノ任ヲ全フスルヲ得サラシム是レ財政ヲ調理シ國家ヲ經綸スル所以ノ道ニアラス臣等此ノ如キ内閣ト竝立チ上ハ

聖意ヲ奉體シ下ハ民意ヲ暢達スル能ハサラムコトヲ是レ恐レ伏テ願クハ

陛下特ニ

勅鑒ヲ垂レタマハムコトヲ臣等誠恐誠惶謹ミ奏ス

右上奏ニ對スル勅語 (一) (明治二十六年二月八日)

朕能ク熟覽シ置ク

右上奏ニ對スル詔勅 (二) (明治二十六年二月十日)

在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告ク

古者皇祖國ヲ肇ムルノ初ニ當リ六合ヲ兼テ八紘ヲ掩フノ詔アリ朕既ニ大權ヲ總攬シ藩邦ノ制ヲ廢シ文武ノ政ヲ革メ又宇内ノ大勢ヲ察シ開國ノ國是ヲ定ム爾來二十有餘年百揆ノ施設一ニ皆祖宗ノ遠猷ニ率由シ以テ臣民ノ康福ヲ増シ國家ノ隆昌ヲ圖ラムトスルニ外ナラス朕又議會ヲ開キ公儀ヲ盡シ以テ大業ヲ翼贊セシメムコトヲ期シタリ而シテ憲法ノ施行方ニ初步ニ屬ス始テ慎ミ終テ克クシ端ヲ今日ニ正シ大成ヲ將來ニ期セサルヘカラス願ルニ宇内列國ノ進勢ハ日一日ヨリ急ナリ今ノ時ニ當リ紛爭日ヲ曠クシ遂ニ大計ヲ遺レ以テ國運進張ノ機ヲ誤ルカ如キコトアラハ朕カ祖宗ノ威靈ニ奉對スルノ志ニ非ス又立憲ノ美果ヲ收ムルノ道ニ非サルナリ朕ハ在廷ノ臣僚ニ信任シテ其ノ大事ヲ終始セムコトヲ欲シ又人民ノ選良ニ倚藉シテ朕カ日夕憂虞ヲ分ツコトヲ疑ハサルナリ

憲法第六十七條ニ掲ケタル費目ハ既ニ正文ノ保障スル所ニ屬シ今ニ於テ紛議ノ因タルヘカラス但シ朕ハ特ニ閣臣ニ命シ行政各般ノ整理ハ其ノ必要ニ從ヒ徐ロニ審議熟計シテ遺算ナキヲ期シ朕カ裁定ヲ仰カシム

國家軍防ノ事ニ至テハ苟モ一日ヲ緩クスルトキハ或ハ百年ノ悔ヲ遺サム朕茲ニ内廷ノ費ヲ省キ六年ノ間毎歲參拾萬圓ヲ下付シ又文武ノ官僚ニ命シ特別ノ情狀アル者ヲ除ク外同年月間其ノ俸給十分一ヲ納レ以テ製艦費ノ補足ニ充テシム  
朕ハ閣臣ト議會トニ倚リ立憲ノ機關トシ其ノ各權域ヲ慎ミ和衷ノ道ニ由リ以テ朕カ大事ヲ輔翼シ有終ノ美ヲ成サムコトヲ望ム

右詔勅ニ對スル奉答 (明治二十六年二月十三日)

恭シク惟ニ

陛下聖徳天覆地載茲ニ優渥ナル 聖詔ヲ賜ヘリ臣等恐懼ノ至ニ堪ヘス臣等謹テ 聖旨ヲ奉體シ和衷協同益心力ヲ盡シ以テ大業補翼ノ任ヲ完クシ以テ  
陛下ノ隆恩ニ奉對セントス衆議院議長 臣星亨誠恐誠惶謹テ奏ス

右奉答ニ對スル勅語 (宮内大臣ノ口達)(明治二十六年二月十三日)

本日ノ奉答ハ満足ニ思召ス

(四) 條約改正ノ上奏

第四回議會 (明治二十六年二月十五日議決)

衆議院議長 臣星亨誠恐誠惶頓首謹テ

叙聖文武天皇陛下ニ上奏ス臣等

立憲ノ聖世ニ生レ人民ノ推選ニ由リ叨ニ乏ヲ大猷贊畫ノ鴻任ニ承ク豈鞠躬盡瘁

陛下ノ聖明ニ答ヘ人民ノ付託ニ副フコトヲ期セサラムヤ伏シテ惟ルニ

皇祖國ヲ闢キ統ヲ垂レタマヒシヨリ茲ニ二千五百有餘年

天子聖明臣民忠勇以テ内ヲ綏撫シ以テ外ヲ懷柔シ國威煌耀未タ曾テ汚瀆セサルナリ降テ嘉永安政

ノ間ニ至リ幕府政ヲ失シ海内鼎沸復國是ノ歸向スル所ナシ而シテ列國此ノ隙ニ乘シ我ニ逼リテ

非理ノ條約ヲ締結セシム

陛下聖明ノ徳ヲ以テ此ノ間ニ登祚シ深ク皇道ノ陵夷紀綱ノ壞頽ヲ赫怒シタマヒ錦旗一タヒ動テ宏

規維レ新ニ洪模維レ革ル然レトモ獨リ非理ノ條約ハ未タ更革スル所ナクシテ法權彼ニ及ハス稅

權我ニ復ラス國權ノ冒蝕焉ヨリ大ナルハ莫シ臣等思フテ茲ニ至ル毎ニ未タ曾テ慷慨痛哭セス

ムハアラス蓋シ治外法權ノ撤去セサル海關稅權ノ回復セサル一ハ即チ彼ノ我ニ在ル者ヲシテ我

法度ノ外ニ立タシメ我ノ彼ニ在ル者ヲシテ彼カ法度ノ中ニ服セシメ一ハ則チ彼ノ我ニ輸スルモノヲシテ我稅權ヲ制セシメ我ノ彼ニ輸スルモノヲシテ彼ノ稅權ニ屈セシム是ヲ以テ法網痿痺シ外人侵凌シ商工萎靡シ民力凋瀆シ終ニ拯フ可カラサラムトス之ヲ要スルニ當時上下恬熙有司盲昧宇内ノ情勢ニ通セサルノ尤ニ坐セスムハアラス是レ國民ヲ擧テ寸時モ條約改正ヲ忘ル能ハサラシムル所以ナリ

陛下ノ至聖至明ナル夙ニ茲ニ察スル所アリ明治四年全權大使ヲ歐米各國ニ派シ條約改正ヲ議セシメタマフ爾來二十有餘年在廷ノ有司ニ勅シ銳意勵精事ニ茲ニ從ハシメ曾テ之ヲ忽諸ニ付セサルナリ而シテ有司屢蹉跌シテ未タ

陛下ノ軫念ヲ安セサル所以ノモノハ廣ク之ヲ國論ニ詢ハサルノ致ス所ナリ臣等竊ニ列國ニ觀ルニ國交ノ事ハ國論ニ決シ廷臣ノ專行ヲ許ササルナリ我國何ソ獨リ然ラサラム惟フニ有司ヲシテ曩ニ此ニ慮ル所アラシメハ條約改正ノ事或ハ肅斧ヲ揮テ朝菌ヲ斬ルノ快アラム何ソ復今日ノ議アルヲ要セムヤ夫レ條約ノ締結ハ

陛下大權ノ存スル所臣等敢テ濫ニ議ス可キニアラス然レトモ

陛下已ニ萬機公論ニ決シ盛ニ經綸ヲ行フヲ以テ天神地祇ニ誓フ則チ國民ノ心ヲ以テ心ト爲シタマヘリ臣等誠惶頓首謹テ衆議院ノ公議國民ノ輿論ヲ

聖聽ニ達セム曰治外法權ノ撤去海關稅權ノ回復沿岸貿易ノ禁止國家ノ法律ニ屬スヘキ事件ノ拒絕等ニシテ對等條約ノ締結是ナリ

陛下聖德宏大覆載容レサセタマハサル所ナシ伏シテ冀クハ輿論ノ在ル所ヲ採納セラレムコトヲ臣星亨誠恐誠惶頓首頓首謹テ上奏ス

### (五) 選舉干涉ニ關スル上奏

第四回議會 (明治二十六年二月二十八日議決)

衆議院議長 臣星亨 茲ニ衆議院ノ決議ヲ具シ謹ミ奏ス伏シテ惟ルニ

叙聖文武天皇陛下龍飛ノ德ヲ以テ大ニ乾綱ヲ張り憲法ヲ布キ議會ヲ設ケ代議政體ノ基ヲ開キタマヘリ其ノ盛德大業ハ臣民ノ仰瞻スル所ナリ臣等第三期帝國議會ニ於テ内閣ニ對シ選舉干涉ノ非ヲ論シ官吏其ノ職權ヲ濫用シ選舉權ヲ侵犯シタル事實ヲ認メ國務大臣ハ宜ク反省シテ其ノ責ニ任シ自ラ處決スル所アルヘキコトヲ決議セリ然ルニ内閣ハ改悛ニ銳意セス治務猶舊ニ仍リ民政ノ紊亂未タ理セス府縣會ノ紛擾荐リニ起リ官民反目ノ蹟ヲ存シ地方自治ノ制ヲ淆リ其ノ餘毒流レテ今ニ至リ物論沸騰人心恟々タリ抑々立憲ノ昭代ニ在リ輔弼ノ任ニ當ル國務大臣ハ決シテ其ノ責ヲ免ルルコト能ハサルヘシ既ニ内閣ハ本期議會ノ初ニ於テ施政ノ方針ヲ公

示シ乃憲法ノ條章ニ遵由シ行政百般ノ機關ヲシテ憲法的動作ヲ爲サシメ以テ益、其ノ改善ヲ圖リ上ハ 宏謨ヲ遵奉シテ國家ノ基礎ヲ鞏固ニシ下ハ人民ノ權理ヲ保全シ其ノ慶福ヲ増進セシムルコトヲ誓言セリ

陛下辱クモ 大詔ヲ降シ弊政ヲ釐革シ紀綱ヲ振肅セムコトヲ命セラル臣等謹テ按スルニ選舉干渉ノ事タルヤ立憲ノ大綱ヲ紊リ國家ノ慶福ヲ妨クルモノナリ乃政務ノ改善ヲ圖リ詔旨ニ率由セムト欲セハ最先ツ此等ノ處分ヲ爲サ、ルヘカラス今敢テ內閣ニ向テ夫ノ干涉ヲ事前ニ防遏セサルヲ追咎スルニアラス其ノ善後ノ責任ヲ正言スルナリ然ルニ內閣ハ口ヲ既往ニ止テ其ノ責ヲ逃レムトス是レ

陛下ノ鈞命ヲ遵奉シ 皇猷ヲ恢弘スル所以ノ道ニアラサルナリ臣等國民ヲ代表スルノ職ニ居リ

義默止スルニ忍ヒス茲ニ民意ヲ條陳シ謹テ

聖裁ヲ仰キ奉ルモノ萬止ムヲ得サレハナリ仰キ願クハ

陛下敍斷ヲ垂レ國務大臣ヲシテ其ノ職ヲ盡サシメ而シテ非行ノ官吏ヲ戒飭シ大ニ民政ヲ更張セラレムコトヲ 臣等誠惶誠恐謹ミ奏ス

(六) 議長星亨不信任ノ上奏並勅問、奉答

第五回議會 (明治二十六年十二月一日議決)

衆議院副議長 臣楠本正隆誠惶誠恐本院ノ決議ヲ具シ謹ミ

奏ス本院ハ衆議院議長星亨ニ信任ヲ措ク能ハス故ニ其職ニ在ルヲ欲セスト決議ス臣等曩ニ議

院法第三條ニ據リ星亨ヲ薦

奏シ

勅任ヲ辱フス是レ臣等不明ノ致ス所誤テ

天聽ヲ冒瀆ス惶懼ノ至ニ堪ヘス謹ミ

奏ス

右上奏ニ對スル勅問 (明治二十六年十二月二日)

上奏ノ趣旨ハ

朕ニ議長ヲ更任セヨト請願スルニ在ル乎

議院自ラ不明ナリシトノ過失ヲ朕ニ對シ謝スルト言ニ止乎  
更ニ院議ヲ盡セ

右勅問ニ對スル奉答 (明治二十六年十二月二日議決)

衆議院副議長 臣楠本正隆謹ミ

奏ス本日

上奏スル所臣等不明ノ過失ヲ謝シ奉ルニ在リ行文函答爲ニ

勅問ヲ賜フ臣等惶懼ノ至ニ堪ヘス謹ミ

奏ス

(七) 官紀振肅ノ上奏

第五回議會 (明治二十六年十二月四日議決)

衆議院副議長 臣楠本正隆謹ミ

奏ス伏惟レハ

陛下忠孝ヲ以テ億兆ヲ率キ廉節ヲ以テ群臣ヲ御シ三綱因テ張り四維因テ立ツ古聖王ノ治ト雖モ何

ヲ以テ之ニ尙ヘムヤ任ニ輔弼ニ當ル者宜シク風紀ヲ嚴ニシ内行ヲ肅ミ以テ

陛下聖明ノ治ニ奉答スヘキ也今ヤ我邦

陛下ノ盛徳ニ頼リ國民以テ安シト雖モ宇内ノ形勢ハ敢テ臣庶ノ懈惰疎慢ヲ許サス閣臣タル者宜シ

ク日夜惴々トシテ敢テ寢食ヲ安セス或ハ民心ヲ失ヒ以テ

陛下ノ至治ニ負カムコトヲ是レ懼ルヘキノ秋ナリ然ルニ閣臣自ラ誠メス漫ニ臨ムヘカラサルノ

席ニ臨ミ會スヘカラサルノ人ニ會シ饗譙ヲ享ケ其官僚ヲシテ贈遺ヲ容レシメ醜聞道塗ニ盈チ

惡聲街巷ニ喧シ政府ノ威嚴行ハレス宰臣ノ信用地ニ墜チタリ今ニシテ之ヲ正サスムハ臣等恐

クハ上

陛下ノ盛徳ヲ累ハシ下衆庶ノ離心ヲ致サムコトヲ臣等願クハ

陛下聖斷以テ閣臣ノ不肅ヲ誠メ給ハムコトヲ臣楠本正隆誠恐誠惶謹ミ

奏ス

(八) 内閣ノ行爲ニ對シ本院ノ意思ヲ表明スル上奏竝御沙汰

第六回(特別)議會 (明治二十七年五月三十一日議決)

衆議院議長 臣楠本正隆誠恐誠惶謹ミ奏ス

竊聖文武天皇陛下登 極ノ首メ五事ノ誓文ヲ下シ明カニ億兆ニ示シタマヒ上下心ヲ一ニシ盛ニ經

綸ヲ行ハシム 大詔ノ嚴ナル屹トシテ山嶽ノ如ク

附 錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (七、八)

天恩ノ厚キ穆トシテ春風ニ似タリ臣等瞻仰景從日夜孳々トシテ 盛徳ヲ翼贊シ 鴻旨ニ奉答セムト欲スルモノ年已ニ久シ然ルニ比年閣臣其施設ヲ誤リ内治外交共ニ其職責ヲ失シ動モスレハ即チ果ヲ 帝室ニ及ホスニ至ル曩ニ第四期帝國議會ニ方リ閣臣ノ見ト臣等ノ議ト相觸レ臣等内閣ト竝ヒ立ツ能ハス謹テ上奏以テ罪ヲ待ツ

陛下畏クモ誓文ノ意ニ基カセラレ 大詔ヲ下シ在廷ノ臣僚及帝國議會ノ各員ニ告ケ和協ノ道ニ由リ以テ大事ヲ補翼シ有終ノ美ヲ成サムコトヲ望ミ特ニ閣臣ニ命スルニ行政各般ノ整理ヲ以テシタマヘリ國務大臣モ亦隆渥ノ

聖旨ヲ奉シ第五期帝國議會ヲ期シ政綱ヲ振厲シ政費ヲ節減シ海軍ヲ釐革セムコトヲ誓ヘリ是ニ於テカ舉國ノ民

陛下カ輿論ヲ嘉納シタマフヲ聽キ額手シテ第五期帝國議會ヲ俟チ來蘇ノ慶アラムコトヲ翹望セリ然ルニ閣臣ノ經營一時ヲ彌縫スルニ止マリ政綱未タ振厲セス海軍未タ釐革セス惟僅ニ費途ヲ節シ吏員ヲ沙汰シ以テ大事ヲ模稜スルニ過キス特ニ外政ニ至テハ偷安姑息唯外人ノ歡心ヲ失ハムコトヲ是レ畏レ内外親疎輕重ノ辨別ヲ顛倒スルニ至ル是レ臣等カ偏ヘニ聖旨ニ背戾セムコトヲ恐レ戰兢自ラ安スル能ハサル所以ナリ臣等區々ノ微衷恭ク 大詔ニ遵ヒ努メテ經綸ヲ畫シ至誠以テ

天意ニ奉答セムト欲スト雖閣臣常ニ和協ノ道ニ背キ臣等ヲシテ 大政翼贊ノ重責ヲ全フスル能ハサラシム此ヲ以テ臣等閣臣ニ信ヲ置ク能ハサルナリ今ニシテ之ヲ匡正セスムハ臣等竊ニ恐ル憲政内ニ紊亂シ國威外ニ失墜セムコトヲ是レ臣等カ默セムト欲シテ默スル能ハス敢テ赤心ヲ披瀝シ 閣下ニ陳奏スル所以ナリ仰キ願クハ

陛下天地覆載ノ恩ヲ敷キ日月ノ照鑒ヲ垂レタマハムコトヲ衆議院議長臣楠本正隆誠惶誠恐謹ミ奏ス

右上奏ニ對スル御沙汰 (宮内大臣ノ口達)(明治二十七年六月二日)

衆議院ノ上奏ハ御採用ニ相成ラス上奏ニ對セラレテハ別段書面ヲ以テ勅答アラセラレス

### (九) 日清事件ニ關スル上奏

第七回(臨時)議會 (明治二十七年十月二十一日議決)

衆議院議長臣楠本正隆本院ノ決議ヲ具シ誠惶誠恐謹テ奏ス伏テ惟ニ

天皇陛下神聖英武清國ノ兇暴ヲ赫怒シテ征討ノ師ヲ興シ

皇祖

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (九)



皇宗ノ遺烈ヲ紹キ親シク大謙ヲ進メ親シク戎事ヲ裁シ旰食宵衣ノ勞ヲ執ラセ給フ是ニ於テ民心益奮ヒ兵氣倍張リ我カ帝國ノ光輝ヲ宇内ニ發揚ス中外孰レカ皇威ヲ仰カサルモノアランヤ臣等景仰感激ノ至リニ堪ヘス謹テ奏ス

第八回議會 (明治二十八年三月二十日議決)

衆議院議長 臣楠本正隆本院ノ決議ヲ具シ誠恐誠惶謹ミ奏ス

伏テ惟ルニ

陛下嚮キニ六師ヲ整ヘ大猷ヲ進メ給ヒシヨリ烈暑祁寒艱苦ヲ士卒ニ同クシ以テ軍國ノ機務ヲ親裁シ給フ前後一日ノ如シ

列聖ノ威靈

陛下ノ神武ニ頼リ民心内ニ奮ヒ兵氣外ニ震フ 皇師ノ向フ所雷擊電掣水陸風靡ス今ヤ陸海各軍愈々其歩ヲ進メ第二期作戰ヲ開始スヘキヲ勅シ給ヘリ中外孰レカ

聖意ノ遠大ナルヲ欽仰セサルモノアラムヤ我武維レ揚リ我伐用テ張ル 皇威其レ八紘ニ發揚セム臣等感激ノ至リニ堪ヘス謹テ奏ス

(一〇) 製艦費ニ關スル上奏竝勅語

第十回議會 (明治三十年三月二十四日議決)

衆議院議長 臣鳩山和夫本院ノ議決ヲ具シ謹テ

奏ス恭ク惟ルニ

天皇陛下威武慈仁曩ニ國家軍防ノ一日モ忽ニスヘカラサルヲ垂示シ特ニ内廷ノ費ヲ省キ六年ノ間毎歲參拾萬圓ヲ下シ賜ヒ又文武ノ官僚ヲシテ其ノ俸給十分ノ一ヲ納レ以テ製艦費ノ補足ニ充テシムルノ

詔勅ヲ下シタマフ臣等恐惶措ク所ヲ知ラス謹テ

繪旨ヲ奉戴シ誓テ此ノ優渥ナル

聖恩ノ萬一ニ報セムコトヲ期セリ

今ヤ神聖英武ナル

陛下ノ稜威ニ因リ東洋ノ平和克復セラレテヨリ國威中外ニ揚リ

皇澤億兆ニ及ヒ國運日ニ隆昌ニシテ民力月ニ殷富ナリ而シテ國防ノ軍備亦政府ノ設計セル所稍々其ノ緒ニ就キ富士、八島二艦ノ廻航又近キニ在ラムトス是偏ニ至仁ナル

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (一〇)

聖詔ノ賜ニシテ我臣民肝ニ銘シ長ク傳ヘテ違々報效ノ途ヲ圖ラムトス此ノ時ニ當リ仍ホ  
 恩賜ヲ辱ウスルハ臣等ノ洵ニ恐懼ニ堪ヘサル所ナリ仰願クハ  
 陛下ノ聖明慈仁ナル臣等消々ノ微衷ヲ納レ製艦費ノ  
 恩賜ヲ止メ又文武官僚ノ納付ヲ免除シ之ヲ一般國民ノ負擔ニ歸セシメタマハムコトヲ臣等誠惶  
 誠恐頓首謹テ  
 奏ス

右上奏ニ對スル勅語 (明治三十年三月二十五日)

朕衆議院ノ忠實ナル奏議ヲ嘉ス

(一) 償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入ノ建議竝勅語

第十三回(特別)議會 (明治三十一年十二月六日議決)  
 本院ハ明治二十七八年ノ役ニ由テ清國ヨリ收入シタル償金ノ中貳千萬圓ヲ帝室御料ニ編入ノ儀ヲ  
 奏請センコトヲ政府ニ望ム因テ茲ニ之ヲ建議ス

右建議ニ對スル勅語 (明治三十一年十二月十四日)

朕ハ償金ノ一部ヲ帝室御料ニ編入スルノ件ニ關シ衆議院ノ深厚ナル誠意ヲ嘉ス

(二) 日露事件ニ關スル上奏

第二十一回議會 (明治三十八年一月六日議決)

衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ奏ス伏テ惟ルニ宣戰ノ 大詔渙發セラレテヨリ未タ一載  
 ナラス 皇師ノ向フ所戰ヘハ必ス勝チ攻ムレハ必ス取ル既ニ遼陽ヲ破リテ兵氣遠ク滿洲ノ野ニ  
 振ヒ今ヤ旅順ヲ陷レテ敵艦全ク遼東ノ海ニ滅ヒ更ニ戰局ノ一大發展ヲ見ル  
 陛下ノ稜威ニ頼ルニ非サレハ曷ソ能ク此ノ振古未曾有ノ偉功ヲ奏スルヲ得ムヤ  
 陛下宵衣旰食軍國ノ事ニ軫念アラセ給フ臣等感激ノ至ニ堪ヘス願フニ洗兵振旅ノ期前途尙遠遠ナ  
 リ臣等豈鞠躬努力以テ 聖明ニ奉答スルヲ期セサラムヤ茲ニ賀表ヲ上リテ赤誠ヲ披ク衆議院議  
 長 臣松田正久誠恐誠惶謹ミ奏ス

(三) 日露戰爭平和克復祝賀ニ關スル上奏

第二十二回議會 (明治三十八年十二月二十八日議決)

衆議院議長 臣松田正久誠恐誠惶謹テ言ス伏シテ

惟ニ

陛下天縱聰明宸極ニ臨御シ 微猷ヲ恢弘シ内ハ文ヲ修メ武ヲ尚ヒ乾綱維レ張り庶政維レ舉リ外ハ列國ト輯睦ヲ敦ウシ盟約ヲ英國ニ重ネ保護ヲ韓國ニ加フ中興ノ業裁成ノ功之ヲ古今ニ徵シ與ニ推校スル所ナシ不幸客歲露國ト釁ヲ開クヤ 大號渙發乃チ六師ヲ興シ貔貅艦艦威遠近ニ震ヒ神籌授クル所海ニ陸ニ大捷ノ功ヲ奏セサルハ莫シ而シテ友邦ノ忠言ヲ呈スルヤ 聖衷恢廓進テ之ヲ容レ以テ平和ノ約ヲ結ハシメ旅ヲ振ヘ師ヲ班ヘス是レ寔ニ曠古ノ大業ニシテ 盛德中外ニ光被ス臣等 聖世ニ遭遇シ斯盛事ヲ瞻仰シ 宏謨ヲ翼贊ス何ノ慶幸カ之ニ若カム爰ニ恭ク上表シ肅ミテ微忱ヲ敷ク 臣松田正久誠恐誠惶謹テ言ス

(一四) 世界戰爭平和克復祝賀ニ關スル上奏

第四十二回議會 (大正九年一月二十二日議決)

衆議院議長 臣大岡育造誠惶誠懼頓首再拜謹ミテ言ス

恭ク惟ニ今次ノ大戰ハ交兵多年凶殘至ラサルナシ幸ニ我カ帝國及聯合友邦ノ奮武ニ賴リ氛埃ヲ

掃蕩シテ平和ヲ克復ス實ニ是レ萬國ノ洪祥ニシテ生民ノ景福ナリ今ヤ 大詔渙發和平ノ協定新

ニ成リ國際聯盟ノ規模斯ニ立ツコトヲ宣布シタマヒ

聖諭優渥具ニ儼飭ヲ垂レタマフ臣等感激恐懼ノ至ニ勝フルコトナシ伏シテ翼クハ 大詔ニ率由シテ惕厲自ラ強メ

聖諭ヲ遵奉シテ振作益々勗メ時勢ニ順應シ人心ヲ開導シ軌度ヲ逸セス秩序ヲ愆ラス紀綱ヲ振肅シテ

皇運ヲ扶翼シ微衷ヲ披瀝シテ

宸猷ヲ翊贊シ以テ報效ヲ圖ラムコトヲ 臣育造誠惶誠懼頓首再拜謹ミテ奏ス

(一五) 大正天皇崩御ニ付奉悼上奏

第五十二回議會 (昭和元年十二月二十七日議決)

衆議院議長 臣粕谷義三誠恐誠惶謹テ奏ス恭ク惟ニ

先帝至仁至慈允文允武

皇祖皇宗ノ宏謨ヲ恢弘シ

明治大帝ノ遠猷ヲ紹述シ時運ノ大勢ニ應シテ文ヲ修メ武ヲ整ヘ内ハ民生ノ撫育ニ黽メ外ハ世界ノ

附錄 二 上奏及之ニ關スル勅語、勅問、奉答、御沙汰 (一四、一五)

平和ニ軫念シタマフ盛徳大業億兆齊シク仰キ萬邦具ニ瞻ル今ヤ奄ニ登遐アラセラル臣等痛働措ク所ヲ知ラス茲ニ虔テ徹忱ヲ布キ哀悼ノ意ヲ表シ奉ル臣義三恐懼ノ至ニ勝ヘス謹テ奏ス

(一五) 大正天皇御臨幸ニ付奉賀言上

大正四年十一月九日奉呈  
衆議院議長 臣 島田三郎 誠歡誠喜頓首頓首  
伏シテ惟ミルニ  
明治天皇夙ニ建國ノ宏謨ニ本ツキ  
祖宗ノ遺訓ヲ明ニシ憲政ヲ布キ外交ヲ敦ウシタマヒ邦基既ニ鞏ク民福益々進ム 聖徳洪業振古比ナシ  
天皇陛下英明ノ資ヲ稟ケ久ク正ヲ  
東宮ニ養ヒ既ニ祚ヲ九重ニ踐ミ今ヤ  
登極ノ大典ヲ舉ケタマフ萬民咸無窮ノ頌ヲ唱ヘ四方皆  
天位ノ崇ヲ仰ク洵ニ是レ邦家ノ慶事ナリ臣等 鴻恩ニ沐浴シ員ニ贊襄ノ任ニ備ハリ此盛儀ニ陪スルノ榮ヲ荷フ悃款ノ至ニ任フル莫シ謹ミテ表ヲ上リ以テ奉賀ス大正四年十一月十日衆議院議

三 皇室ニ對スル賀表、賀牋及言上

(一) 即位ノ大禮ニ付賀表

(大正四年十一月九日奉呈)

衆議院議長 臣 島田三郎 誠歡誠喜頓首頓首

伏シテ惟ミルニ

明治天皇夙ニ建國ノ宏謨ニ本ツキ

祖宗ノ遺訓ヲ明ニシ憲政ヲ布キ外交ヲ敦ウシタマヒ邦基既ニ鞏ク民福益々進ム 聖徳洪業振古比

ナシ

天皇陛下英明ノ資ヲ稟ケ久ク正ヲ

東宮ニ養ヒ既ニ祚ヲ九重ニ踐ミ今ヤ

登極ノ大典ヲ舉ケタマフ萬民咸無窮ノ頌ヲ唱ヘ四方皆

天位ノ崇ヲ仰ク洵ニ是レ邦家ノ慶事ナリ臣等 鴻恩ニ沐浴シ員ニ贊襄ノ任ニ備ハリ此盛儀ニ陪ス

ルノ榮ヲ荷フ悃款ノ至ニ任フル莫シ謹ミテ表ヲ上リ以テ奉賀ス大正四年十一月十日衆議院議